

◎主要生産者

日本醋酸製造株式会社 (東京)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
 内外貿易株式会社 (〃)
 米國貿易株式会社 (〃)
 株式會社武田長兵衛商店(大阪)
 日瑞貿易株式會社 (〃)
 島貿易株式會社 (〃)

一、二、三、木

精

木精即ちメチールアルコールは木材乾溜の際生ずる粗製木醋より製したるものにして、純粹品は無色の液體であるが、粗製品は黄色である。本品は主として樹脂、揮發油等の溶解劑、アルコールの變性用及びアルコールの代用、假漆及アニリンの製造等に用ひられ、用途頗る廣汎である、本品の國産額は逐年増加しつつあるが、需要の激増に伴はざるため歐米諸國より輸入さる。

輸入品の包装は普通五ガロンの罐入四個を以て一箱とす。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

日本醋酸製造株式会社 (東京)
 北河製薬所 (静岡)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
 米國貿易株式会社 (〃)
 内外貿易株式会社 (〃)
 甘粕商店 (〃)
 日本ブランナーモンド會社(神戸)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	669,773封度	260,526圓	452,247斤	250,388圓
11	256,411	98,004	735,370	262,984
12	161,273	68,382	570,698	276,153
13	333,562	124,288	1,205,894	591,871
14	1,152,103	292,786	1,085,042	438,912
昭和1	313,492	112,894	982,108	340,828
2	425,411	106,968	1,898,758	640,656
3	717,497	116,102	2,804,871	753,419
4	689,387	105,770	4,581,000	1,174,827
5	739,554	138,645	2,902,200	703,241

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	9
11	—	10
12	—	18
13	—	18
14	—	41
昭和1	—	36
2	—	58
3	—	77
4	—	92
5	—	96

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
秋 田	131,098封度	20,857圓
群 馬	124,063	18,045
東 京	262,336	57,200
靜 岡	200,000	20,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英領印度	11擔	0千圓
英 吉 利	15	0
獨 逸	18,393	495
和 蘭	2,342	62
北 米	7,288	194

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	56,5
大 阪	—	11,0

◎輸入品と國産品の優劣

内地に於ける生産は單に價格に於て外國品と對抗し難きに過ぎず、品質に於ては何等遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

關稅を現在以上に引上げて内地品の外國品對抗を可能ならしめると共に、原料木精の生産を豊富ならしめることが肝要である。

◎外國競争者

株式會社長瀬商店 (大阪)
 日瑞貿易株式會社 (〃)
 島貿易株式會社 (〃)

◎輸入の主要原因

本品の國內生産は需要に伴はざるため、大正十五年四月輸入關稅を撤廢して無税となした。以來合成メチールアルコールの輸入は逐年増加し之に壓迫されて國內に於ける木精の製造は不振に陥り、益々供給不足を告ぐる結果となつた。

◎輸入品と國産品の優劣

合成法に依つて製したるメチールアルコールは、木材乾溜に依るものよりも遙かに廉價である。故に國産品は價格に於て外國品に及ばないが品質は何等遜色を認めない。

◎輸入防止の主要處置

合成品の製造を奨励すると共に、關稅を課する必要がある。

一三三、酒 精

アルコールは各種酒類の主成分をなし、工業上の用途頗る廣く、混成酒、香水、假漆、クロロホルム、エーテル、火藥、爆發藥、セルロイド人造絹糸、染料等の製造原料に供せられ、又各種鹽類の溶解、加熱、燈火用等に用ひらる。無色透明揮發性の液體にして、原料としては普通甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍等が用ひられるが、製糖の副産物たる糖蜜を原料とする生産も少くない。

◎輸入税率

一リットに付——一圓二〇錢

◎主要生産者

- (甘藷馬鈴薯等を原料とせるもの)
- 神谷酒造株式会社 (東京)
- 大日本製糖株式会社 (大阪)
- 日本酒類醸造株式会社 (愛媛)
- 大日本醸造株式会社 (神奈川)
- (糖蜜を原料とせるもの)
- 臺灣製糖株式会社 (臺灣)
- 鹽水港製糖株式会社
- 新高製糖株式会社
- 帝國製糖株式会社
- 臺南製糖株式会社

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	2,041,248封度	1,013,208圓	—立	—圓
11	2,325,798	911,044	—	—
12	2,325,914	990,515	—	—
13	1,389,014	246,937	25,968	14,380
14	2,552,781	624,385	4,987	3,116
昭和1	1,327,480	932,869	—	—
2	1,334,868	1,131,363	—	—
3	3,136,706	1,354,859	—	—
4	3,807,975	1,641,002	—	—
5	4,132,586	2,100,514	—	—

(輸入殆んどなし)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	616,832封度	58,569圓
東 京	574,300	297,349
愛 知	85,518	54,399
大 阪	1,311,409	668,554
兵 庫	41,726	12,824
沖 繩	493,350	134,058

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	1,643立	818圓
獨 逸	100	660
佛 蘭 西	806	676
北 米	1	1

◎主要輸入者

大日本製糖株式会社 (東京)
明治製糖株式会社 (〃)

◎輸入の主要原因

現今に於ては輸入殆んどなく、従つて輸入取扱者と見做すべき特掲者なし。

アルコールは既に明治年間に於て自給自足の域に達したるのみならず支那その他へ輸出されるに至つた。従つて現今の輸入は相場關係等の特殊事情に因つて、時々僅少の輸入を見るに過ぎない。

◎外國競争者

輸入少く従つて競争者なし。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に略同等である。

◎輸入防止の主要處置

輸入防止を考慮する必要なく、寧ろ生産過剰に陥りつゝ臺灣酒精を如何に消化すべきかに就て研究することが急務とされてゐる。

一三三、グリセリン

グリセリンは無色無臭透明の液體にして甘味を有し、エーテル、石油等には溶解せざれども水及び酒精には溶解し、工業上に於ては製紙、化粧品、印刷用肉、インキ、石鹼等の

額 價 額
299,638圓
1,073,966
1,243,756
1,885,742
1,704,752
1,491,214
1,865,092
1,641,351
631,158
793,089

額(昭和三年)

價 額
10千圓
1,059
120
396
26
24

◎外國競争者

日本レバー兄弟商會 (東京)
株式会社岩井商店 (大阪)

レバーブラザース會社 (英國)

(甘藷馬鈴薯等を原料とせるもの)
 神谷酒造株式会社 (東京)
 大日本製糖株式会社 (大阪)
 日本酒類醸造株式会社 (愛媛)
 大日本醸造株式会社 (神奈川)
 (糖蜜を原料とせるもの)
 臺灣製糖株式会社 (臺灣)
 鹽水港製糖株式会社 ()
 新高製糖株式会社 ()
 帝國製糖株式会社 ()
 臺南製糖株式会社 ()

一三三、グリセリン

グリセリンは無色無臭透明の液體にして甘味を有し、エーテル、石油等には溶解せざれども水及び酒精には溶解し、工業上に於ては製紙、化粧品、印刷用肉、インキ、石鹼等の製造及び捺染寫真等に應用せられ、又醫療上に於ては塗布藥、緩和藥、坐藥、軟膏等の製造用に供せらる。本品はステアリン蠟燭製造の際副産物より製せられるもの多く、内地の生産は需要の一半に充たずして巨額輸入さる。輸入品の包装は罐入にして、小罐入箱詰は一、二封度又は二、三封度、圓筒形鐵罐入は五、五〇封度又は一、一、二封度である。

◎輸入税率
 一〇〇斤に付——一八圓

◎主要生産者
 合同油脂グリセリン株式会社 (東京)
 丸見屋商店 ()
 長瀬商會 ()
 ベルベツト石鹼株式会社 (神戸)
 ◎主要輸入者
 三井物産株式会社 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	562,527封度	620,062圓	582,274斤	299,638圓
11	366,343	298,513	2,306,839	1,073,966
12	1,926,803	715,758	2,919,836	1,243,756
13	2,879,860	1,070,247	4,002,074	1,885,742
14	2,666,450	921,202	2,984,614	1,704,752
昭和 1	1,788,094	696,714	2,595,792	1,491,214
2	5,742,309	2,846,469	2,976,423	1,865,092
3	6,433,335	2,675,941	3,869,328	1,641,351
4	6,872,100	2,789,358	1,998,700	631,158
5	6,701,599	2,698,953	2,891,000	793,089

	國 産 額	
	數 量	價 額
大正10	2,041,248封度	1,013,911
11	2,325,798	911,990
12	2,325,914	246,624
13	1,389,014	932,131
14	2,552,781	1,131,354
昭和 1	1,327,480	1,641,210
2	1,334,868	2,100,000
3	3,136,706	
4	3,807,975	
5	4,132,586	

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	3,112,275封度	1,509,724圓
神奈川	99,000	18,000
愛 知	170,225	37,260
京 都	203,315	54,989
大 阪	2,462,820	985,968
兵 庫	385,700	70,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
關 東 州	258擔	10千圓
英 吉 利	24,348	1,059
佛 蘭 西	3,220	120
獨 逸	9,916	396
瑞 西	428	26
和 蘭	493	24

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
北海道	616,832封度	58,560
東 京	574,300	297,340
愛 知	85,518	54,390
大 阪	1,311,409	668,550
兵 庫	41,726	12,820
沖 繩	493,350	134,050

◎外國競争者

輸入少く従つて競争者なし。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に略同等である。

◎輸入防止の主要處置

輸入防止を考慮する必要なく、寧ろ生産過剰に陥りつゝ臺灣酒精を如何に消化すべきかに就て研究することが急務とされてゐる。

日本レバー兄弟商會 (東京)
 株式会社岩井商店 (大阪)

◎外國競争者

レバーブラザース會社 (英國)
 コツセーヂ ()
 ジョセツフ・クロスフキールド ()

此の外獨逸及ベルギー産品。

◎輸入の主要原因

國內生産能力は國內需要を充すことと必ずしも不可能でないが、本品製造の副産物たるソープストック、オレイン、ステアリン等の需要之に伴はざるため、本品を多量に製造すれば是等副産物の處分に窮するは明白である。故に或程度以上の生産増加は困難にして、供給不足を告ぐるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては略同等であるが、價格は輸入品が概して廉價である。

◎輸入防止の主要處置

副産物の用途擴張を圖り、以て本品の増産に努める事が急務である。

一二四、ヨードフォルム

ヨードフォルムはヨードとアルカリ鹽類をアルコールに作用せしめて製したるものにして、黄色の葉狀結晶又は結晶性粉末をなし、水には殆んど溶解せざれども酒精、エーテルクロロフォルム、揮發油、硫化炭素等に溶解す。本品は主として神經痛、微毒等の諸劑原料に供せられる外、醫藥上の用途廣汎である。

輸入品の包装は、普通二五封度の罐入四個を以て一箱とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二〇二圓

◎主要生産者

日本化學工業株式會社 (東京)
三重沃度製造株式會社 (三重)
大垣製藥所 (大垣)

◎主要輸入者

近時輸入額減少し、而も本品は大部分需要者直接に輸入するため、輸入取扱者として特掲者なし。

◎外國競争者

輸入額少く常時輸入されるものに

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	4,217疋	—圓	—斤	—圓
11	4,497	—	—	—
12	7,811	—	—	—
13	3,487	—	2,532	35,408
14	2,895	—	—	—
昭和1	—	—	—	—
2	—	—	2,832	38,504
3	3,783	94,575	—	—
4	3,968	95,288	—	—
5	4,566	109,953	—	—

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	45,243圓
大 阪	—	32,668
岐 阜	—	9,863

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
佛 蘭 西	1,526斤	18,259圓
英 吉 利	963	12,563
獨 逸	154	2,543

はあらずして、相場關係その他特殊の事情ある場合に限つて輸入されるに過ぎざるを以て、外國競争者と見做すべきものは無い。

◎輸入の主要原因

本品の國內に於ける生産は逐年増加して今や自給自足の域に在り従つて何等輸入の必要を認めない。故に本品の輸入されるは海外に於ける價格暴落して、高率の輸入税を附加するも尚ほ内地品より低廉なる場合等の如き特殊なる場合の外は殆んど輸入されない。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に比して何等の遜色がない。價格は概して外國品が低廉であるが、關稅を課して輸入する場合に於ては寧ろ外國品が割高となる。

◎輸入防止の主要處置

現在に於ては殆んど防止の必要を認めないが、將來に對する方策としては、生産費の低下に努めることが肝要である。

一二五、ナフタリン

ナフタリンは諸種の有機質乾溜の實際生ずる生成物にして、特に石炭タール中に多量に含有さる。無色葉狀又は稜柱狀の結晶をなし、石炭タールに類以せる時臭の臭氣を有し防菌

價 額
—圓
—
—
30,627
94,583
203,833
217,376
135,828
205,942
378,583

(昭和三年)

價 額
4千圓
63
4
36
27

◎主要輸入者

南滿州鐵道株式會社 (大連)
三井物産株式會社 (東京)
島貿易株式會社 (〆)

日本化學工業株式會社 (東京)
 三重沃度製造株式會社 (三重)
 大垣製藥所 (大垣)

◎主要輸入者

近時輸入額減少し、而も本品は大部分需要者直接に輸入するため、輸入取扱者として特掲者なし。

◎外國競争者

輸入額少く常時輸入されるものに

一二五、ナフタリン

ナフタリンは諸種の有機質乾溜の際生ずる生成物にして、特に石炭タール中に多量に含有さる。無色葉狀又は稜柱狀の結晶をなし、石炭タールに類似せる特異の臭氣を有し防腐殺菌力強きため、動植物の標本貯藏衣服類防虫劑、臭氣止め等に應用されるが、醫療上に於ては塗布藥、軟膏、祛痰藥等の原料に供せられ、又工業上に於ては各種ナフタリン化合物の原料、就中色素製造に最も多く用ひらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

東京瓦斯株式會社 (東京)
 三井鑛山株式會社 (シ)
 大阪瓦斯株式會社 (大阪)
 京都瓦斯株式會社 (京都)
 岡山瓦斯株式會社 (岡山)
 松山瓦斯株式會社 (松山)
 東邦瓦斯株式會社 (名古屋)
 八幡製鐵所 (八幡)
 九州化學工業株式會社 (福岡)
 三池染料工業株式會社 (シ)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	15,139,523封度	401,285圓	—斤	—圓
11	5,217,720	435,964	—	—
12	3,270,808	387,193	—	—
13	3,821,083	375,519	193,564	30,627
14	3,668,284	422,653	787,972	94,583
昭和1	3,505,390	321,369	2,355,440	203,833
2	5,907,056	495,702	2,260,759	217,376
3	7,918,551	574,633	2,092,644	135,828
4	7,868,969	544,294	2,194,400	205,942
5	8,566,298	536,629	4,199,100	378,583

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	4,217疋	—
11	4,497	—
12	7,811	—
13	3,487	—
14	2,895	—
昭和1	—	—
2	—	—
3	3,783	94,
4	3,968	95,
5	4,566	109,

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	844,193封度	18,567圓
東京	590,318	45,114
大阪	512,000	60,880
福岡	5,968,040	449,803

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	416百斤	4千圓
關 東 州	13,538	63
佛 蘭 西	423	4
獨 逸	3,716	36
白 耳 義	2,872	27

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東京	—	45,24
大阪	—	32,66
岐阜	—	9,86

◎輸入防止の主要處置

現在に於ては殆んど防止の必要を認めないが、將來に對する方策としては、生産費の低下に努めることが肝要である。

國産品は品質に於て輸入品に比して何等の遜色がない。價格は概して外國品が低廉であるが、關税を課して輸入する場合に於ては寧ろ外國品が割高となる。

南滿州鐵道株式會社 (大連)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 島貿易株式會社 (シ)
 シーベルヘグナー商會 (シ)
 岩井商店東京支店 (シ)
 藤澤友吉商店 (大阪)
 田邊五兵衛商店 (シ)
 デラカンプビーパー商會(神戸)
 シー・ホルスタイン商會(シ)

◎外國競争者

主として獨逸産品及びノールウエ1産品。

◎輸入の主要原因

内地に於ては優等品の生産少なく且つ外國品は價格低廉なるが爲めに輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

高級品の生産及生産費の低下を圖ることが急務である。

一二六、アニリン

アニリンは石炭乾溜の際生ずるコ
ルタール中に含有さるゝベンゼン
を原料として製したるものにして、
染料及び香料として工業上貴重なる
薬品である。

○輸入税率

一〇〇斤に付——一四圓五〇錢

○主要生産者

三井鑛山株式会社 (東京)
日本染料製造株式会社 (大阪)

○主要輸入者

獨逸染料合名會社 (神戸)
ナシヨナル・アニリン・エ
ンド・ケミカル會社支店 (シ)
イー・アイ・デュポント・
デ・ニーマース會社支店 (シ)
長井商會 (大阪)
稲畑勝太郎商店 (シ)

○外國競争者

イーゲー染料工業株式会社(獨逸)
イー・アイ・デュポンド・デ・
ニーマース會社 (米國)
カルユ・ケミカル商會 (シ)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	15,784圓	540,888斤	277,163圓
11	—	22,368	933,854	359,228
12	—	54,698	571,772	213,819
13	—	88,369	233,770	63,866
14	—	79,836	534,025	178,664
昭和1	—	111,253	541,208	189,304
2	—	132,689	561,818	192,760
3	—	120,514	51	42
4	—	124,296	1,654	1,888
5	—	127,513	90	82

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	75,896圓
大阪	—	15,324
福岡	—	25,238

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	44斤	0千圓
北米	7	0

○輸入の主要原因

本品の國內に於ける生産は略國內
需要を充し得る。故に常時に於ては
殆んど輸入の必要を認めないが、加
工綿布は海外輸出品なるため加工の
注文激増せる場合は本品の不足を告
げ、海外より輸入さる。故に本品の
輸入は或は多く或は少く、時には爲
替等の關係上一時に多量輸入されて
濫賣される事もあり、輸入額及市價
等頗る不定である。

○輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣なく、價格は國
産品が概して高價である。

○輸入防止の主要處置

政府は本品の國內生産を保護する
ため、輸入制限令を設けてゐるが、
此の適用を受くるは獨逸品のみにし
て、英米品は無制限に輸入されつゝ
ある。故に之を一般的に適用せしめ
て極力輸入を防止すべきである。

ナシヨナル・アニリン・エンド・
ケミカル會社 (シ)
クレイトン・アニリン會社(英國)

一二七、アンチフェブリン

アンチフェブリンは純粹アニリン
と氷状醋酸とを混合し、其の化學的
作用に依つて製したるものにして、
無臭白色の光輝ある鱗屑結晶、又は
結晶性の粉末をなし、冷水には溶解

年次	價額
大正10	52,292圓
11	163,832
12	101,380
13	126,796
14	164,326
昭和1	135,298
2	145,369
3	112,459
4	98,254
5	93,163

額(大正十四年)

年次	價額
大正14	137千圓
15	7
16	7
17	6
18	5

○輸入の主要原因

クレイトン・アニリン會社(米國)
此の外佛蘭西産品、獨逸産品、和
蘭産品及英國産品等。

- ナショナル・ケミカル會社支店 (ク) イー・アイ・デユポント・デ
 ンド・ケミカル會社支店 (ク) イー・アイ・デユポント・デ
 長井商會 (大阪) デ・ニー・マース會社支店 (ク)
 稻畑勝太郎商店 (ク) ニー・マース會社 (米國)
 イー・ゲイ染料工業株式會社(獨逸) ニー・マース會社 (ク)
 カルユ・ケミカル商會 (ク)

◎外國競争者

年	國 産	額 價
大正10	—	15,...
11	—	22,...
12	—	54,...
13	—	88,...
14	—	79,...
昭和1	—	111,...
2	—	132,...
3	—	120,...
4	—	124,...
5	—	127,...

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	75,89
大 阪	—	15,32
福 岡	—	25,23

一二七、アンチフェブリン

アンチフェブリンは純粹アニリンと氷狀醋酸とを混合し、其の化學的作用に依つて製したるものにして、無臭白色の光輝ある鱗屑結晶、又は結晶性の粉末をなし、冷水には溶解し難く、アルコール、エーテル等に溶解す。主なる用途は醫藥上の解熱劑である。

◎輸入税率

價格に對する三五%

◎主要生産者

- 三井鑛山株式會社 (東京)
 日本染料製造株式會社 (大阪)
 富士化學工業株式會社(和歌山)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
 バイエル・マイステル・ルチウス藥品合名會社支店 (神戸)
 イー・アイ・デユポント・デ
 ・ニー・マース會社支店 (ク)

◎外國競争者

- イー・アイ・デユポント・デ
 ニー・マース會社 (米國)

年	國 産		輸 入	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	— 疋	— 圓	49,312 斤	52,292 圓
11	—	—	270,485	163,832
12	—	—	165,224	101,380
13	—	—	177,429	126,796
14	—	—	209,142	164,326
昭和1	—	—	178,564	135,298
2	—	—	196,514	145,369
3	24,308	43,754	156,243	112,459
4	28,764	47,564	144,224	98,254
5	31,864	51,021	132,516	93,163

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	12,256 疋	21,543 圓
大 阪	3,153	5,864
和歌山	5,294	7,459

主要國別輸入額(大正十四年)

國 名	數 量	價 額
獨 逸	1,648 擔	137 千圓
英 國	101	7
北 米	173	7
佛 蘭 西	82	6
伊 太 利	84	5

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣なく、價格は國産品が概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

政府は本品の國內生産を保護するため、輸入制限令を設けてゐるが、此の適用を受くるは獨逸品のみにして、英米品は無制限に輸入されつゝある。故に之を一般的に適用せしめて極力輸入を防止すべきである。

◎輸入の主要原因

クレイトン・アニリン會社(米國)此の外佛蘭西産品、獨逸産品、和蘭産品及英國産品等。

本品の國內に於ける生産能力は、國內需要を充すこと必ずしも不可能でないが、外國品は國産品に比し價格概ね低廉であるため、國內生産の如何に拘はらずして輸入さる。然れども近來内地品の價格は外國品と大差なきに至りたるため、本品の輸入は激減した。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て外國品に遜色を認めないが、外國に於ては大量生産されるため生産費安く、三割五分の輸入税を附加しても尙ほ國産品より低廉なる場合が少くない。

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては關稅保護のため輸入額僅少であるが、徒らに關稅保護に頼らずして、生産費の低下に努め、價格に於て優に外國品に對抗し得るやう當業者が努力する必要がある。

一二八、アンチピリン

アンチピリンはアルカロイド鹽化物にして、無色結晶狀の薄片又は白色結晶性の粉末である。水及びアルコールに容易に溶解し、解熱劑、鎮痛劑、鎮痙劑等がその主たる用途である。

本品の國內に於ける生産は頗る振はず、歐洲大戰前は専ら輸入され、大戰に依つて輸入杜絶の際漸く國産勃興して一時自給自足の状態となつたが、大戰終了後歐米品の出廻るに及んで忽ち壓迫され、現今需要の大部分を輸入に仰ぐ状態となつた。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——八二圓

◎主要生産者

三共株式会社 (東京)

此の外生産設備を有するものは少なからず、歐洲大戰中は相當盛大に生産されたが、現今に於ては大部分生産中止の状態である。

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
株式会社武田長兵衛商店(大阪)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	45,296圓	939,894オンス	238,877圓
11	—	44,363	1,003,863	185,048
12	—	67,549	1,044,781	186,903
13	—	77,296	1,118,327	214,569
14	—	78,563	881,743	144,663
昭和1	—	45,043	61,443	145,345
2	—	20,549	41,281	104,954
3	—	6,935	67,420	152,537
4	—	—	64,257	146,439
5	—	—	66,924	185,824

(國産頗る僅少なり)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	3,250圓
大阪	—	1,500

(推定産額)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
佛蘭西	187擔	44千圓
獨逸	437	99
瑞西	50	7

日瑞貿易株式会社 (大阪)

◎外國競争者

獨逸産品、瑞西産品、佛蘭西産品及び英國産品等にして、相互間の競争相當激烈なるのみならず、國産品に對しては價格に於て盛んに競争するため、國産品は常に壓迫されつゝある。

◎輸入の主要原因

外國の生産者は何れも大規模の生産設備を有し、且つ資力豊富なるもの多く、若し本邦に於ける生産が盛んとなれば採算以下の安値を以て之と競争すべき準備がある。故に本邦に於ては本品の生産を試みるも外國品に壓迫されて到底採算なく、勢ひ生産減少し國內需要に充たざるため輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

内地に於て事業成立困難なるを以て、當分輸入に俟つ外なし。

◎外國競争者

獨逸産品、和蘭産品、米國産品等が輸入される場合もあるが、その量は僅少にして、蘭領印度産品は殆んど

一二九、キニネ

キニネは解熱劑及健胃劑等に用ひられ醫藥として需要多し。鹽酸キニネ、硫酸キニネ共に本邦に於ける生産は需要を充すに足らずして海外諸國より輸入さる。本品は南米

年次	價額
大正10	357,182圓
11	435,513
12	329,129
13	389,858
14	389,431
昭和1	255,460
2	149,408
3	267,707
4	202,277
5	101,648

年次	價額
昭和三年	255千圓
4	3
5	4
6	4

◎主要生産者

三共株式会社 (東京)

此の外生産設備を有するものは少なからず、歐洲大戦中は相當盛大に生産されたが、現今に於ては大部分生産中止の状態である。

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
株式会社武田長兵衛商店(大阪)

一二九、キニネ

キニネは解熱劑及健胃劑等に用ひられ醫藥として需要多し。鹽酸キニネ、硫酸キニネ共に本邦に於ける生産は需要を充すに足らずして海外諸國より輸入さる。本品は南米地方の原産たる茜草科に屬する植物の皮を剥ぎたるものより製したるものにして、本邦に輸入されるは主として蘭領印度産品である。

◎輸入税率

鹽酸キニネは一〇〇斤に付一三五圓。
硫酸キニネは一〇〇斤に付六〇圓。

◎主要生産者

三共株式会社 (東京)
星製藥株式会社 (シ)
大日本製藥株式会社 (大阪)

◎主要輸入者

株式会社武田長兵衛商店(大阪)
株式会社鹽野儀商店 (シ)
田邊五兵衛商店 (東京)
鳥居商店 (シ)
米國貿易株式会社 (シ)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—	225,288	357,182
11	—	—	331,223	435,513
12	—	—	333,332	329,129
13	—	—	302,679	389,858
14	—	—	328,360	389,431
昭和1	—	—	7,795,229	255,460
2	—	—	5,026,335	149,408
3	17,827	570,464	9,670,215	267,707
4	18,956	578,256	6,690,600	202,277
5	19,358	577,965	3,671,000	101,648

(硫酸キニネの産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	10,549	346,512
大阪	6,532	196,369

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
蘭領印度	9,253	255千圓
英吉利	128	3
佛蘭西	142	4
瑞西	147	4

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	3,250
大阪	—	1,500

(推定産額)

と競争すべき準備がある。故に本邦に於ては本品の生産を試みるも外國品に壓迫されて到底勝算なく、勢ひ生産減少し國內需要に充たざるため輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

内地に於て事業成立困難なるを以て、當分輸入に俟つ外なし。

◎外國競争者

獨逸産品、和蘭産品、米國産品等が輸入される場合もあるが、その量は僅少にして、蘭領印度産品は殆んど獨占の状態である。

◎輸入の主要原因

本邦に於ては原料規那皮の生産なく、(近年臺灣總督府に於て栽培を試みつつあるが、未だ一般の需要に充てるに足らず。)原料は全部海外より輸入さるゝため、生産費高價となり、蘭領印度産品は國産品に比して頗る廉價なることが本品輸入の主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品と同様の原料を以て製造し且つ製造技術に於て諸外國に劣らざるため、品質は略同等である。

◎輸入防止の主要處置

原料樹の栽培を奨励して原料供給を潤澤ならしめる事は根本的防止策であるが、當面の問題としては製品品の關稅引上げが最急務である。

一三〇、齒磨粉其他の調製薰香類

齒磨粉の原料及製法には種々あるが、普通沈降炭酸石灰を基礎とし、之にオルリス根末を混和し、更に香油又は香料を適宜に加へて芳香を附し、洋紅又は茜色素を以て淡紅色に着色して製す。普通は粉末であるが練齒磨、固形齒磨等もあり、又規那皮、硼砂、樟腦等を附加して製したる衛生齒磨、藥用齒磨など特殊なるものがある。
尚ほ調製薰香類には齒洗藥、化粧粉、香粉、燻香等がある。

◎輸入税率

價格の五〇%(但し協定は三〇%)

◎主要生産者

- 平尾賢平商店 (東京)
- 小林富次郎商店 (〃)
- 伊東胡蝶園 (〃)
- 丸見屋商店 (〃)
- 中山太陽堂 (大阪)
- 森下博本舗 (〃)
- 桃谷順天館 (〃)
- ◎主要輸入者 (東京)
- 佐々木商店 (東京)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	17,656,817圓	—	444,268圓
11	—	21,152,222	—	777,891
12	—	13,496,400	—	685,372
13	—	23,426,900	—	1,374,729
14	—	27,094,116	—	223,241
昭和1	—	23,922,840	—	409,197
2	—	28,886,244	—	351,406
3	—	28,620,535	—	479,374
4	—	29,350,221	—	417,723
5	—	29,874,433	—	316,214

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	64,048圓
東京	—	10,153,007
神奈川	—	125,534
京都	—	247,931
大阪	—	17,543,810
兵庫	—	123,683
愛媛	—	233,642

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	59千圓
佛蘭西	—	144
獨逸	—	10
和蘭	—	3
北米	—	260

◎外國競争者

- 三共株式会社 (東京)
- ワイトコスキー (横濱)
- ラワブリー (神戸)
- 丹波商店 (〃)
- メルキ商會 (〃)
- 岡本米藏商店 (横濱)

◎輸入の主要原因

コルゲート、ボンピアン、ギプス、コリノス(以上米國製品) コテイー、トスカ、ロジャールガレツト、ウビカン(以上佛國製品) ヴオルフウインドゾーレン、グロツケンガツセ(以上獨逸製品)

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

高級品の安價生産に努め、外國品妄信の觀念を一掃する事が急務。

一三一、阿片

阿片は罌粟果の熟せざるものに截口を附け、截口に滲出せる乳汁の凝結せるものを採集して乾燥せしめたるものにして、普通半球狀、棒狀煉瓦狀等に製す。その世界的産地は小

額

- 147,531圓
- 130,656
- 256,138
- 449,860
- 874,984
- 440,191
- 300,082
- 215,557
- 167,232
- 29,074

價額

215千圓

◎外國競争者

- 大日本製藥株式会社 (大阪)
- ラヂウム製藥株式会社 (〃)

トルコ産品及印度産品が輸入され

一三一、阿 片

阿片は罌粟果の熟せざるものに截口を附け、截口に滲出せる乳汁の凝結せるものを採集して乾燥せしめたるものにして、普通半球状、棒状煉瓦状等に製す。その世界的産地は小亞細亞、ペルシヤ、印度、エジプト支那等にして、支那人その他の吸入用に供せられるは普く知る所であるが、モルヒネ、ナルコチン等のアルカロイド類製造用として世界的に需要さる。本邦に於ては主として臺灣に生産され、又大阪府三島郡、和歌山縣、岡山縣等も生産地として知られてゐるが、生産額少きため土耳其その他より輸入さる。

◎輸入税率

本品の生産及輸出入は凡て特許制度にして、特許を経るに非れば輸入することを得ず、

◎主要生産者

臺灣總督府專賣局

(臺灣)

◎主要輸入者

三共株式會社
星製藥株式會社

(東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	8,159斤	267,000圓	18,645斤	147,531圓
11	6,506	72,000	16,823	130,656
12	3,588	72,000	25,348	256,138
13	—	—	18,192	449,860
14	—	—	33,850	874,984
昭和1	—	—	24,252	440,191
2	—	—	16,003	300,082
3	—	—	11,673	215,557
4	—	—	8,279	167,232
5	—	—	1,773	29,074

(大正十三年度以降不詳)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
大 阪	963斤	32,000圓
和歌山	458	15,000
岡 山	488	16,000
愛 媛	259	13,000
鹿兒島	136	7,000

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
土 耳 其	117百斤	215千圓

◎主要生産者

平尾賢平商店
小林富次郎商店
伊東胡蝶園
丸見屋商店
中山太陽堂
森下博本舗
桃谷順天館

佐々木商店

(東京)

國 産 額

	數量	價 額
大正10	—	17,656,817
11	—	21,152,222
12	—	13,496,400
13	—	23,426,900
14	—	27,094,116
昭和1	—	23,922,840
2	—	28,886,240
3	—	28,620,530
4	—	29,350,220
5	—	29,874,430

主要府縣別生産額(昭和三)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	64,040
東 京	—	10,153,000
神奈川	—	125,530
京 都	—	247,930
大 阪	—	17,543,810
兵 庫	—	123,680
愛 媛	—	233,640

舶來品崇拜觀念尙ほ去らざる事、販賣者が利益多き外國品の販賣を歓迎する事等に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

高級品の安價生産に努め、外國品妄信の觀念を一掃する事が急務。

大日本製藥株式會社 (大阪)
ラヂウム製藥株式會社 (シ)

◎外國競争者

トルコ産品及印度産品が輸入されつゝあつたが、現在に於ては殆んど全部トルコ産品が輸入され、而も政府の特許を要するを以て競争は行はれない。

◎輸入の主要原因

モルヒネ等の製造原料として本品の需要は逐年増加しつゝあるに拘らず、國內生産額は之に伴はざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産阿片は品質の一定を缺くが、モルヒネの含有量は概して輸入品よりも多く、従つてモルヒネ製造原料としては輸入品よりも良好である。

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入はモルヒネを製造することが主たる目的である。故に輸入を禁止する必要なく寧ろ輸入増加策を講ずべきである。

一三三、火

藥

火薬には黑色火薬、褐色火薬、無烟火薬等あり。黑色火薬は硝石、木炭、硫黄を原料とし、爆發用、大砲用、小銃用、獵銃用等各種の用途に従つて原料の分量を異にし、又形状にも粒状、方形、六角形等種々あり各々大きさを異にす。褐色火薬は黑色火薬よりも進歩せる製法に依りたるものにして、彈丸の速力を増し且つ發烟少きを特徴とす。無烟火薬は木綿纖維を原料として製し、形状は扁平なる方形、又は帶狀、管狀等をなし、無烟にして灰分なく瓦斯の無色なる點が特徴である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二九圓五〇錢

◎主要生産者

- 日本火薬製造株式会社 (山口)
- 日本導火綿株式会社 (ク)
- 陸軍省岩鼻火薬製造所 (群馬)
- 帝國火薬工業株式会社 (愛知)
- 火薬工業株式会社 (姫路)

◎主要輸入者

セーブル商會 (横濱)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	377,216圓	—	—
11	—	1,951,103	—	—
12	—	1,770,194	—	—
13	—	365,585	39,820斤	50,811圓
14	—	1,153,391	76,129	70,466
昭和1	—	604,074	75,269	68,514
2	—	733,538	78,963	69,297
3	—	1,504,159	65,469	57,834
4	—	1,523,876	79,873	69,845
5	—	1,863,540	64,296	55,213

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,193,529圓
大阪	—	116,246
兵庫	—	194,384

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	32,568斤	28,516圓
英吉利	31,596	27,985

◎外國競争者

本邦に輸入されるものは殆んど全部獵銃用火薬にして、ノーベル製品、ハンブルグノーベル製品、太陽印、驚印等の各種があるが、獨逸のデーダイナミット・アクティン・ゲゼルシャフト製品が最も多額を占めてゐる

◎輸入の主要原因

輸入火薬の殆んど全部は一部有産階級者の銃獵用に供せられるものにして、多年外國品を用ひ來れる傳統的嗜好に依るもの多く、價格の高きことなどは痛痒を感じざるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣なく、價格は概して國産品が廉價である。

◎輸入防止の主要處置

外國品崇拜の觀念を打破し國産品受用を奨励する事が肝要である。

◎外國競争者

- ノーベル爆發藥會社 (英國)
- デー・ダイナミット・アクティン・ゲゼルシャフト (獨逸)

一三三、ダイナマイト

ダイナマイトは工業上爆破用に供せらる。原料及製法の異なるに依つて種類頗る多きも、その主たるものはキーゼルグールダイナマイト、ゼリグナイト、安全ダイナマイト、ニト

額	價額
492,945圓	
1,231,398	
1,625,409	
1,107,453	
1,392,780	
1,248,335	
1,041,103	
819,999	
632,365	
802,440	

昭和三年)	價額
224千圓	
595	

◎主要生産者

- 日本火薬製造株式会社 (山口)
- 日本導火綿株式会社 (〆)
- 陸軍省岩鼻火薬製造所 (群馬)
- 帝國火薬工業株式会社 (愛知)
- 火薬工業株式会社 (姫路)

◎主要輸入者

- セーブル商會 (横濱)

一〇〇斤に付——二九圓五〇錢

一三三、ダイナマイト

ダイナマイトは工業上爆破用に供せらる。原料及製法の異なるに依つて種類頗る多きも、その主たるものはキーゼルグールダイナマイト、ゼリグナイト、安全ダイナマイト、ニトログリセリンダイナマイト等である。輸入品は大部分獨逸及英國製にして、包装は一個毎に防水紙、耐酸紙に包みたるものを紙製函に入れ、更にその上を防水紙等にて包み、之をパラフィン蠟液に浸して木箱に入れ嚴重に包装す。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓

◎主要生産者

- 日本火薬製造株式会社 (山口)
- 日本導火線株式会社 (東京)
- 帝國火薬工業株式会社 (愛知)
- 陸軍省岩鼻火薬製造所 (群馬)

◎主要輸入者

- エー・カメロン商會 (神戸)
- シー・ワイン・ベルゲル商會 (大阪)
- セーブル商會 (横濱)
- ジャパン・カール・ロード會社 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	1,468,618圓	628,215斤	492,945圓
11	—	1,952,742	1,502,819	1,231,398
12	—	1,881,867	2,302,790	1,625,409
13	—	2,070,565	1,500,970	1,107,453
14	—	2,442,803	1,969,489	1,392,780
昭和 1	—	3,775,428	2,013,658	1,248,335
2	—	4,083,198	1,649,815	1,041,108
3	—	4,422,025	1,275,832	819,999
4	—	4,513,120	1,066,100	632,365
5	—	4,205,896	1,444,500	802,440

國 産 額
數量 價 額

大正10	—	377,216
11	—	1,951,103
12	—	1,770,194
13	—	365,585
14	—	1,153,391
昭和 1	—	604,074
2	—	733,538
3	—	1,504,159
4	—	1,523,876
5	—	1,863,540

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
愛 知	—	1,540,000圓
山 口	—	2,882,025

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	3,338百斤	224千圓
獨 逸	9,420	595

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,193,529
大 阪	—	116,240
兵 庫	—	194,380

して、多年外國品を用ひ來れる傳統的嗜好に依るもの多く、價格の高きことなどは痛痒を感じざるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣なく、價格は概して國産品が廉價である。

◎輸入防止の主要處置

外國品崇拜の觀念を打破し國産品愛用を奨励する事が肝要である。

◎外國競争者

- ノーベル爆發藥會社 (英國)
- デー・ダイナミット・アクティンゲゼルシャフト (獨逸)
- デー・ドイツチエ・スプレングストツプ・アクティンゲゼルシャフト (〆)
- コールナー・ダイナミット・ファブリック (〆)

◎輸入の主要原因

内地に於ては、民間製造家は當局の取締及裝置等の關係上急激に設備を擴張すること困難であり、又陸軍火工廠の如きは軍需品の關係上最少限度の製造をなすに過ぎざるを以て常に國內需要に對して供給不足し、且つ外國品は比較的低廉なることが輸入の主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

製造技術に於ては殆んど優劣がないが、品質は寧ろ國産品が優る。

◎輸入防止の主要處置

取締規則を寛大にして内地生産の増加を圖ることが第一義である。

一三四、デトネートル

デトネートルはダイナマイトの爆発を促すに必要な雷管の一種にして、導火線の端に被らしめ薬莖中に挿入して使用する。起爆剤としては雷汞を用ふるが、雷汞を上部に入れ下部に三硝酸トリユオルを充填して撃動に對する危険率を少くせるものが現今多く用ひらる。

輸入品の包装はフェルトを裏張せる葉鐵製小函に入れ鋸屑、コルク屑等を以て間隙を埋め、此の小函數個を紙に包みゴムを以て封じ、更に木箱に收む。一箱は普通一萬發入である。

◎輸入税率

一〇〇斤(内装共)に付——三七圓

◎主要生産者

東京瓦斯電氣工業株式会社(東京)
日本雷管製造株式会社(兵庫)
日本導火線株式会社(東京)

◎主要輸入者

エー・カメロン商會 (神戸)
シー・ワイン・ベルゲル商會(大阪)
セーブル商會 (横濱)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	1,933,578圓	—斤	—圓
11	—	1,033,772	—	—
12	—	1,551,328	—	—
13	—	5,007,907	25,622	94,681
14	—	1,753,110	12,030	29,495
昭和1	—	3,511,688	21,548	74,563
2	—	3,495,819	12,566	29,584
3	—	3,311,512	13,539	32,456
4	—	3,300,287	10,532	27,124
5	—	3,279,867	12,345	28,968

(彈藥筒其他を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	108,000圓
岩手	—	40,211
東京	—	41,216
神奈川	—	715,925
大阪	—	151,984
兵庫	—	365,475
山口	—	195,240
福岡	—	1,605,427

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	8,634斤	25,196圓
英吉利	2,789	4,586

◎外國競争者

ジヤパン・カールロード會社(東京)

コールナー・ダイナミット・フアブリック (獨逸)

デー・トイッチェ・スプリングスト
ツプ・アクティン・ゲゼルシャフト (ク)

デー・ダイナミット・アクティン・ゲゼルシャフト (ク)

ノーベル爆發藥會社 (英國)

◎輸入の主要原因

本品も亦ダイナマイト等と同じく陸軍省火工廠に於ては最少限度の製造をなし、民間に於ける生産は當局の取締等の關係上需要増加に應じて急激に設備を擴張して大量生産をなすこと困難なるがため、常に生産不足を告ぐるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て外國品に劣らないが、價格は概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

關稅引上、生産者取締の緩和等が最も肝要である。

一三五、彈藥筒及雷管

彈藥筒即ちカートリッジは圓筒形の藥莖にして、金屬又は紙を以て製す。單に火藥のみを充填せるものと火藥及彈丸又は散彈を充填せるものとあり。紙製彈藥筒は専ら獵銃用と

額 價額

—圓
—
—
8,726
386,715
326,547
15,269
148,269
102,314
96,558

(昭和三年)

價額
95,268圓
21,542
12,432
7,163
5,446

◎外國競争者

ジヤパン・カールロード會社(東京)

エリー商會

(英國)

◎主要生産者

東京瓦斯電気工業株式会社(東京)
日本雷管製造株式会社(兵庫)
日本導火線株式会社(東京)

◎主要輸入者

エー・カメロン商会(神戸)
シー・ワイン・ベルゲル商会(大阪)
セーブル商会(横濱)

一三五、彈藥筒及雷管

彈藥筒即ちカートリッジは圓筒形の藥莖にして、金屬又は紙を以て製す。單に火藥のみを充填せるものと火藥及彈丸又は散彈を充填せるものとあり。紙製彈藥筒は専ら獵銃用に供せらる。

雷管は一端閉鎖せる細小圓筒形の藥莖に雷汞及その他の藥品の混合物を充填せるものにして、充填藥品は各國夫々調合法を異にす。

◎輸入税率

彈藥筒(金屬製)の裝彈したるものは一〇〇斤(内裝共)に付四八圓八〇錢。其他は一〇〇斤(内裝共)に付二七圓一〇錢。

雷管は價格に對する三〇%

◎主要生産者

日本霰彈製造株式会社(東京)
帝國藥莖製造株式会社(シ)
中外雷管株式会社(福岡)

◎主要輸入者

エー・カメロン商会(神戸)
シー・ワイン・ベルゲル商会(大阪)
セーブル商会(横濱)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	1,933,578圓	—斤	—圓
11	—	1,033,772	—	—
12	—	1,551,328	—	—
13	—	5,007,907	—	8,726
14	—	1,753,110	319,917	386,715
昭和1	—	3,511,688	—	326,547
2	—	3,495,819	—	15,269
3	—	3,311,512	—	148,269
4	—	3,300,287	—	102,314
5	—	3,279,867	—	96,558

(デトネートル其他を含む)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	1,933,578
11	—	1,033,772
12	—	1,551,328
13	—	5,007,907
14	—	1,753,110
昭和1	—	3,511,688
2	—	3,495,819
3	—	3,311,512
4	—	3,300,287
5	—	3,279,867

(彈藥筒其他を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	108,000圓
岩 手	—	40,211
東 京	—	41,216
神奈川	—	715,925
大 阪	—	151,984
兵 庫	—	365,475
山 口	—	195,740
福 岡	—	1,605,427

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	95,268圓
獨 逸	—	21,542
北 米	—	12,432
佛 蘭 西	—	7,163
白 耳 義	—	5,446

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	108,000
岩 手	—	40,211
東 京	—	41,216
神奈川	—	715,925
大 阪	—	151,984
兵 庫	—	365,475
山 口	—	195,740
福 岡	—	1,605,427

の取締等の關係上需要増加に應じて急激に設備を擴張して大量生産をなすこと困難なるがため、常に生産不足を告ぐるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て外國品に劣らないが、價格は概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

關稅引上、生産者取締の緩和等が最も肝要である。

◎外國競争者

ジヤパン・カールロード會社(東京)
エリー商会(英國)
レミングトン商会(米國)
ウォルフ商会(獨逸)

◎輸入の主要原因

彈藥筒は外國品が品質優良にして且つ價格も比較的低廉なるがためである。又雷管は製作に少なからざる手数を要し、内地の小規模工場に於て製作する場合は生産費高價となり外國品に對抗し難きため之が製作者少く生産不足なる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は製造技術に於ても外國品に及ばず、且つ小規模に製造されるため、大量生産の外國品に比して價格も高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産者が製法の改善及び生産増加に努めると共に、政府は獵銃と同様本品に對しても奢侈税を課して輸入防遏に努める必要がある。

一三六、天然藍

天然藍の主産國は英領印度、海峽殖民地、蘭領印度、フィリッピン、中部アメリカ等にして、本邦に於ける生産額は少く、且つ價格に於て外國品よりも遙かに高價なるため、カルカッタ、マドラス、瓜哇等の各地より輸入さる。

輸入品の包装は各産地に依つて夫々異り、印度及瓜哇産は葉鐵にて裏張りしたる箱入にして、外部を更に麻布にて包み帶鐵を施す。一箱の重量は一〇〇封度乃至二五〇封度が普通である。

◎輸入税率

乾きたるものは一〇〇斤に付三三圓七〇錢。液状又は泥状のものは價格に對する二〇%。

◎主要生産者

臺灣、北海道を始め、徳島、愛知等の諸縣に産するも、大部分農家の副業的生産にして、製造家、仲買人等の手を経て取引さる。

◎主要輸入者

大部分神戸在住の印度商人の手を

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	2,613,032貫	2,626,116圓	897,182斤	3,347,100圓
11	2,222,258	2,354,840	283,583	820,486
12	1,702,556	1,238,387	102,330	237,145
13	1,171,562	576,031	80,151	224,794
14	951,954	352,358	54,555	141,946
昭和1	515,734	411,042	73,354	158,453
2	585,387	477,764	76,192	163,966
3	668,524	450,090	114,907	277,167
4	654,789	448,700	137,160	278,246
5	671,129	466,328	40,818	130,679

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	26,002貫	13,957圓
愛 知	35,331	16,825
三 重	48,541	21,717
廣 島	42,944	16,375
徳 島	379,099	290,552
福 岡	36,524	26,164

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
英 吉 利	10擔	2千圓
佛 蘭 西	46	15
獨 逸	738	224
伊 太 利	43	3
チエツコ	2	1
北米諸國	257	28

經て輸入され、特掲すべき取扱者なし。

◎外國競争者

英領印度産品及蘭領印度産品等が主として輸入されるが、近時輸入漸減し、激烈なる競争は行はれない。

◎輸入の主要原因

本邦に産する藍は品質良好であるが、使用上頗る手数を要し、且つ藍分の含有量少なきため、獨逸より人造藍が輸入されるに及んで國産藍の需要激減し、従つて生産額も亦激減するに至つた。然るに歐洲大戦に依つて獨逸藍の輸入杜絶せるため天然藍を輸入したが、現今に於ては人造藍復活の爲め本品の輸入は逐年激減しつつある。

◎輸入品と國産品の優劣

内地産藍は品質優良であるが、價格は頗る高價である。

◎輸入防止の主要處置

現今輸入頗る僅少なを以て、特に防止施設の必要を認めず。

◎外國競争者

北米産品、瑞西産品等も相當輸入されるが、獨逸産品は依然として第一

一三七、人造藍

人造藍は石岩瓦斯又は焦炭製造の副産物たるコールタールより製したるナフタリンを原料として製したるものにして、獨逸に於て製法發見さ

額	價 額
7,008,708圓	
5,226,036	
3,550,520	
3,877,170	
2,618,581	
2,619,094	
2,224,843	
1,674,837	
2,095,021	
1,020,817	

昭和三年)	價 額
100千圓	
1,104	
244	
225	

圓七〇錢。液状又は泥状のものは價格に對する二〇%。

◎主要生産者

臺灣、北海道を始め、徳島、愛知等の諸縣に産するも、大部分農家の副業的生産にして、製造家、仲買人等の手を経て取引さる。

◎主要輸入者

大部分神戸在住の印度商人の手を

一三七、人 造 藍

人造藍は石岩瓦斯又は焦炭製造の副産物たるコールタールより製したるナフタリンを原料として製したるものにして、獨逸に於て製法發見され以來各國に於て盛に製造されるに至つた。青紫色或は暗青色の粉末又は赤紫色の泥状を爲し、水、アルコール等には溶解せざるもアニリン、ニトロベンジン、石炭酸、及びアルカリに容易に溶解し、各種纖維に親和力強きを以て、染料として廣く使用され需要頗る多し。

輸入品の包装は樽入にして、一個の重量一二封度が普通である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四〇圓

◎主要生産者

三井礦山三池染料工業所(大牟田)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
 大正貿易株式会社 (大阪)
 獨逸染料合名會社 (神戸)
 ナシヨナルアニリン染料會社(シ)
 藥品株式會社 (シ)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	476,601貫	1,000,362圓	1,643,762斤	7,008,708圓
11	463,145	998,116	2,400,815	5,226,036
12	456,561	773,214	2,396,121	3,550,520
13	382,779	506,781	2,490,996	3,877,170
14	266,007	353,069	1,624,084	2,618,581
昭和1	212,272	232,124	1,930,937	2,619,094
2	221,099	316,481	1,685,392	2,224,843
3	141,504	145,430	1,296,399	1,674,837
4	122,645	126,168	1,567,272	2,095,021
5	155,126	186,368	663,250	1,020,817

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
埼 玉	17,509貫	15,122圓
千 葉	3,740	5,164
東 京	15,900	16,275
岐 阜	5,880	6,016
愛 知	43,702	41,425
三 重	12,406	11,570
徳 島	4,500	5,570

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
佛 蘭 西	787百斤	100千圓
獨 逸	8,651	1,104
瑞 西	1,685	244
其他北米諸國	1,836	225

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	26,002貫	13,95
愛 知	35,331	16,82
三 重	48,541	21,71
廣 島	42,944	16,37
徳 島	379,099	290,55
福 岡	36,524	26,16

藍を輸入したが、現今に於ては人造藍復活の爲め本品の輸入は逐年激減しつつある。

◎輸入品と國産品の優劣

内地産藍は品質優良であるが、價格は頗る高價である。

◎輸入防止の主要處置

現今輸入頗る僅少なるを以て、特に防止施設の必要を認めず。

◎外國競争者

北米産品、瑞西産品等も相當輸入されるが、獨逸産品は依然として第一位を占め、北米及瑞西その他諸外國品に對して盛んに競争し、又國産品に對しても價格等に於て盛んに競争をなしてゐる。

◎輸入の主要原因

本邦古來の染料たる天然藍は、染色頗る堅牢にして到底外國産天然藍及び人造藍の及ぶ所でないが、製造上日時及び手数を要する爲め價格頗る高く、且つ使用に不便を感じ特殊なるものゝ外殆んど使用されざる状態である。然るに一方人造藍の國內生産はその量頗る僅少にして到底需要に充たざるが爲め、輸入は止むを得ない。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては大差なし。

◎輸入防止の主要處置

關稅を引上げ、一方生産者に對し適當の保護をなす必要がある。

一三八、コイル染料

コイル染料はその種類頗る多きも、何れもコイル染料を原料として製したるものにして、主たる用途は糸布の染色、苳、紙、石鹼、セルロイド、皮革、食物等の着色劑、顔料の原料、或は醫療藥品の原料等である。

◎輸入税率

鹽基性染料一〇〇斤——一五五圓
直接染料 同 ——一〇七圓
酸性染料 同 ——一三五圓
媒染々料 同 ——一〇八圓
硫化染料 同 ——七八圓
建築染料 同 ——一八八圓
油解染料 同 ——一〇〇圓
其他の染料は價格に對する三五%

◎主要生産者

日本染料製造株式會社 (大阪)
大阪色素化學研究所 (シ)
三井鑛山三池染料工業所(大牟田)
帝國染料製造株式會社 (福山)
尾崎染料製造所 (岡山)
横山合名會社 (東京)
石井化學研究所 (シ)
日本色素研究所 (シ)

Table with columns: 國産 (Quantity, Price), 輸入 (Quantity, Price). Rows include years 大正10-14 and 昭和1-5, with a total for sulfur dyes.

主要府縣別生産額(昭和三年)

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows include 東京, 愛知, 京都, 大阪, 岡山, 廣島.

主要國別輸入額(昭和三年)

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows include 英吉利, 佛蘭西, 獨逸, 瑞西, 北米.

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
日瑞貿易株式會社 (大阪)
株式會社長瀬商店 (シ)
株式會社稻畑商店 (シ)
獨逸染料合名會社 (神戸)

◎外國競争者

イーゲー染料工業株式會社(獨逸)
イー・アイ・デューポント・デ・ニーマース會社 (米國)
ナシヨナルアニリン染料會社(シ)
ガイギー染料會社 (瑞西)
ローナー會社 (シ)
ナシヨナル染料會社 (佛國)

◎輸入の主要原因

國産品は品種少く、生産量少く、且つ品質に於て概して輸入品に及ばず、加ふるに外國會社は盛んに廣告宣傳し、價低格亦廉なるに因る。

◎輸入防止の主要處置

輸入制限令の適用を各國に及ぼして極度に輸入を制限し、一方國産の振興を保護奨励すべし。

一三九、酸化コバルト

酸化コバルトは砒コバルト礦、輝コバルト礦、硫コバルト礦等の各種コバルト礦を原料として製したる黒色の粉末にして、水及アルコールに

Table with columns: 額, 價額. Rows include values from 99,171 to 423,066.

Table with columns: 價額. Rows include values 169千圓, 20, 130, 38, 39.

◎外國競争者

加奈陀産品、獨逸産品、米國産品及び英國産品等にして、各國相互間の競争激なるのみならず、本部産

其他の染料は價格に對する三五%

◎主要生産者

- 日本染料製造株式會社 (大阪)
- 大阪色素化學研究所 (〃)
- 三井鑛山三池染料工業所(大牟田)
- 帝國染料製造株式會社 (福山)
- 尾崎染料製造所 (岡山)
- 横山合名會社 (東京)
- 石井化學研究所 (〃)
- 日本色素研究所 (〃)

國 産 額

年次	數量	價 額
大正10	23,678,216斤	14,496,000
11	11,860,148	5,814,000
12	8,410,251	4,130,000
13	15,144,991	10,770,000
14	9,667,763	11,016,000
昭和 1	8,499,305	8,336,000
2	8,014,357	6,324,000
3	7,382,278	7,037,000
4	7,754,001	7,440,000
5	8,129,675	7,665,000

(硫化染料及其他の合計額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	180,481斤	782,760
愛 知	250,000	127,000
京 都	243,450	168,900
大 阪	2,117,668	4,299,260
岡 山	1,963,000	498,900
廣 島	2,573,679	1,103,070

◎輸入の主要原因

國産品は品種少く、生産量少く、且つ品質に於て概して輸入品に及ばず、加ふるに外國會社は盛んに廣告宣傳し、價低格亦廉なるに因る。

◎輸入防止の主要處置

輸入制限令の適用を各國に及ぼして極度に輸入を制限し、一方國産の振興を保護獎勵すべし。

一三九、酸化コバルト

酸化コバルトは砒コバルト礦、輝コバルト礦、硫コバルト礦等の各種コバルト礦を原料として製したる黑色の粉末にして、水及アルコールには溶解せざるも酸類には溶解し淡紅色の鹽類を生ず。本品は陶磁器の藍色釉藥及び藍青硝子の製造に用ひられ又、本品を製鍊すれば金屬コバルトとなり、工業上及軍需上に用ひらる。

輸入品の包装は罐入にして、普通英國品は一〇封度入十罐、獨逸品は一〇封度入四罐を一箱とす。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 黒鉛マンガン株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

- 平野商店 (大阪)
- 上原商店 (〃)
- 小西新兵衛商店 (東京)
- 島久商店 (〃)
- 松村商店 (〃)

輸 入 額

年次	數量	價 額
大正10	17,992斤	99,171圓
11	111,003	621,295
12	110,072	612,248
13	99,527	615,519
14	114,712	743,499
昭和 1	57,108	322,092
2	83,070	435,864
3	77,221	399,625
4	102,632	537,509
5	87,961	423,066

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
愛 知	250,000斤	127,000圓
大 阪	859,495	349,662
岡 山	1,963,000	498,900
廣 島	2,421,493	862,557

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	318百斤	169千圓
佛 蘭 西	38	20
獨 逸	250	130
北 米	72	38
加 奈 陀	75	39

◎外國競争者

加奈陀産品、獨逸産品、米國産品及び英國産品等にして、各國相互間の競争激烈なるのみならず、本邦産品に對しては價格を引下げて露骨なる競争を辭せざるため、國産品は多大の壓迫を蒙りつゝある。

◎輸入の主要原因

本邦には原料礦石の生産なきため支那方面より之を輸入し、之を製造しつゝあるが、輸入品に比して品質著しく劣等にして酸化コバルトとして使用に堪えず、代用品として一部の需要を充たすに過ぎざる状態である。而も之れさへ尙且つ輸入品に壓迫されて需要少く斯業は不振を極めて居る。是れ本品輸入の主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に外國品に及ばず。

◎輸入防止の主要處置

相當高率の輸入税を課し、且つ生産者を直接保護することを要す。

一四〇、金液

金液は硫黄を混和せるバルサンに硫化金又は雷金を混合して製す。本品の主たる用途は陶磁器、硝子器などに熔着し金屬固有の光彩を發揮せしむるに在り。國産額は國內需要に足らざるため相當巨額輸入さる。輸入品の包装は、普通一オンス罐入百個を亞鉛裏張の箱入とす。

◎輸入税率
一斤に付——一圓四〇錢

◎主要生産者

- 日本陶器株式會社 (名古屋)
- センク・バイル會社 (大阪)
- 鹽野儀商店 (大阪)
- 大阪工業試験所 (大阪)

◎主要輸入者

- 島久商店 (東京)
- 小西新兵衛商店 (大阪)
- 小西安兵衛商店 (大阪)
- 松村商店 (大阪)
- 上原商店 (大阪)
- 平野商店 (名吉屋)
- 伊勢久商店 (名吉屋)
- 瀬榮合資會社 (大阪)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	— 疋	— 圓	—	— 圓
11	—	—	—	—
12	—	—	—	—
13	—	—	2,100 オンス	12,311
14	1,000	200,000	—	—
昭和1	—	185,000	—	—
2	—	236,000	1,919,302 疋	451,973
3	—	214,000	2,463,853	598,371
4	—	223,000	2,451,663	589,422
5	—	256,000	1,942,196	449,181

(推定産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
愛知	—	95,000 圓
大阪	—	67,000

(推定額)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	2,464 疋	598 千圓

◎外國競争者

- 松風工業株式會社 (京都)
- 株式會社田代商店 (名古屋)
- 大洋商工株式會社 (大阪)
- 井元爲三郎 (大阪)
- ウエンガー (英國)
- メリー (英國)
- イー・エツチ・チタスカイ (英國)
- トング・フェード (英國)
- マール・ド・ボー (英國)
- ラットロマー (獨逸)
- ヘラウス (獨逸)

◎輸入の主要原因

陶磁器の加工用として本品の需要頗る多きに拘らず、國內に於ける生産少きが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は廉價であるが、品質劣等なる爲め輸入品を使用する方が却つて割安となる。

◎輸入防止の主要處置

製造技術の進歩及び生産量の増加を圖ることが急務である。

◎外國競争者

主として獨逸産品及び佛蘭西産品であるが、輸入額僅少にして競争も不激烈なやい。

一四一、紺青

紺青即ちプルツシアンブリウは、硫酸鐵と黄色血滷鹽とより製したるフェロ酸化鐵にして、小方形の扁塊を爲し金屬に似たる光澤を有す。水

額	價額
21,010 圓	
19,143	
5,757	
197,912	
109,087	
118,694	
110,593	
94,562	
97,844	
70,419	

(昭和三年)

價額
94,343 圓
4,915
8,494
7
1,328

大阪工業試験所

◎主要輸入者

- 島久商店 (東京)
- 小西新兵衛商店 (〃)
- 小西安兵衛商店 (〃)
- 松村商店 (大阪)
- 上原商店 (〃)
- 平野商店 (〃)
- 伊勢久商店 (名古屋)
- 瀬榮合資會社 (〃)

國産額
數量 價

大正10	— 疋	—
11	—	—
12	—	—
13	—	—
14	1,000	200,
昭和1	—	185,
2	—	236,
3	—	214,
4	—	223,
5	—	256,

(推定産額)

◎主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
愛知	—	95,000
大阪	—	67,000

(推定額)

◎輸入品と國産品の優劣
國産品は廉價であるが、品質劣等なる爲め輸入品を使用する方が却つて割安となる。

◎輸入防止の主要處置

製造技術の進歩及び生産量の増加を圖ることが急務である。

一四一、紺

青

紺青即ちブルツシアンブリウは、硫酸鐵と黄色血滷鹽とより製したるフェロ酸化鐵にして、小方形の扁塊を爲し金屬に似たる光澤を有す。水アルコールエーテル等に溶解せざるも、稼酸には容易に溶解す。本品は繪具原料、紙の着色劑、インキ原料等に用ひらる。支那産品は世界に於ける最良品として知られ支那青の名があるが、本邦に輸入されるものは大部分歐米品である。

輸入品の包装は罐入にして、三〇疋入二罐を以て一箱とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二三圓四〇錢

◎主要生産者

- 齋藤色素製造所 (東京)
- 川藤合名會社 (大阪)
- オリエント商會 (〃)
- ◎主要輸入者
- 黒田市之助商店 (東京)
- 合名會社田中商店 (〃)
- 植田壯之助商店 (〃)
- 繪安合資會社 (大阪)

國産額 輸入額
數量 價額 數量 價額

大正10	— 斤	— 圓	16,405 斤	21,010 圓
11	—	—	16,823	19,143
12	—	—	2,966	5,757
13	180,000	234,000	156,606	197,912
14	—	—	90,227	109,087
昭和1	240,000	297,000	121,365	118,694
2	280,000	280,000	98,054	110,593
3	290,500	350,000	93,254	94,562
4	260,000	301,000	95,863	97,844
5	280,000	330,000	73,216	70,419

(推定産額)

◎主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	120,000 斤	140,000 圓
大阪	110,000	130,000
愛知	6,000	7,000

(推定産額)

◎主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	79,988 斤	94,343 圓
和蘭	4,000	4,915
英吉利	5,380	8,494
北米	26	7
佛蘭西	833	1,328

◎外國競争者

主として獨逸産品及び佛蘭西産品であるが、輸入額僅少にして競争も亦激烈でない。

◎輸入の主要原因

本品の國內に於ける生産は比較的近年にして、従前は多年海外より輸入されつゝあつた爲め、海外品は優良なりとの觀念先入主となり、現在に於ても外國品を過信し崇拜する傾向あるに由る。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては大差なきも、高級品に於ては外國品の溶解良好にして染色鮮明なるに及ばず、特に印刷インキの原料、或は紙の色揚等に用ふる場合は、オランダ品、ベルギー品などに比して著しき遜色がある。又價格に於ても、外國品は品質の優良なる割合に低廉である。

◎輸入防止の主要處置

輸入品崇拜の念を打破し、一方生産費の低下に努めることを要す。

一四二、群青

群青は天然礦石扁青石を原料として製し、又人工的には陶土、硫酸曹達又は炭酸曹達、木炭、硫黄、硅酸等を原料として製す。現今用ひらるものは大部分人工的に製したるものにして、硫酸群青、曹達群青、混合群青の三種がある。何れも藍色の粉末にして繪具の原料、製紙着色劑布帛の晒し、砂糖及蠟の艶出し等に用ひらる。

輸入品の包装は、一斤宛紙包となしたるもの百包を亞鉛板裏張の箱入とし、又は包装用紙に包みたるものを箱入又は樽入とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓七〇錢

◎主要生産者

合資會社江戸川工業所 (東京)
多治見顔料製造所 (岐阜)

◎主要輸入者

謙信洋行 (神戸)
オットライメルス商會 (シ)
ピアス商會 (東京)
合名會社田中商店 (シ)

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	—斤	35,210斤	18,287圓
11	—	30,769	18,927
12	—	51,859	27,490
13	136,000	454,117	263,427
14	—	368,524	214,512
昭和1	—	336,298	200,158
2	—	96,235	54,217
3	—	146,519	97,457
4	—	158,263	103,514
5	—	145,267	95,638

(大正十三年は推定産額、以降不詳)

主要府縣別生産額(大正十三年)

縣名	數量	價額
東京	76,000斤	32,000圓
大阪	58,000	27,000

(推定産額)

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
白耳義	77,774斤	36,048圓
佛蘭西	32,093	15,837
獨逸	79,630	33,590
北米	38,421	21,494
英吉利	17,678	10,295
和蘭	9,000	3,716
海峽殖民地	1,008	807

◎外國競争者

白耳義産品、佛蘭西産品、獨逸産品及米國産品が主として輸入されるが、輸入額少く従つて激烈なる競争は演ぜられない。

◎輸入の主要原因

本品の國內生産能力は略々國內需要を満し得るに拘らず、従來國産品は品質粗悪なるもの多かりし爲め今尙ほ外國品崇拜の觀念去らず、需要家は輸入品を歓迎する傾向あることも其の一因であるが、國産品には高級品乏しく、且つ生産不足を告ぐる場合が多い。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては大差ないが、高級品は濃度その他に於て外國品に及ばざる點少なからず、且つ國産品は原料その他の關係上外國品よりも概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

高級品の製造及生産費の低下に就いて研究することが急務である。

一四三、亞鉛白

亞鉛白は亞鉛の酸化したるもの又は硫化したるものにして、前者を酸化亞鉛、後者を硫化亞鉛と謂ふ。兩者共に白色細微の粉末にして、水、アルコール、松清油等では容解せざ

價額
—圓
—
—
22,902
6,504
—
—
—
—
—

なし)

(大正十四年)

價額
4,888圓
313
820
328
155

◎外國競争者

ニウジャーシーディング會社(米國)

◎輸入の主要原因

一〇〇斤に付——一圓七〇錢

◎主要生産者

合資會社江戸川工業所 (東京)
多治見顔料製造所 (岐阜)

◎主要輸入者

謙信洋行 (神戸)
オットライメルス商會 (シ)
ピアス商會 (東京)
合名會社田中商店 (シ)

國産額

年次	數量	價額
大正10	—斤	—
11	—	—
12	—	—
13	136,000	68,000
14	—	—
昭和1	—	—
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—

(大正十三年は推定産額)

◎輸入品と國産品の優劣

縣名	數量	價額
東京	76,000斤	32,000
大阪	58,000	27,000

(推定産額)

◎輸入防止の主要處置

高級品の製造及生産費の低下に就いて研究することが急務である。

一四三、亞鉛白

亞鉛白は亞鉛の酸化したるものは硫化したるものにして、前者を酸化亞鉛、後者を硫化亞鉛と謂ふ。兩者共に白色細微の粉末にして、水、アルコール、松精油等には溶解せざるも酸類、アムモニヤ、苛性アルカリ等には容易に溶解し、又日光及空氣のために變色せざることは本品の特性である。主たる用途は塗料、化粧品、化粧品の原料、撒布薬及軟膏の原料等である。

輸入品の包装は二二四封度の樽入又は箱入が普通である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四圓八五錢

◎主要生産者

日本ペイント製造株式會社(大阪)
帝國塗料株式會社 (東京)
關西ペイント株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

本品は近來國內生産を以て略自給自足の状態に在り、特殊なる場合に輸入されるに過ぎざるを以て、特掲すべき輸入取扱者なし。

輸入額

年次	數量	價額
大正10	—斤	—圓
11	—	—
12	—	—
13	70,201	22,902
14	20,032	6,504
昭和1	—	—
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—

(輸入殆んどなし)

國産額

年次	數量	價額
大正10	11,339,288封度	2,084,274圓
11	7,301,468	1,277,375
12	37,734,970	2,515,410
13	17,305,257	3,629,034
14	14,238,557	3,237,254
昭和1	12,834,239	3,026,883
2	21,284,550	4,458,843
3	22,303,552	4,333,524
4	21,875,010	4,326,544
5	22,643,576	4,412,001

(酸化亞鉛の産額)

◎輸入品と國産品の優劣

本品製造の原料たる亞鉛礦又は亞鉛地金は、精鍊頗る困難にして、電氣精鍊法に依るも猶ほ鐵、カドミウム等を含有するのが通例である。然るに本邦産亞鉛地金は外國品に比してカドミウムの含有量少きため、精鍊上頗る手数が省略され而も製品の色調良好である。但し純亞鉛分の含有量少きことは國産亞鉛地金の缺點である。故に製品に於ては一長一短ありて、外國品と大差がない。

◎輸入防止の主要處置

輸入僅少なるを以て、特に防止策の必要を認めない。

◎輸入の主要原因

國內生産を以て足れるため、特に輸入の必要なく、従つてその原因と認むべきものはないが、價格等の關係に依つて、或は國內需要が激増したる場合等に少量輸入さる。

◎外國競争者

ニウジャーンシーディング會社(米國)

◎輸入の主要原因

◎輸入品と國産品の優劣

本品製造の原料たる亞鉛礦又は亞鉛地金は、精鍊頗る困難にして、電氣精鍊法に依るも猶ほ鐵、カドミウム等を含有するのが通例である。然るに本邦産亞鉛地金は外國品に比してカドミウムの含有量少きため、精鍊上頗る手数が省略され而も製品の色調良好である。但し純亞鉛分の含有量少きことは國産亞鉛地金の缺點である。故に製品に於ては一長一短ありて、外國品と大差がない。

一四四、硫酸バリウム

硫酸バリウムは重晶石より製したる白色細微の粉末にして、水には殆んど溶解せず、白色顔料中性質最も堅牢である。故に一名不變白と稱せらる。諸他の顔料と調合して用ひらるゝ場合多く、塗料として單獨に用ひらるゝ場合は殆んどない。又被覆力に乏しきため、鉛白等に比すれば頗る劣等品である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——八〇錢

◎主要生産者

日本化學工業株式會社 (東京)
日本工業藥品製造所 (大阪)

◎主要輸入者

粉狀硫酸バリウムとして輸入されるものは、英、米及び獨逸等より又原料重晶石として輸入されるものは支那方面より夫々輸入されるが、取扱者として特掲すべき者はない。

◎外國競争者

デキスターズ會社 (英國)
テラーブラザース會社(ク)

國産額			輸入額		
年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正10	—封度	—圓	—	—圓
11	50,000	25,000	—	—
12	1,384,537	125,981	—	—
13	4,710,925	504,462	—	—
14	3,875,230	264,087	—	15,258
昭和1	13,111,139	377,869	—	17,514
2	7,205,667	431,912	—	32,056
3	8,333,261	510,499	—	16,543
4	8,446,589	522,128	—	—
5	8,515,021	534,987	—	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	1,182,861封度	103,799圓
大阪	7,150,400	406,700

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	—	9,654圓
獨逸	—	3,269

◎輸入の主要原因

内地には原料重晶石の生産少く、大部分支那、滿州又は朝鮮等より輸入されたるものを原料とするため生産費高く、従つて價格も概して外國品より高價である。加ふるにその製造技術に於て英、米、獨等に及ばず、品質上外國品に及ばざる點が少くない。是れ本品輸入の主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は原料その他の關係上外國品より價格高く、而も品質に於ては分子の微細ならざる點その他外國品に及ばざる點が少くない。

◎輸入防止の主要處置

原料鑛石の輸入に對し、運賃の補助その他適當の措置を講じて安價且つ潤澤に供給し得るやう政府に於て努力し、一方生産者は製造技術に關する研究を遂げて、外國品に對抗し得る良品を安價に生産することに努力すべきである。

エリコ・ダムミ會社 (伊太利)

◎外國競争者

イー・エフ・エム・ワルドー(米國)
ニウージャヤーシーディング會社(ク)

一四五、リソフオイン (硫白亞鉛)

リソフオインは硫化亞鉛と硫酸バリウムの混合物にして、混合の分量に依つて色彩を異にし、上等品は純白であるが、劣等品は酸化鐵或は炭素未を含有するため灰色又は淡黄色

額	價額
—圓	—
74,000	—
72,000	—
—	—
—	—
—	—
—	—

價額
70,000圓
1,000

日本工業藥品製造所 (大阪)

◎主要輸入者

粉狀硫酸バリウムとして輸入されるものは、英、米及び獨逸等より又原料重晶石として輸入されるものは支那方面より夫々輸入されるが、取扱者として特掲すべき者はない。

◎外國爭競者

デキスターズ會社 (英國)
テララーブラザース會社(ク)

國 産 額

年次	數量	價 額
大正10	—封度	—
11	50,000	25,000
12	1,384,537	125,900
13	4,710,925	504,400
14	3,875,230	264,000
昭和1	13,111,139	377,800
2	7,205,667	431,900
3	8,333,261	510,400
4	8,446,589	522,100
5	8,515,021	534,900

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	1,182,861封度	103,799
大 阪	7,150,400	406,700

品より價格高く、而も品質に於ては分子の微細ならざる點その他外國品に及ばざる點が少くない。

◎輸入防止の主要處置

原料鑛石の輸入に對し、運賃の補助その他適當の措置を講じて安價且つ潤澤に供給し得るやう政府に於て努力し、一方生産者は製造技術に關する研究を遂げて、外國品に對抗し得る良品を安價に生産することに努力すべきである。

一四五、リソフオイン (硫白亞鉛)

リソフオインは硫化亞鉛と硫酸バリウムの混合物にして、混合の分量に依つて色彩を異にし、上等品は純白であるが、劣等品は酸化鐵或は炭素未を含有するため灰色又は淡黄色である。又一般市場に販賣されるものは炭酸亞鉛、硫酸亞鉛等有効成分以外のものを含有するため、白色顏料としての品位は亞鉛筆、鉛白等に遙かに及ばない。

◎輸入稅率

一〇〇斤に付——二圓三五錢

◎主要生産者

日本ペイント製造株式會社(大阪)
帝國塗料株式會社 (東京)
關西ペイント株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

辰己彌助商店 (大阪)
高島商店 (ク)
オリエント商會 (ク)
藤井爲作商店 (ク)
千代田貿易商會 (東京)
小西安兵衛商店 (ク)
小西新兵衛商店 (ク)

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	480,000封度	69,600圓	—斤	—圓
11	600,000	72,000	—	—
12	1,937,150	215,647	486,000	74,000
13	4,653,055	619,725	395,000	72,000
14	3,104,756	381,167	—	—
昭和1	2,836,040	331,459	—	—
2	5,156,552	609,213	—	—
3	4,023,300	452,963	—	—
4	4,176,557	466,403	—	—
5	4,412,001	481,956	—	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	1,163,300封度	127,963圓
大 阪	2,860,000	325,000

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
北 米	364,000斤	70,000圓
獨 逸	15,000	1,000

◎外國競爭者

イー・エフ・エム・ワルドー(米國)
ニウージャヤーシーデング會社(ク)

◎輸入の主要原因

本品は白色顏料として比較的新しい製法に屬し、殊に本邦に於ける生産は經驗未だ充分ならず、従つて外國製品に比して品質劣等なること及び生産額少なくて内地需要を充し得ざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國內に於ける生産は逐年進歩して品質も向上し、且つ生産量も増加しつつあるが、未だ研究的時代を脱せざるため、外國品に比して品質劣等である。

◎輸入防止の主要處置

本品の製造は進歩の階梯に在るを以て、政府は本品の生産者に對して保護獎勵を加へ、同時に本品の用途に對しても研究をなさしめ、且つ一方に於て關稅引上に依つて國産品需要の増加を圖る必要がある。

一四六、カーボンブラック

カーボンブラックは炭素を主成分とせる黒色顔料にして、有機物を密閉器中又は坩堝中にて灼熱炭化せしむるか、或は油類、瀝青質物を燃焼しその煤烟を採集して製したるものである。骨炭、象牙炭、フランクフルト黒、烟煤等は本品に属する主たるものにして、骨炭は印刷用インキ及靴墨等の原料に用ひられ、象牙炭は銅版用印刷用インキ及靴墨の原料、フランクフルト黒は銅版印刷用インキ原料及一般黒色顔料、烟煤は印刷、印刷用インキ、ペイント、弾性ゴム、紙等の着色剤に供せらる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓九五錢

◎主要生産者

日本ペイント製造株式会社(東京)
關西ペイント製造株式会社(大阪)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
深川商會 ()
小西安兵衛商店 ()
千代田貿易商會 ()

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	316,691斤	237,345圓	1,346,870斤	573,238圓
11	410,599	224,037	1,482,187	624,877
12	375,235	233,108	1,576,601	920,920
13	189,101	112,460	2,082,846	793,922
14	459,630	334,592	1,348,758	497,436
昭和1	376,519	310,549	1,973,977	745,061
2	398,632	321,458	2,554,348	807,055
3	450,268	331,569	3,739,554	1,165,441
4	468,965	336,548	3,674,600	1,113,776
5	458,219	334,396	3,645,000	786,137

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	91,296斤	66,523圓
大 阪	262,534	198,569

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	10百斤	0千圓
英 吉 利	150	3
獨 逸	148	3
和 蘭	117	5
北 米	36,962	1,152

◎外國競争者

安宅商會 (大阪)
オリエント商會 ()
辰己彌助商店 ()

ユイナイテッド・カーボン・コンパニー (米國)
ユイナイテッド・ナチュラル・ガス・プロダクト・コーペレーション ()
イースタン・カーボン・ブラック・コンパニー ()
パイナリー・エンド・スミス・コンパニー ()
パニーオブニューヨーク ()

◎輸入の主要原因

國內需要は逐年増加しつつあるに對し、生産之に伴はざる爲である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は外國品よりも品質概して劣等であるに拘らず、價格は却つて高價である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加品質の向上及び生産費の低下に努力を要す。

一四七、漆

漆は漆樹の幹枝より採取せる液にして、生漆即ち漆樹より採取せる儘のものに灰白色の粘汗であるが、之を空氣に曝し水分を除去したるもの

額	價 額
2,165,326圓	
2,423,304	
2,492,217	
2,841,295	
3,624,958	
4,511,094	
4,993,433	
4,305,530	
3,520,361	
2,562,380	

昭和三年)

價 額
3,369千圓
936

◎外國競争者

支那漆は河南省、安徽省、陝西省、

店、水田漆行等。

◎輸入税率
一〇〇斤に付——一圓九五錢

◎主要生産者
日本ペイント製造株式会社(東京)
關西ペイント製造株式会社(大阪)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
深川商會 ()
小西安兵衛商店 ()
千代田貿易商會 ()

一四七、漆

漆は漆樹の幹枝より採取せる液にして、生漆即ち漆樹より採取せる儘のものは灰白色の粘汗であるが、之を空氣に曝し水分を除去したるものは暗褐色を呈す、正味漆が即ち是れである。本品は漆器の塗料として用ひられる外、金屬の錆止め、銃床の摺漆及火藥函、紡績用木管、皮革、酒桶の内部其の他各種木製品の塗料として用途頗る廣汎である。

輸入品の包装は樽入(支那産)又は囊入(印度産)にして、重量は普通一〇〇斤乃至一五〇斤である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——六圓八〇錢

◎主要生産者

青森、岩手、新潟、福井、茨城、栃木等各縣下に多數あるも、概ね小規模にして待掲すべき者少し。

◎主要輸入者

安南漆の輸入者は下村洋行、安田洋行、池田洋行、菊地洋行、株式会社齋藤漆店、水田漆行等。
支那漆の輸入者は株式会社齋藤漆

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	147,539貫	2,710,485圓	1,670,743斤	2,165,326圓
11	152,398	2,266,262	1,812,847	2,423,304
12	116,484	1,946,201	1,870,421	2,492,217
13	128,243	2,359,650	2,179,379	2,841,295
14	127,491	2,437,587	2,167,971	3,624,958
昭和 1	380,950	849,236	2,236,530	4,511,094
2	701,885	1,458,143	2,355,454	4,993,433
3	626,046	1,276,428	2,558,700	4,305,530
4	574,238	1,104,465	2,498,800	3,520,361
5	633,003	1,316,874	2,382,000	2,562,380

	國 産 額	
	數 量	價 額
大正10	316,691斤	237,34
11	410,599	224,03
12	375,235	233,10
13	189,101	112,46
14	459,630	334,59
昭和 1	376,519	310,54
2	398,632	321,45
3	450,268	331,56
4	468,965	336,54
5	458,219	334,39

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	313,690貫	729,300圓
愛 知	58,100	98,000
大 阪	254,256	449,128

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
支 那	19,472百斤	3,369千圓
佛領印度支那	6,115	936

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	91,296斤	66,523圓
大 阪	262,534	198,569

國內需要は逐年増加しつつあるに對し、生産之に伴はざる爲である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は外國品よりも品質概して劣等であるに拘らず、価格は却つて高價である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加品質の向上及び生産費の低下に努力を要す。

店、水田漆行等。

◎外國競争者

支那漆は河南省、安徽省、陝西省湖北省、四川省等の産品。

安南漆(東京漆)は佛領印度支那及福壽省の産品。

◎輸入の主要原因

國産漆は價格に於て支那漆及安南漆に對抗し得ざるため、次第に輸入品に壓迫されて生産減少しつつあり一方需要は逐年増加するため輸入額逐年増加し、現在に於ては内地産漆は需要の一割内外に過ぎざる状態となつた。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は輸入品よりも遙かに優良であるが、價格は地價、勞銀等の關係上遙かに高價である。

◎輸入防止の主要處置

本品の自給自足策を確立するは頗る緊要にして、政府は須らく漆樹の増植採取方法の改善等に意を注ぐべきである。

一四八、ヴァニッシュ (假漆)

ヴァニッシュは樹脂と酒精又は植物性油を以て製したるものにして、俗にニス、ワニス等と稱す。アルコール製、松精油製、油製の三種に大別され、何れも木材、鐵具、家具等の塗料として用途頗る廣汎である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一九圓〇四錢

◎主要生産者

- 日本化學工業株式會社 (東京)
- 日本ワニス製造所 (〃)
- 不二塗料株式會社 (〃)
- 帝國塗料株式會社 (〃)
- 合名會社服部商店 (〃)
- 旭工業株式會社 (〃)
- 見並化學工業所 (〃)
- 日本ペイント製造株式會社(大阪)
- 太陽ペイント株式會社 (〃)
- 川上塗料製造所 (〃)
- 吉田市化學製品所 (〃)
- 三精舎 (〃)
- 米澤塗料工業所 (〃)
- ダイヤモンドワニス製造所(〃)
- 東洋塗料株式會社 (神戸)
- 東亞ペイント株式會社 (〃)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	2,011,421封度	745,735圓	477,096斤	427,680圓
11	1,972,859	1,017,612	379,803	309,893
12	4,900,355	1,956,285	423,174	334,796
13	1,700,442	1,113,181	661,814	486,312
14	3,623,317	1,815,522	363,509	288,660
昭和1	3,370,893	1,782,599	598,546	365,717
2	7,106,304	2,654,201	330,834	230,814
3	8,083,434	3,266,252	462,549	283,944
4	8,213,588	3,349,874	437,637	275,508
5	8,440,055	3,414,020	248,415	142,569

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	3,080,984封度	1,381,394圓
神奈川	652,708	200,361
大阪	4,122,677	1,586,143
兵庫	227,065	95,637

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	4,625百斤	283千圓

◎主要輸入者

- 常盤貿易商會 (東京)
- 千代田貿易商會 (〃)
- 甘粕商店 (〃)
- 丸木貿易合資會社 (〃)
- 八洲商店 (〃)
- 田中源太郎商會 (大阪)

◎外國競争者

- スターリング、ウエスティングハウ
- ス、アクメ會社、スタンダード
- ヴァニッシュ會社フエデラル會社、ヒ
- ユーター會社 (以上米國)
- アスピナル會社、マンダー會社、
- ノーブルホア會社 (以上英國)

◎輸入の主要原因

主として舶來品尊崇に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

高級ボデーワニスの如き特殊品の外は、品質に於て優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

關稅を引上げ徹底的に輸入を防止することが急務である。

一四九、ピッチ及アスファルト

ピッチは木タール及び石炭タールの殘滓より製造され、船艇塗料、黒色ワニス及練炭の原料、道路鋪裝等に用ひらる。アスファルトは防水塗

額
421,312圓
1,077,034
738,763
977,497
655,508
1,020,113
816,412
869,329
1,023,582
763,024

昭和三年)	價額
	0千圓
	5
	13
	849

◎輸入の主要原因

大正八年輸入税を撤廢したる結果米國製品の輸入激増し、國産品は之

ピッチは木タール及び石炭タールの残滓より製造され、船艇塗料、黒色ワニス及練炭の原料、道路舗装等に用ひらる。アスファルトは防水塗料、電気絶縁物、防水布の製造、道路舗装等に用ひらる。兩者とも需要頗る多く、従来大部分海外より輸入されつゝあつたが、近時内地生産の増加に依つて、需要の大部分は國産品を以て充當し得るに至つた。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

日本石油株式会社 (東京)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)

浅野物産株式会社 (シ)

スタンダード石油会社 (神戸)

◎外國競争者

スタンダード石油会社 (米國)

ライデングサン石油会社 (シ)

ユニオン石油会社 (シ)

ゼネラル石油会社 (シ)

	國 産 額		輸 入 額	輸 入 額	
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	961,052貫	222,004圓	6,607,932斤	421,312圓	
11	2,831,473	388,776	20,679,945	1,077,034	
12	3,512,275	514,821	14,141,756	738,763	
13	3,843,251	592,133	19,315,729	977,497	
14	9,713,580	1,168,843	12,973,103	655,508	
昭和 1	9,752,136	1,115,480	23,570,620	1,020,113	
2	9,146,468	2,185,059	19,460,246	816,412	
3	20,576,800	1,522,410	20,678,038	869,329	
4	23,165,219	1,124,219	25,020,000	1,023,582	
5	24,052,169	1,022,459	20,851,400	763,024	

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	1,142,807貫	83,749圓
東 京	4,698,703	341,729
神奈川	6,565,062	309,910
新 潟	420,662	27,521
大 阪	185,403	27,401
福 岡	3,096,446	288,433

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
關 東 州	60百斤	0千圓
英 吉 利	241	5
獨 逸	495	13
北 米	205,963	849

一四九、ピッチ及アスファルト

旭工業株式会社 (シ)
見並化學工業所 (シ)
日本ペイント製造株式会社(大阪) (シ)
太陽ペイント株式会社 (シ)
川上塗料製造所 (シ)
吉田市化學製品所 (シ)
三精舎 (シ)
米澤塗料工業所 (シ)
ダイヤモンドワニス製造所(シ) (シ)
東洋塗料株式会社 (神戸) (シ)
東亞ペイント株式会社 (シ)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	2,011,421封度	745,
11	1,972,859	1,017,
12	4,900,355	1,956,
13	1,700,442	1,113,
14	3,623,317	1,815,
昭和 1	3,370,893	1,782,
2	7,106,304	2,654,
3	8,083,434	3,266,
4	8,213,588	3,349,
5	8,440,055	3,414,

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	3,080,984封度	1,381,39
神奈川	652,708	200,36
大 阪	4,122,677	1,586,14
兵 庫	227,065	95,63

◎輸入の主要原因

主として舶來品尊崇に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

高級ボデーワニスの如き特殊品の外は、品質に於て優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

關稅を引上げ徹底的に輸入を防止することが急務である。

◎輸入の主要原因

大正八年輸入税を撤廢したる結果米國製品の輸入激増し、國産品は之に壓迫されて生産の全能力を發揮し得ざる状態となり、勢ひ内地生産の不足を來したること、及び需要者が因襲的に外國品を歓迎する傾向のあること等が主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

現今に於ては國産品は輸入品に比して何等の遜色なく、就中日本石油株式会社製品の如きは伸度大にして而もその割合に感應性少く、外國品よりも優良なることは専門家の一致せる意見である。又蝙蝠印秋田産アスファルトを以て舗装せる阪神新國道が、ユニオン會社製を用ひたる京濱國道の舗装に遜色なき事、或は帝都復興道路に於ける國産品の好成績等は、外國品に比して何等劣らざる事を實證せるものである。

◎輸入防止の主要處置

國産品の愛用を奨励し、且つ輸入品に關稅を課する必要がある。

一五〇、靴 墨

靴墨には流動状のものゝ泥状のものゝあり、其の原料にも種々あるがワックス草の如く毛生面を除きて仕上げたる革、又は肉付面を仕上げたる革を以て製したる靴に用ふるものは、普通骨炭の粉末鯨油又は亞麻子油、糖蜜、硫酸鐵等を練合せたるものに硫酸及酢を加へて製す。又ボツクス、キツド等の如き毛生面を染上げて製したる靴には、特殊の製法に依る靴墨即ちシューボリツシュ・シュークリーム等が適當である。

◎輸入税率

一〇〇斤(容器共)一壹三圓六〇錢

◎主要生産者

- 西潟商店(國粹印) (東京)
- 千代田商會(コロンビヤ印)(シ)
- 大洋商會(ライオン印)(シ)
- 新藤商店(コスモス及三S)(シ)
- 白田榮太郎(虎印) (大阪)
- 株式會社長商店靴墨工場(シ)
- 小倉清之助商店 (シ)
- ◎主要輸入者
- 小澤商店(ヘラリヤ印) (東京)

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—封度	—圓	288,002斤	214,911圓
11	—	—	259,130	196,315
12	—	385,880	—	—
13	226,250	332,250	395,996	311,812
14	266,631	532,560	267,115	242,571
昭和1	—	675,124	212,368	201,298
2	476,679	689,429	175,269	304,283
3	—	709,450	266,358	239,683
4	—	785,953	132,105	124,513
5	—	792,436	96,234	89,544

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	50,000圓
大 阪	—	659,450

主要國別輸入額(大正十四年)

國 名	數量	價 額
北 米	218,424斤	198,676圓
英 吉 利	40,514	38,691
獨 逸	2,177	1,710
白 耳 義	1,724	1,379
關 東 州	1,008	800
濠 太 刺 利	388	529
佛 蘭 西	444	439
加 奈 陀	435	347

◎外國競争者

- エス・エフ・ドレッツグ會社(米國)
- エス・エム・ピキスピー會社(シ)
- シノラー會社 (シ)
- カスマル會社 (英國)

◎輸入の主要原因

國産品は輸入品に比して遜色なく且つ國內生産能力は需要を充すに足るものであるが、外國品優良の先入觀念、及外國會社の販賣巧妙なるため外國品の需要減ぜざる爲めである

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣なく、價格は國産品が廉價である。

◎輸入防止の主要處置

本品の如きは何等輸入の必要を認めざるを以て、關稅を従價稅に改め且つ稅率を引上げて極力輸入を防止すべきである。

一五一、鉛 筆

鉛筆はその使用の目的に依つて種類頗る多く、従つて原料も亦一定でないが、普通の黒鉛筆は蕊に石墨を用ひ、軸に桂、アララギ、シダー等

額	價 額
—圓	—
—	—
679,153	—
443,773	—
596,385	—
413,856	—
382,861	—
536,810	—
280,264	—

昭和三年)	價 額
1千圓	—
1	—
297	—
82	—

◎主要輸入者

- 丸善株式會社 (東京)
- 株式會社市川商店 (シ)

一五二、鉛

筆

- ◎主要生産者
- 西潟商店(國粹印) (東京)
 - 千代田商會(コロンビヤ印)(シ)
 - 大洋商會(ライオン印)(シ)
 - 新藤商店(コスモス及三S)(シ)
 - 白田榮太郎(虎印) (大阪)
 - 株式會社社長商店靴墨工場(シ)
 - 小倉清之助商店 (シ)
- ◎主要輸入者
- 小澤商店(ヘラリヤ印) (東京)

年次	國 産		封度
	數量	價 額	
大正10	—	—	—
11	—	—	—
12	—	—	385,
13	226,250	—	332,
14	266,631	—	532,
昭和1	—	—	675,
2	476,679	—	689,
3	—	—	709,
4	—	—	785,
5	—	—	792,

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	50,00
大 阪	—	659,45

め外國品の需要減ぜざる爲めである

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣なく、價格は國産品が廉價である。

◎輸入防止の主要處置

本品の如きは何等輸入の必要を認めざるを以て、關稅を従價稅に改め且つ稅率を引上げて極力輸入を防止すべきである。

鉛筆はその使用の目的に依つて種類頗る多く、従つて原料も亦一定でないが、普通の黒鉛筆は蕊に石墨を用ひ、軸に桂、アララギ、シダー等の木材を用ふ。此の外紙軸製のもの金屬製の蕊を固着せざるもの、護謨及金具、飾り等を附したるもの等種々ある。

輸入品の包装は一打毎に麻糸を以て束ね、六打を厚紙製小函に入れ、一〇〇グロスを一箱とす。

◎輸入稅率

鞘に入れざるものは價額の二割。木鞘又は紙鞘は一グロスに付一圓四五錢。其他は價額の二割五分。

◎主要生産者

- 日本鉛筆製造株式會社 (東京)
 - 大日本鉛筆株式會社 (シ)
 - 株式會社市川商店 (シ)
 - 眞崎大和鉛筆株式會社 (シ)
 - 東京鉛筆株式會社 (シ)
 - 王様商會 (シ)
 - プラトン文具株式會社 (大阪)
- 此の外各地に生産者頗る多し。

年次	國 産		輸 入	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	1,635,208圓	—	—圓
11	—	2,278,132	—	—
12	—	4,312,767	—	—
13	—	2,547,035	69,542	679,153
14	—	431,628	69,542	443,773
昭和1	—	1,775,225	1,111,536	596,385
2	—	2,110,998	629,753	413,856
3	—	2,363,373	671,906	382,861
4	—	2,563,294	885,535	536,810
5	—	2,456,468	481,905	280,264

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	119,040圓
東 京	—	1,910,503
大 阪	—	275,252

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	1千打	1千圓
佛 蘭 西	1	1
獨 逸	583	297
北 米	86	82

◎主要輸入者

- 丸善株式會社 (東京)
- 株式會社市川商店 (シ)
- 株式會社福井商店 (大阪)
- 原田商店 (シ)
- 明輝社 (神戸)
- 大澤商會 (京都)

◎外國競争者

- ジョンフアルバー會社、エーダブ
- リウ・フアルバー會社、ジェー・エ
- ステッドラー會社(以上獨逸)
- エバーハードフアルバー會社、ア
- メリカンペンシル會社(以上米國)
- コキーノープ會社 (チエツコ)

◎輸入の主要原因

製圖用その他の高級品は外國品が優良なるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊品の外は國産品が優良である

◎輸入防止の主要處置

品質の向上に努め、一方關稅の引上げをなす事が肝要である。

一五二、印刷用ンキ

印刷用インキには液状と泥状とあり、何れも活版、石版、銅版等の印刷に用ひらるゝものにして、烟煤その他の顔料に展色料を混和して製したるものである。最良の亞麻子油製ワニス及び純良礦物性色素を以て製したる高級品は主として石版及銅版印刷に用ひられ、活版印刷には下級品が用ひらる。

◎輸入税率

液状又は泥状の黑色インキの樽入は一〇〇斤に付三圓四五錢。同上黑色以外は價額の二割五分。液状又は泥状の樽入以外のものは一〇〇斤(容器共)二一圓五〇錢。固形のものは一〇〇斤一一圓。其他は價格の二割五分。

◎主要生産者

- 東京インキ製造株式会社(東京)
- 東洋インキ製造株式会社(〃)
- 日本印刷インキ製造株式会社(〃)
- 合資會社日新堂インキ製造所(〃)
- 東京顔料工業株式会社(〃)
- 中央インキ製造株式会社(〃)
- 中西商店(〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	8,596,084封度	5,008,773圓	225,377斤	242,758圓
11	7,966,737	5,443,347	464,402	341,653
12	10,424,481	4,021,743	449,118	323,722
13	13,548,383	4,071,993	401,528	358,175
14	11,458,006	5,143,634	239,625	249,503
昭和1	14,237,432	4,967,734	—	262,749
2	14,641,646	6,031,512	—	309,826
3	14,138,706	5,486,105	—	359,350
4	14,228,379	5,494,286	—	378,347
5	14,678,500	5,518,052	—	271,437

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	6,459,609封度	2,797,985圓
神奈川	1,024,909	311,864
愛 知	153,335	78,818
大 阪	6,500,853	2,270,538
奈 良	—	24,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	60千圓
佛 蘭 西	—	67
獨 逸	—	70
北 米	—	160

◎主要輸入者

- 凸版インキ製造株式会社(東京)
- 大阪インキ製造株式会社(大阪)
- 黒越合名會社(〃)
- 中外インキ製造株式会社(〃)

◎外國競争者

- 中西商店(東京)
- 西川求林堂(〃)
- 富谷レーオン商會(〃)
- 山本榮次郎商店(〃)

◎輸入の主要原因

外國品は濃度高く粘度適當にして使用の際調子好く、且つ色合優秀にして刷上りの出來榮え良好なるが爲め高價を辭せず需要されるに因る。

◎輸入防止の主要處置

原料の配合方法を研究し品質の向上を圖ることが最急務である。

◎外國競争者

本邦に輸入されるものは支那各地の產品であるが、大部分上海の販賣

一五三、墨 及 朱 墨

類 價 額
—圓
—
—
3,515
1,016
—
—
—
—

墨は烟煤又は松煙と阿膠を原料とせるものにして、高級品には更に龍腦、麝香等の香料を加へ、研磨彩色等の仕上げを施すが、下等品は單に

大正十四年)

價 額
832圓
184

一〇〇〇(容積)一〇〇斤一一圓。
固形のものは一〇〇斤一一圓。
其他は價格の二割五分。

◎主要生産者

- 東京インキ製造株式會社(東京)
- 東洋インキ製造株式會社(〃)
- 日本印刷インキ製造株式會社(〃)
- 合資會社日新堂インキ製造所(〃)
- 東京顔料工業株式會社(〃)
- 中央インキ製造株式會社(〃)
- 中西商店(〃)

國産額

年次	數量	價額
大正10	8,596,084封度	5,008,7
11	7,966,737	5,443,3
12	10,424,481	4,021,7
13	13,548,383	4,071,9
14	11,458,006	5,143,6
昭和1	14,237,432	4,967,7
2	14,641,646	6,031,5
3	14,138,706	5,486,1
4	14,228,379	5,494,2
5	14,678,500	5,518,0

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	6,459,609封度	2,797,985
神奈川	1,024,909	311,864
愛知	153,335	78,818
大阪	6,500,853	2,270,538
奈良	—	24,000

◎輸入の主要原因

外國品は濃度高く粘度適當にして使用の際調子好く、且つ色合優秀にして刷上りの出來榮え良好なるが爲め高價を辭せず需要されるに因る。

◎輸入防止の主要處置

原料の配合方法を研究し品質の向上を圖ることが最急務である。

一五三、墨及朱墨

墨は烟煤又は松煙と阿膠を原料とせるものにして、高級品には更に龍腦、麝香等の香料を加へ、研磨彩色等の仕上げを施すが、下等品は單に松烟を阿膠の溶液にて練合せて製す。朱墨は朱を阿膠の溶液にて練合せて製したるものにして、形状には墨と同様圓柱形、角形、長方形等の各種あり、大きさは一定でない。

墨及朱墨は共に支那の原産にして現今に於ても南京、上海、廣東、福建等にて盛んに製造され、高級品は本邦へ輸入さる。

◎輸入税率

價額に對する二五%

◎主要生産者

- 古梅園 (奈良)
- 春松園 (〃)
- 奈良製墨株式會社 (〃)
- 鳩居堂 (東京)
- ◎主要輸入者
- 晚翠軒 (東京)
- 高島屋 (大阪)
- 瑞芝堂 (東京)

輸入額

年次	數量	價額	輸入數量	輸入價額
大正10	—	932,787圓	—斤	—圓
11	—	232,100	—	—
12	—	477,596	—	—
13	—	569,675	3,093	3,515
14	—	425,535	457	1,016
昭和1	—	698,705	—	—
2	—	513,150	—	—
3	—	510,390	—	—
4	—	512,887	—	—
5	—	521,398	—	—

(墨の産額)

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
支那	451斤	832圓
獨逸	6	184

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
三重	—	15,250圓
大阪	—	125,000
奈良	—	363,060
香川	—	7,080

◎外國競争者

本邦に輸入されるものは支那各地の産品であるが、大部分上海の販賣者の手を経て輸入さる。其の主たるもの左の如し。

- 曹素功 (上海)
- 老文元 (〃)
- 湖開文 (〃)

◎輸入の主要原因

輸入品の主たるものは所謂唐墨にして、和墨に比して大差なく、且つ唐墨と同様なるものが内地に於て生産され、殆んど輸入の必要はないが支那製品尊重の因襲的觀念に依つて一部好事家は品質乃至價格の如何に拘らず、支那産を尊重する傾向あるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

墨及朱墨共に優劣なく、實質上寧ろ國産品が優良である。

◎輸入防止の主要處置

一部好事家の需要に依るに過ぎざるを以て、特に防止の必要なし。

一五四、繪

具

(アーティストカラー及)

繪具にはその種類頗る多きも、大別すれば水彩繪具、油繪具の二種である。水彩繪具即ちアーティストカラーは一名アーティストカラーとも稱せられ、各種色彩の顔料を護謨、膠等に練合せて製したるものにして、普通用ふるものは數色又數十色に過ぎざれども、詳細に分類すれば數百種に達す。

油繪具即ちアーティストペイントは普通のペイントよりは純良なる原料を選び、顔料も極く細微の粉末が用ひらる。

◎輸入税率

一〇〇斤(容器共)——八一圓五〇錢

◎主要生産者

- 東洋堂繪具製造所 (東京)
- 三重繪具製造所 ()
- 立野繪州堂 ()
- 櫻木繪具製造所 ()
- 増井庄吉 ()
- 幸田源三郎 ()
- 七五三俊一 ()
- 池田化學工業所 ()
- 王様商會 ()

主要國別輸入額(大正十四年)

	輸入額		主要國別輸入額(大正十四年)	
	數量	價額	數量	價額
大正10	32,798斤	164,168圓	利西逸米	13,077斤 104,899圓
11	30,222	191,285	吉蘭	19,459 85,672
12	8,903	44,361	英佛獨北	2,665 6,458
13	60,395	306,548		208 238
14	35,409	197,244		
昭和1	33,298	178,426		
2	35,786	199,653		
3	28,796	161,264		
4	29,633	163,214		
5	27,514	153,368		

放光堂水彩繪具製造所 (京都)

◎主要輸入者

文房堂 (東京)

◎外國競争者

ニウトン會社 (英國)

◎輸入の主要原因

水彩繪具は近時相當優良なる國産品を見るに至つたが、高級品は尙ほ輸入品に及ばず。油繪具に於ては國産品中に優良なるもの殆んどなし。故に國産品は單に學用品としての需要を充すに過ぎず、而も繪畫専門の學校に於ては殆んど大部分外國品を使用する状態である。故に専門畫家の使用に値する國産繪具は殆んど皆無と稱するも過言にあらざる状態である。是れ本品の輸入される主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

前述の如く國産品は専門家の使用

すべき優良品なく、輸入品に比して品質頗る劣等であるが、価格は輸入品よりも遙かに低廉である。又油繪具はその原料たる顔料及油脂は殆んど輸入品にして、純粹なる國産品と稱すべきものは殆んど絶無である。

◎輸入防止の主要處置

外國品に對抗し得る優良品を生産することが先決問題であるが、油繪具の如きは原料を殆んど全部輸入に仰がざるを得ず、水彩繪具の原料も亦國産豊富にあらざるため、外國品に對抗することは生産費その他の關係上頗る困難である。然れども彼の歐洲大戰當時歐米諸國の輸出杜絶せる際に於ては、水彩繪具の如きは國産品を以て需要を充したるのみならず、支那、濠洲、英領印度等の各地へ相當輸出したるを以て、當業者の努力如何に依つて國內需要を充すと必ずしも不可能ではない。故に政府に於ては適當の施設を以て本品の生産者を保護し、又當業者が絶えず品質の向上、生産の増加を圖れば、漸次國內の需要を喚起し輸入を防止し得るであらう。

一五五、ペイント

ペイントは凡て着色料と展色料を混合して製したるものにして、着色料には色彩良好にして、被覆力に富むものが選ばれる。溶解ペイントは各

額

157,774圓
266,900
219,112
372,191
251,792
213,216
276,842
386,642
402,121
244,105

昭和三年)

價額
38千圓
6
15
2
321

◎主要輸入者

東亞ペイント製造株式會社(大阪)

川上塗料製造所 ()

(下欄)

一五五、ペイント

◎主要生産者

- 東洋堂繪具製造所 (東京)
- 三重繪具製造所 (〃)
- 立野繪州堂 (〃)
- 櫻木繪具製造所 (〃)
- 増井庄吉 (〃)
- 幸田源三郎 (〃)
- 七五三俊一 (〃)
- 池田化學工業所 (〃)
- 王様商會 (〃)

輸 入 額

	數量	價 額
大正10	32,798斤	164,168圓
11	30,222	191,285
12	8,903	44,361
13	60,395	306,548
14	35,409	197,244
昭和1	33,298	178,426
2	35,786	199,653
3	28,796	161,264
4	29,633	163,214
5	27,514	153,368

産品中に優良なるもの殆んどなし、故に國産品は單に學用品としての需要を充すに過ぎず、而も繪畫専門の學校に於ては殆んど大部分外國品を使用する状態である。故に専門畫家の使用に値する國産繪具は殆んど皆無と稱するも過言にあらざる状態である。是れ本品の輸入される主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

前述の如く國産品は専門家の使用

歐洲大戰當時歐米諸國の輸出杜絶せる際に於ては、水彩繪具の如きは國産品を以て需要を充したるのみならず、支那、濠洲、英領印度等の各地へ相當輸出したるを以て、當業者の努力如何に依つて國內需要を充すことと必ずしも不可能ではない。故に政府に於ては適當の施設を以て本品の生産者を保護し、又當業者が絶えず品質の向上、生産の増加を圖れば、漸次國內の需要を喚起し輸入を防止し得るであらう。

ペイントは凡て着色料と展色料を混合して製したるものにして、着色料には色彩良好にして、被覆力に富むものが選ばれる。溶解ペイントは各種顏料を煮熱亞麻子油に溶解したるものに、松精油及乾燥劑を加へて製したるものにして、普通ペイントに比し使用頗る簡便である。輸入品の包装は各種とも鐵罐入にして、普通二八封度入である。

◎輸入税率

パテントドライヤーは一〇〇斤に付五圓八〇錢。
エナメルペイントは一〇〇斤(容器共)に付一七圓二〇錢。
其他は一箇の重量六斤以下のものは一〇〇斤(容器共)に付一三圓一〇錢。六斤以上のものは一〇〇斤に付九圓二〇錢。

◎主要生産者

- 日本ペイント製造株式会社(大阪)
- 帝國塗料製造株式会社(東京)
- 關西ペイント株式会社(兵庫)
- 東洋塗料製造株式会社(神戸)
- 阿部ペイント製造所(大阪)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	11,942,693封度	2,955,867圓	308,459斤	157,774圓
11	9,503,480	2,001,479	476,705	266,900
12	21,899,268	4,282,797	470,538	219,112
13	23,920,898	5,561,770	706,629	372,191
14	23,390,166	5,817,966	408,277	251,792
昭和1	34,127,236	5,670,858	—	213,216
2	38,513,633	6,824,746	—	276,842
3	37,691,553	7,212,426	—	386,642
4	38,566,496	7,562,164	—	402,121
5	38,966,294	7,124,114	—	244,105

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	12,616,124封度	2,280,759圓
神奈川	1,222,728	185,873
大 阪	20,188,975	4,599,275
兵 庫	3,432,716	637,755
廣 島	231,010	378,090

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	38千圓
獨 逸	—	6
和 蘭	—	15
諾 威	—	2
北 米	—	321

◎主要輸入者

- 東亞ペイント製造株式会社(大阪)
- 川上塗料製造所 (〃)
- 瓜生商會 (下關)
- 早瀬榮之助商店 (大阪)
- 岸上商店 (〃)
- 田中源太郎商店 (〃)

◎外國競争者

- ハバック會社 (英國)
- バーレル會社 (〃)
- イングハム會社 (〃)
- アスピナル會社 (〃)
- アクメ會社 (米國)

◎輸入の主要原因

國內生産なきもの、國産品よりも優良なるもの等特殊品が輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

普通ペイントに於ては優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

當業者に於て特殊品の製造を研究し、且つ一般に生産費の低減を圖ることが急務である。

一五六、船底塗料

船底塗料には防汚塗料と防銹塗料の兩種がある。防汚塗料は船底に海藻、貝類などの附着することを防ぐために船舶就中主として鋼鐵船の底部塗料として用ひられ、防銹塗料は單に防銹のため船底の下塗りに用ひらる。兩種とも種類頗る多く、輸入品の包装は何れも鐵製圓筒形の罐入にして、一罐五六封度又は一二封度入である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——七圓四五錢

◎主要生産者

- 東洋船底塗料株式會社 (東京)
- 株式會社高田船底塗料製造所(シ)
- 合資會社萬國塗料製造所(兵庫)
- 神戸塗料株式會社 (神戸)
- 中國塗料株式會社 (廣島)

◎主要輸入者

- 株式會社米井商店 (東京)
- 合資會社萬國塗料製造所(兵庫)
- 早瀬榮之助商店 (大阪)
- ドットウエル商會 (神戸)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	520,512斤	309,374圓
11	—	—	665,718	325,530
12	—	—	809,207	446,568
13	—	800,000	1,050,101	683,999
14	—	750,000	492,699	340,847
昭和1	—	890,000	573,374	354,669
2	—	950,000	464,567	271,791
3	—	970,000	437,307	330,389
4	—	990,000	633,762	401,590
5	—	1,000,000	506,096	325,624

(推定産額)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	450,000圓
大阪	—	300,000
廣島	—	150,000

(推定産額)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	3,355百斤	243千圓
佛蘭西	125	4
獨逸	19	0
諾威	142	9
北米	1,488	72

◎外國競争者

- ハートマン會社 (英國)
- インターナショナル・シツプ
- コンポジション會社 (シ)
- モラビア・アンチフオーリング
- コンポジション會社 (シ)

右の中ハートマン會社製は赤手印を以て名聲を博し、インターナショナル・シツプ・コンポジション會社製は世界的に信用厚く、又モラビア會社製品は海軍省に於て直輸入す。

◎輸入の主要原因

外國製品は多年使用されて信用厚く、且つ國産品は未たその眞價を一般的に認められざるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に劣らず、高田船底塗料株式會社製品の如きは頗る優秀である。

◎輸入防止の主要處置

海軍省、大汽船會社等は率先して國産品を使用すべく、同時に關稅引上に依つて生産者を保護すべし。

一五七、白粉

白粉は酸化亜鉛、澱粉、滑石粉等を基礎原料とし、之に炭酸マグネシヤ、硫酸バリウム等を配合し、或は澱粉、滑石粉等の調合品に薇醬油、

年次	價額
—	—圓
—	—
—	—
—	—
—	—
1,906,700	
1,825,963	
2,045,106	
2,479,767	
1,689,850	

昭和三年)

價額
69千圓
362
206
973
36
167
196

- コッチイ會社 (佛國)
- ウビガン會社 (シ)
- ドララン會社 (シ)
- シモン會社 (シ)

一五七、白粉

白粉は酸化亜鉛、澱粉、滑石粉等を基礎原料とし、之に炭酸マグネシヤ、硫酸バリウム等を配合し、或は澱粉、滑石粉等の調合品に薇醬油、ラベンダー油、ベルガモット油等を以て芳香を附して製す。

◎輸入税率

價格に對する五〇%

◎主要生産者

- 平尾贊平商店 (東京)
- 伊東胡蝶園 (シ)
- 資生堂 (シ)
- 中山太陽堂 (大阪)
- 桃谷順天館 (シ)

◎主要輸入者

- 佐々木商店 (東京)
- 丸善株式會社 (シ)
- 米國貿易株式會社 (シ)

◎外國競争者

- ポンビアン會社 (米國)
- オーグシスター會社 (シ)
- ツルジヤ會社 (シ)
- ロージヤীগレー會社 (佛國)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	2,669,892圓	—	—圓
11	—	2,296,978	—	—
12	—	4,555,231	—	—
13	—	4,882,237	—	—
14	—	5,072,150	—	—
昭和1	—	4,912,941	—	1,906,700
2	—	8,701,576	—	1,825,963
3	—	8,092,807	—	2,045,106
4	—	7,726,564	—	2,479,767
5	—	8,542,465	—	1,689,850

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	2,049,767圓
大 阪	—	6,012,254
兵 庫	—	26,406
愛 媛	—	2,372

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	—	69千圓
英 吉 利	—	362
佛 蘭 西	—	206
獨 逸	—	973
白 耳 義	—	36
和 蘭	—	167
北 米	—	196

- 東洋船底塗料株式會社 (東京)
- 株式會社高田船底塗料製造所(シ)
- 合資會社萬國塗料製造所(兵庫)
- 神戸塗料株式會社 (神戸)
- 中國塗料株式會社 (廣島)

◎主要輸入者

- 株式會社米井商店 (東京)
- 合資會社萬國塗料製造所(兵庫)
- 早瀬榮之助商店 (大阪)
- ドットウエル商會 (神戸)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	—
11	—	—
12	—	—
13	—	800,000
14	—	750,000
昭和1	—	890,000
2	—	950,000
3	—	970,000
4	—	990,000
5	—	1,000,000

(推定産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	450,000圓
大 阪	—	300,000
廣 島	—	150,000

(推定産額)

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に劣らず、高田船底塗料株式會社製品の如きは頗る優秀である。

◎輸入防止の主要處置

海軍省、大汽船會社等は率先して國産品を使用すべく、同時に關稅引上に依つて生産者を保護すべし。

◎輸入の主要原因

輸入品中には國産白粉より品質優良なるものも尠くないが、品質の如何に拘らず舶來品崇拜の觀念今尙ほ覺めずして外國品の需要者多きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産白粉の先驅は御園白粉にして近來に於ては品質優良なるもの少なからず、輸入品に比して殆んど遜色を認めない。然れども國産中には廉價本位の粗悪品も亦多きため、一般的に比較すれば輸入品は品質優良にして、容器の意匠等も亦國産品の及ばざる所である。

◎輸入防止の主要處置

生産者に於て原料の選擇、製造技術の向上を圖ると共に、需要者自ら外國品妄信の觀念を打破すべし。

- コッチイ會社 (佛國)
- ウビガン會社 (シ)
- ドラン會社 (シ)
- シモン會社 (シ)
- モニー會社 (シ)

一五八、棉

花

棉花の内地に於ける生産額は僅少にして國內需要の殆んど全部は海外より輸入され、本邦輸入品の大宗である。輸入棉花の一部は實棉即ち繰棉機に掛けざるまゝのものであるが大部分は繰棉機に掛け、種子と纖維を分離したるもの即ち繰棉である。輸入品の包装は産地に依つて夫々異り、印度、北米及埃及産品は粗麻布にて包みたるものに鐵箍を施し、支那産品は綿布製袋入である。一箇の重量前者は四〇〇封度乃至五〇〇封度、後者は六〇封度乃至一九〇封度である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

内地生産額は少く、朝鮮に於ては江原道、咸鏡南道の一部及咸鏡北道を除く外、全道に之を産し、全羅南道、慶尙北道、平安南道等がその主産地である。

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	597,855貫	992,441圓	8,757,816擔	438,172,816圓
11	500,218	760,140	8,710,569	427,840,891
12	401,741	621,917	10,728,549	513,172,458
12	483,011	782,967	8,123,676	605,244,734
14	360,939	606,247	10,942,048	923,355,361
昭和1	259,635	382,391	11,645,692	725,930,206
2	254,411	359,903	12,799,855	624,630,660
3	218,052	283,250	9,765,173	549,941,686
4	209,780	274,985	10,789,571	573,016,350
5	241,055	295,649	9,573,158	362,046,753

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
茨城	61,223貫	78,372圓
埼玉	32,493	27,984
千葉	25,672	35,206
滋賀	3,766	10,417
鳥取	29,293	37,761
廣島	16,770	18,048

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	1,031,547擔	49,598千圓
英領印度	4,603,928	232,266
蘭領印度	11,783	192
佛領印度支那	6,894	93
暹羅	3,627	41
北米	3,871,600	245,925
埃及	175,724	17,722
東部アフリカ	40,327	3,536

◎外國競争者

三菱商事株式会社 (東京)
 日本棉花株式会社 (大阪)
 東洋棉花株式会社 ()
 江商株式会社 ()
 日本商業株式会社 ()
 帝國棉花株式会社 ()

◎輸入の主要原因

綿糸紡績は本邦の重要工業にして原棉の需要頗る多きに拘らず、國內に於ける生産少きを爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

朝鮮産一等品は輸入品に代用し得るが、その他の國産棉花は概ね品質劣等にして紡績に適せず、輸入品よりも遙かに粗悪である。

◎輸入防止の主要處置

本品の自給自足は到底不可能なるを以て、寧ろ輸入の圓滑を圖り、綿糸紡績の發達に資することが策の得たるものである。

一五九、綿

織糸

綿織糸には生色、漂白、染色、捺染の四種類あり。又その撚り方に依つて單撚糸と双撚糸との二種あり、單撚糸には更に右撚と左撚の別があ

額	價額
1,768,340圓	
2,155,853	
2,218,220	
3,421,586	
1,856,905	
1,038,081	
909,402	
1,562,249	
1,798,829	
1,904,169	

昭和三年)	價額
	688千圓
	9
	832
	11
	10
	8

◎主要輸入者

コーンズ商會 (神戸)
 イリス商會 (大阪)

輸入税率
無税

◎主要生産者

内地生産額は少く、朝鮮に於ては江原道、咸鏡南道の一部及咸鏡北道を除く外、全道に之を産し、全羅南道、慶尙北道、平安南道等がその主産地である。

◎主要輸入者

三井物産株式会社

(東京)

國産額
數量 價額

大正10	597,855貫	992,441
11	500,218	760,140
12	401,741	621,917
12	483,011	782,967
14	360,939	606,247
昭和1	259,635	382,391
2	254,411	359,903
3	218,052	283,250
4	209,780	274,985
5	241,055	295,649

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
茨城	61,223貫	78,372圓
埼玉	32,493	27,984
千葉	25,672	35,206
滋賀	3,766	10,417
鳥取	29,293	37,761
廣島	16,770	18,048

◎輸入品と國産品の優劣

朝鮮産一等品は輸入品に代用し得るが、その他の國産棉花は概ね品質劣等にして紡績に適せず、輸入品よりも遙かに粗悪である。

◎輸入防止の主要處置

本品の自給自足は到底不可能なるを以て、寧ろ輸入の圓滑を圖り、綿糸紡績の發達に資することが策の得たるものである。

一五九、綿

織糸

綿織糸には生色、漂白、染色、捺染の四種類あり。又その撚り方に依つて單撚糸と双撚糸との二種あり、單撚糸には更に右撚と左撚の別がある。本邦に於ける生産は頗る豊富にして生糸に次ぐ重要輸出品であるが外國よりの輸入が反つて利益ある特殊なるものに限つて輸入さる。

◎輸入税率

(一) 單撚糸又は双撚糸の生のものにして英式番手二四番以下のものは一〇〇斤に付五圓八〇錢(此外一一圓三〇錢迄數種に區分さる)
(二) 其他の生ものは一〇〇斤に付三九圓二〇錢。その他は一〇〇斤に付四一圓二〇錢。

◎主要生産者

- 鐘淵紡績株式会社 (東京)
- 富士瓦斯紡績株式会社 (シ)
- 日清紡績株式会社 (シ)
- 東洋紡績株式会社 (大阪)
- 大日本紡績株式会社 (シ)
- 福島紡績株式会社 (シ)
- 大阪合同紡績株式会社 (シ)
- 倉敷紡績株式会社 (岡山)

國産額 輸入額
數量 價額 數量 價額

大正10	84,272,104貫	484,906,802圓	773,786斤	1,768,340圓
11	93,500,965	537,049,371	937,689	2,155,853
12	91,456,384	569,884,965	1,959,849	2,218,220
13	88,349,409	644,953,926	2,692,281	3,421,586
14	109,923,220	781,441,914	1,092,436	1,856,905
昭和1	124,464,383	659,883,447	881,219	1,038,081
2	110,499,239	546,322,273	846,454	909,402
3	105,346,421	572,422,652	1,099,231	1,562,249
4	115,396,458	556,219,217	1,571,759	1,798,829
5	123,459,658	495,468,886	2,715,861	1,904,169

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	4,072,823貫	31,627,047圓
愛知	12,150,205	62,701,881
三重	7,236,021	32,133,084
大阪	26,567,595	144,573,417
兵庫	9,125,556	54,210,718
和歌山	6,435,071	30,034,732

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	6,458百斤	688千圓
關東州	76	9
英吉利	4,328	832
佛蘭西	35	11
獨逸	54	10
北米	37	8

◎主要輸入者

コロンズ商會 (神戸)
イリス商會 (大阪)

兩商會はマンチエスタ1綿織糸の輸入者である。支那その他の綿織糸は一般綿糸商が價格暴落の際隨時輸入し、専門取扱者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

英國マンチエスタ1產品及び支那產品。

◎輸入の主要原因

輸入品の主たるものは細番手にて特別の撚方のもの、又は特殊原棉を用ひたるもの等にして内地生産少きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

マンチエスタ1製品は國産品よりも優秀である。支那產品は國産品と大差なく、價格概ね低廉である。

◎輸入防止の主要處置

積極的に輸入防止をなす必要なし

一六〇、綿糸及綿線

輸入綿糸の主たるものはカタン糸と通稱される縫糸にして、木心巻綾巻、総仕上、玉巻、カード紙巻等巻方に種々あるが、輸入品の大部分は木製糸捲に巻きたるものである。

綿線は綿織糸數本を捻合せ、或は綿織糸數本より成る糸縷二條以上を捻合せたるものにして、主として包装用等に用ひらる。何れも内地生産豊富であるが、カタン糸の如きは高級品の國産少きため歐米各國より輸入さる。輸入品の包装は粗麻布にて包みたるものに鐵帶を施し、普通一箇二〇〇封度乃至三百封度である。

◎輸入税率

生總造は一〇〇斤三九圓二〇錢、
其他の総捲は同上四一圓二〇錢。
木製糸捲に巻きたるものは一〇〇斤(糸捲共)七〇圓一〇錢。
其他は價額に對する三〇%。

◎主要生産者

帝國製糸株式會社 (大阪)
株式會社世盛商會 (シ)
日本カタン糸株式會社 (滋賀)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	5,191,636貫	29,510,910圓	249,838斤	842,756圓
11	2,910,964	15,558,578	312,855	960,501
12	4,401,936	26,678,595	306,263	893,909
13	4,171,641	31,562,480	335,469	1,026,120
14	3,265,302	15,531,729	260,868	952,179
昭和 1	2,648,774	14,621,928	264,785	957,351
2	3,674,514	17,614,389	287,708	914,739
3	3,578,583	20,782,927	241,205	836,330
4	3,696,458	19,656,499	255,885	893,357
5	3,712,156	18,562,154	256,749	715,204

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
石 川	238,300貫	1,468,400圓
靜 岡	215,750	1,326,597
滋 賀	283,383	1,479,259
大 阪	977,428	8,371,618
岡 山	382,204	2,067,407
香 川	348,096	2,717,375
福 岡	419,472	2,312,655

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	2,384百斤	720千圓
佛 蘭 西	2	101
獨 逸	24	8
北 米	1	3

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
株式會社岩井商店 (大阪)
江南株式會社 (シ)

◎外國競争者

英國産品、スイス産品、佛蘭西産品、北米産品及伊太利産品等。

◎輸入の主要原因

國內に於ける需要多く、國産品は量に於て之を充し得るが、質に於て需要者の希望を満し得ざるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては品質價格共に外國品に對抗し得るが、高級品に於ては外國品就中英國産、伊太利産及佛蘭西産等に比し原料粗悪、且つ製造技術拙劣である。

◎輸入防止の主要處置

當業者に於て製造技術を研究して品質の向上に努め、且つ生産費の低減を圖ることが肝要である。

一六一、亞麻・苧麻及ラミー

亞麻は植物纖維中最も強靱なる纖維にして、質柔軟屈撓性に富み製糸原料等に供せらる。その世界的産地として顯著なるは露國にして、ベル

額	價 額
1,886,372圓	
7,983,201	
5,062,844	
0,093,427	
7,240,194	
5,727,827	
5,114,161	
6,693,643	
5,991,708	
2,598,122	

昭和三年)	價 額
6,676千圓	
0	
2	
11	
3	

棉麻通商株式會社

(横濱)

◎外國競争者

亞麻は露國産品が専ら輸入されつ

生総造は一〇〇斤三九圓二〇錢、
 其他の総捲は同上四一圓二〇錢。
 木製糸捲に巻きたるものは一〇〇
 斤(糸捲共)七〇圓一〇錢。
 其他は價額に對する三〇%。

◎主要生産者

- 帝國製糸株式會社 (大阪)
- 株式會社世盛商會 (シ)
- 日本カタン糸株式會社 (滋賀)

國産額

年次	數量	價額
大正10	5,191,636貫	29,510,911
11	2,910,964	15,558,571
12	4,401,936	26,678,591
13	4,171,641	31,562,481
14	3,265,302	15,531,721
昭和1	2,648,774	14,621,921
2	3,674,514	17,614,381
3	3,578,583	20,782,921
4	3,696,458	19,656,491
5	3,712,156	18,562,151

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
石川	238,300貫	1,468,400圓
静岡	215,750	1,326,597
滋賀	283,383	1,479,259
大阪	977,428	8,371,618
岡山	382,204	2,067,407
香川	348,096	2,717,375
福岡	419,472	2,312,655

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては品質價格共に外國品に對抗し得るが、高級品に於ては外國品就中英國産、伊太利産及佛蘭西産等に比し原料粗悪、且つ製造技術拙劣である。

◎輸入防止の主要處置

當業者に於て製造技術を研究して品質の向上に努め、且つ生産費の低減を圖ることが肝要である。

一六一、亞麻・苧麻及ラミー

亞麻は植物纖維中最も強靱なる纖維にして、質柔軟屈撓性に富み製糸原料等に供せらる。その世界的産地として顯著なるは露國にして、ベルギー、オランダ、アイルランド、佛蘭西、獨逸伊太利等之に次ぐ。

苧麻及ラミーも亦纖維強靱、質緻密にして、黄色又は白色の光澤あり粗製品は褐色又は綠色を呈するが之を漂白すれば純白となり絹の如き光澤を生じ、製糸原料として廣く用ひらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

北海道及び新潟、福島、山形その他の各府縣に産するも、大部分農家の副業的生産にして、特掲すべき大規模の生産者少し。

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 小倉貿易株式會社 (シ)
- 大同貿易株式會社 (神戸)
- 株式會社岩井商店 (大阪)

國産額 輸入額

年次	數量	價額	數量	價額
大正10	13,747,483貫	2,298,329圓	74,067擔	1,886,372圓
11	700,218	1,761,100	225,637	7,983,201
12	7,801,285	2,675,199	156,085	5,062,844
13	5,872,434	1,672,362	289,928	10,093,427
14	8,963,945	2,739,128	201,182	7,240,194
昭和1	8,558,901	2,285,629	200,239	5,727,827
2	2,350,402	649,875	177,949	5,114,161
3	3,586,625	1,020,739	242,234	6,693,643
4	3,669,874	1,118,267	231,203	5,991,708
5	3,918,020	1,320,058	125,456	2,598,122

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	3,570,214貫	978,792圓
秋田	2,529	6,312
山形	1,497	6,936
栃木	3,351	6,265
兵庫	745	3,061
宮崎	3,090	5,893

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	241,570擔	6,676千圓
關東州	5	0
香港	212	2
露領亞細亞	233	11
比律賓諸島	214	3

◎外國競争者

亞麻は露國産品が専ら輸入されつゝあつたが、近時内地生産豊富にして略々自給自足の域に達せるため輸入額激減した。苧麻及ラミーは支那産品最も多く支那産品中に於ては湖北、江西、湖南、四川の四省産品が大部分を占めてゐる。

◎輸入の主要原因

苧麻及ラミーは國産少く、且つ價格に於て支那産品に及ばざるが爲めである。亞麻は内地に於て不作の場合等特殊なる事情突發せざる限り輸入は稀れである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産亞麻は露國産に比し細糸用として劣るも、太糸向としては寧ろ優秀である。苧麻及ラミーは支那産よりも品質優良である。

◎輸入防止の主要處置

一般農家に對し栽培を奨励し増産を圖ることが緊要である。

棉麻通商株式會社

(横濱)

一六二、大麻・黄麻及マニラヘンプ

大麻は質強靱にして水に腐蝕し難き特質を有するため、繩索、漁網、帆布等の原料に供せられ、又麻布製織に用ひらる。世界的産地は露國、支那、伊太利、墺地利、佛蘭西及び本邦等にして、輸入品は大部分支那産品である。

黄麻(いちび)は支那及印度地方に多く産し、上等品は窓掛地、地氈等の原料に供せられ、下等品は繩索、ガンニー袋等の原料に用ひらる。

マニラヘンプは比律賓、ボルネオ及瓜哇等を主産地とし、船用綱具、帽子材料等に供せらる。

◎輸入税率
無税

◎主要生産者

大麻は栃木縣鹿沼地方を始め、關東、中國の諸府縣及北海道等に多く産し、黄麻は愛知、熊本、大分等の諸縣に産す。マニラ麻は國産なし。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
小倉貿易株式會社 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	1,327,655貫	5,827,850圓	698,170擔	12,774,110圓
11	1,403,845	4,918,146	683,707	9,426,596
12	1,057,750	3,956,504	795,390	12,433,514
13	1,249,042	4,951,199	767,640	15,293,123
14	1,147,591	4,046,476	767,473	21,378,299
昭和1	2,750,938	3,833,689	799,393	19,203,046
2	2,540,384	3,953,970	364,753	18,461,305
3	2,644,446	4,259,455	946,879	17,480,187
4	2,331,129	3,876,586	1,097,119	20,055,837
5	2,856,432	4,214,646	906,416	11,660,867

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
栃木	1,259,090貫	2,253,209圓
新潟	31,587	120,843
長野	190,692	407,670
島根	60,290	79,661
廣島	205,072	249,961
熊本	174,498	182,246
大分	89,751	101,008

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	132,769擔	2,056千圓
關東州	15,087	201
英領印度	136,952	2,465
比律賓諸島	661,490	12,726
伊太利	228	12
喜望峯殖民地及ナタル	252	13

◎外國競争者

三菱商事株式會社 (東京)
棉麻通商株式會社 (横濱)
大同貿易株式會社 (神戸)
株式會社岩井商店 (大阪)
日本棉花株式會社 (〃)

◎輸入の主要原因

大麻は國産豊富なるも、支那産麻の纖維粗きものは大麻の代用として徳用なるが爲めに輸入さる。黄麻及マニラヘンプは國産不足、及び國産なきためである。

◎輸入品と國産品の優劣

大麻及黄麻は國産品が概ね品質優良である。マニラヘンプは比較すべきものなし。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加を圖る必要はあるが、關稅保護の如きはその必要なくべし。

一六三、亞麻織糸

亞麻織糸は亞麻の纖維を紡績したるものにして、粗製品は臘、脂肪、ベクチン質及色素等を含有するため灰白色であるが、稀薄なるアルカリ

額
價額
—圓
—
—
82,421
18,896
54,263
43,299
39,824
33,215
29,866

昭和三年)

價額
20,544圓
19,126

◎外國競争者

大同貿易株式會社 (神戸)
株式會社岩井商店 (大阪)

◎主要生産者

大麻は栃木縣鹿沼地方を始め、關東、中國の諸府縣及北海道等に多く産し、黄麻は愛知、熊本、大分等の諸縣に産す。マニラ麻は國産なし。

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
小倉貿易株式会社 (〆)

國 産 額

年次	數量	價 額
大正10	1,327,655貫	5,827,810
11	1,403,845	4,918,140
12	1,057,750	3,956,500
13	1,249,042	4,951,100
14	1,147,591	4,046,400
昭和1	2,750,938	3,833,600
2	2,540,384	3,953,900
3	2,644,446	4,259,400
4	2,331,129	3,876,500
5	2,856,432	4,214,600

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
栃 木	1,259,090貫	2,253,209
新 潟	31,587	120,843
長 野	190,692	407,670
島 根	60,290	79,661
廣 島	205,072	249,961
熊 本	174,498	182,246
大 分	89,751	101,008

◎輸入品と國産品の優劣
大麻及黄麻は國産品が概ね品質優良である。マニラヘンプは比較すべきものなし。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加を圖る必要はあるが、關稅保護の如きは其の必要なべし。

一六三、亞 麻 織 糸

亞麻織糸は亞麻の纖維を紡績したるものにして、粗製品は臘、脂肪、ベクテン質及色素等を含有するため灰白色であるが、稀薄なるアルカリ溶液を用ひて連續煮沸せる精製品は是等不純物を除去せるため純白である。本品は帆布、食卓布、リンネル手巾、シャツ地等の材料として用途頗る廣く、近年本邦に於ける麻糸紡發達のため輸入は漸次減少しつつあるが、内地生産少き細番手のものは今尚ほ輸入さる。

◎輸入税率

單撚の生のもは一〇〇斤に付一〇圓七五錢、その他の單撚は同一圓四〇錢。
其他の生のもは一〇〇斤に付四〇圓九〇錢。その他は一〇〇斤に付四四圓九〇錢。

◎主要生産者

帝國製麻株式会社 (東京)
大正製麻株式会社 (〆)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)

輸 入 額

年次	數量	價 額	單位	數量	價 額
大正10	—貫	—圓	—斤	—圓
11	—	—	—	—
12	389,529	3,991,639	—	—
13	458,277	4,217,733	53,213	82,421
14	160,140	2,136,704	3,946	18,896
昭和1	48,072	489,469	9,863	54,263
2	258,962	1,460,623	7,543	43,299
3	346,416	1,936,222	6,496	39,824
4	3,964,563	17,124,568	5,557	33,215
5	3,298,465	16,953,163	4,396	29,866

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
白 耳 義	3,214斤	20,544圓
英 吉 利	2,985	19,126

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
栃 木	7,278貫	83,990圓
富 山	256,539	1,351,561
滋 賀	82,599	500,671

◎外國競争者

大同貿易株式会社 (神戸)
株式會社岩井商店 (大阪)

◎輸入の主要原因

内地に於ける麻糸紡績發達に因り亞麻織糸の普通品は外國品に遜色なきものを製出し、而もその生産量は内地需要を充すに足るため、殆んど輸入されないが、細番手のもの、主として六〇番手以上の細糸は、今尚ほ國産不足なる場合多きため、英國その他より輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

細番手もの其他特殊なるものは外國品に及ばないが、普通品に於ては敢て遜色を認めない。

◎輸入防止の主要處置

特殊品の輸入に過ぎず而も僅少額なるを以て、特に防止の要なし。

一六四、亞麻糸及亞麻線

亞麻糸は單撚の亞麻織糸を撚合機に掛けて製したるものにして、普通二〇番手内外のものが用ひらる。

亞麻線は七番手乃至二〇番手の單糸を撚合せたるもの二本以上を更に撚合せたるものにして、長さ十米重量一二瓦を超えざるものとす。亞麻糸は縫衣用、靴縫用、帆縫用、製本用等に供せられ、亞麻線は主として包装用に供せらる。

輸入品は普通小綴又は臍形に造り或は木心、紙心に巻かれ、臍形は一オンス乃至一六オンス、小綴及木心卷は一オンス、乃至二オンス紙心卷は五〇碼以上一萬碼以下である。

◎輸入税率

生のものは一〇〇斤に付四〇圓九〇錢。其他は四四圓九〇錢。

◎主要生産者

- 帝國製麻株式會社 (東京)
- 大正製麻株式會社 (シ)
- 大阪製麻株式會社 (大阪)
- 小泉製麻株式會社 (兵庫)
- 東洋麻糸紡績株式會社 (大阪)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	322,392貫	1,911,238圓	—斤	—圓
11	348,157	1,588,452	—	—
12	357,887	1,343,220	—	—
13	786,256	6,215,367	5,715	45,326
14	619,013	6,181,631	388	2,415
昭和1	285,725	3,101,267	—	—
2	410,848	3,364,776	—	—
3	391,228	2,848,495	—	—
4	398,327	2,996,028	—	—
5	389,788	2,784,414	—	—

(各種麻撚糸の産額)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	—貫	581,222圓
山形	56,087	195,905
愛知	27,701	108,341
滋賀	62,007	255,142
大阪	167,214	1,368,740

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	91斤	330圓
獨逸	296	2,012

(大正十四年以後の國別輸入額不詳)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 大同貿易株式會社 (神戸)
- 株式會社岩井商店 (大阪)

◎外國競争者

主として米國産品であるが、近時輸入額僅少にして、内地品に對する競争は殆んど行はれず、特殊品が輸入されるに過ぎない。

◎輸入の主要原因

輸入品の主たるものは靴縫用亞麻糸其他特殊のものにして、是等は内地に於て生産可能なるも需要の範圍狭く且つ需要額少きため生産者少く生産額微々として需要に充たざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

靴縫用及其他一、二種の特殊なるものは輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

特殊品に限られ且つ輸入額僅少なるを以て、特に輸入防止の要なし。

一六五、大麻織糸

大麻織糸は大麻の纖維を紡績したるものにして、普通漂白及染色を施さざる儘使用さる。用途の主たるものは麻布の原料、帆布縫糸及麻線材

額

價額
—圓
—
—
10,623
7,843
6,295
5,293
5,012
—
—

和三年) 價額

3,968圓
796

◎外國競争者

輸入品は主として伊太利産品、及

に輸入さる。

◎輸入税率

生のもものは一〇〇斤に付四〇圓九〇錢。其他は四四圓九〇錢。

◎主要生産者

- 帝國製麻株式會社 (東京)
- 大正製麻株式會社 (大阪)
- 大阪製麻株式會社 (兵庫)
- 小泉製麻株式會社 (大阪)
- 東洋麻糸紡績株式會社 (大阪)

一六五、大麻織糸

大麻織糸は大麻の纖維を紡績したるものにして、普通漂白及染色を施さざる儘使用さる。用途の主たるものは麻布の原料、帆布縫糸及麻線材料等にして、長さ三〇〇碼重量一封度のものを一番手、長さ六〇〇碼重量一封度のものを二番手とす。國內に於ける生産は頗る豊富にして、内地需要を充して尙ほ過剩あり、支那その他へ輸出されつゝあるが、一方に於て特殊なるものは輸入されつゝある。

◎輸入税率

價額に對する一割。

◎主要生産者

- 帝國製麻株式會社 (東京)
- 大正製麻株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

近來輸入額漸減の傾向に在り、特殊の需要に供するものが少額の輸入を見るに過ぎずして、當時の輸入品にあらず、従つて特に本品の輸入取扱者として掲ぐべき者なく、神戸、大阪等の輸入業者の手を経て臨時的

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—貫	—圓	—斤	—圓
11	—	—	—	—
12	1,397,876	6,341,607	—	—
13	893,445	7,111,245	11,581	10,623
14	1,562,500	4,812,136	6,682	7,843
昭和1	1,619,893	4,385,060	5,968	6,295
2	1,175,162	6,803,033	4,382	5,293
3	2,074,804	7,845,370	4,298	5,012
4	2,186,477	7,953,050	—	—
5	2,250,428	7,874,576	—	—

(各種麻撚糸の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
栃 木	425,744貫	4,561,890圓
滋 賀	53,354	231,864
大 阪	193,881	371,605
兵 庫	1,401,825	2,680,191

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
伊 太 利	3,253斤	3,968圓
獨 逸	753	796

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—貫	581,222
山 形	56,087	195,905
愛 知	27,701	108,341
滋 賀	62,007	255,142
大 阪	167,214	1,368,740

地に於て生産可能なるも需要の範圍狭く且つ需要額少きため生産者少く生産額微々として需要に充たざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

靴縫用及其他一、二種の特種なものは輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

特殊品に限られ且つ輸入額僅少なるを以て、特に輸入防止の要なし。

に輸入さる。

◎外國競争者

輸入品は主として伊太利産品、及び獨逸産品であるが、競争は殆んど行はれず、需要に應じて或は價格暴落せる場合等に於て、註文輸入するに過ぎない。

◎輸入の主要原因

織布材料に供せらるゝものは内地品を以て需要を充し得るが、特殊の目的に使用されるものは内地生産少く、且つ需要範圍狭きため特に生産を爲すものなくして供給不足を告ぐるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊品に於ては輸入品に及ばざるものも少くないが、一般大麻織糸は外國品に比して何等遜色なく、價格も概して國産品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

輸入額僅少なるを以て特に輸入防止の必要なく、自然の推移に委するを得策とす。

一六六、羊

毛 (原毛及トップ)

羊毛にはその種類頗る多く、各種類に依つて夫々繊維の長短、強力光澤等を異にし、一頭の羊毛に於てもその場所に依つて品質に相異がある。即ち肩及兩脇の毛は最も良質腹部及兩脚部の毛は最も下等である。又健康なる羊の毛は品質優良であるが、病羊又は斃羊等の毛は劣等である。一般市場に現はるゝ羊毛には長毛種短毛種、山地種、高地種等の別あり又離種羊毛、メリノ羊毛、雜粗毛等の各種がある。

◎輸入税率

カイド又はコームしたるもの一〇〇斤に付一四圓五〇錢其他は無税

◎主要生産者

日本毛織株式会社 (神戸)
 東京モスリン紡績株式会社 (東京)
 中央毛織紡績株式会社 (大阪)
 毛斯倫紡績株式会社 (シ)
 但し右各社はトップの生産者にして、原毛生産者にあらず。

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—貫	—圓	267,333擔	32,202,653圓
11	—	—	565,155	55,367,012
12	759,706	18,192,728	517,826	80,011,736
13	761,051	23,228,747	527,242	88,040,614
14	401,632	12,338,885	612,020	121,073,526
昭和1	4,887	88,376	612,015	86,024,160
2	—	8,915,788	789,048	101,676,733
3	517,816	11,158,500	880,516	111,856,314
4	546,357	12,058,466	814,919	101,815,826
5	558,965	12,564,295	867,162	73,609,916

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	490,579貫	10,584,717圓
愛 知	22,465	481,959
兵 庫	4,772	91,874

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
支 那	18,891擔	1,276千圓
關 東 州	1,192	62
英 吉 利	6,229	1,447
秘 露	287	36
智 利	3,789	372
亞 爾 然 丁	16,731	2,832
濠 太 刺 利	827,007	105,254
新 西 蘭	5,561	502

◎外國競争者

三菱商事株式会社 (東京)
 大倉商事株式会社 (シ)
 日本棉花株式会社 (大阪)
 株式会社兼松商店 (神戸)

◎輸入の主要原因

原毛は國産殆んど無く、トップは國産少きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

トップに就いて比較すれば、品質に於ては殆んど優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

本品の需要は今後益々増加すべきを以て、政府は内地生産の増加を圖り、極力輸入防止に努力すべし。

一六七、山羊毛及駱駝毛

山羊毛にはモヘア(アンゴラ)アルパカ、ピキユーナ等の各種あり。

モヘアは土耳其アンゴラ原産にして一名アンゴラと稱し、現今に於

昭和三年)

價 額
160千圓
4
8
80
35
47

ヤツ、製帽等の原料として需要頗る多し。

◎輸入税率

米産品が大部分を占めてゐるが、時に濠洲方面より輸入される場合もある。濠洲産品中に於てはシドニー、メルボルン、アデレード等の産品が

◎主要生産者

日本毛織株式会社 (神戸)
東京モスリン紡績株式会社(東京)
中央毛織紡績株式会社 (大阪)
モス倫紡績株式会社 (シ)
但し右各社はトップの生産者にして、原毛生産者にあらず。

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)

一六七、山羊毛及駱駝毛

山羊毛にはモヘア(アンゴラ)アルパカ、ピキユーナ等の各種あり。

モヘアは土耳其アンゴラの原産にして一名アンゴラと稱し、現今に於ては各地に産するも南アフリカ及北米産品は概して優良である。天然色は白色大部分を占め、光澤に富み、纖維長く、六吋乃至一〇吋以上に達するも羊毛に比すれば質弱く、主としてブラツシュ、絨氈、毛布等の原料に用ひらる。アルパカは南部阿弗利加産山羊毛より製せられ、白色、鶯色、黒色等もあるが大部分は鶯紅色である。纖維は頗る光澤あるも質弱く、主として服地に用ひらる。カシミヤは柔軟にして長く、白色又は鼠色最も多く主としてシヨール、メリヤス類の製造原料に供せらる。主産地は印度のカシミヤ、西藏、蒙古ヒマラヤ等である。

駱駝毛には亞細亞産と亞弗利加産の兩種あり。質柔軟にして天然色は黒色、赤色又は灰色等あり、黒色は最も高價、灰色は最も廉價にして普通赤色の半額以下である。駱駝毛は染色困難なるため多く原毛の儘使用され、婦人服、毛布、シヨール、シ

國産額

年次	數量	價額
大正10	—貫	—
11	—	—
12	759,706	18,192,7
13	761,051	23,228,7
14	401,632	12,338,8
昭和1	4,887	88,3
2	—	8,915,7
3	517,816	11,158,5
4	546,357	12,058,4
5	558,965	12,564,2

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	490,579貫	10,584,717
愛知	22,465	481,959
兵庫	4,772	91,874

原毛は國産殆んど無く、トップは國産少きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

トップに就いて比較すれば、品質に於ては殆んど優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

本品の需要は今後益々増加すべきを以て、政府は内地生産の増加を図り、極力輸入防止に努力すべし。

ヤツ、製帽等の原料として需要頗る多し。

◎輸入税率

カード又はコムしたるものは一〇〇斤に付一四圓五〇錢。其の他のものは無税。

◎主要生産者

駱駝は本邦に飼育されず、山羊は北海道その他各府縣に飼育され、近年漸次増加しつつあるが、殆んど全部乳用種にして、毛用種は極く一部分に過ぎない。従つて生産額として見るべきものなく、生産者として特掲すべきものがない。

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (シ)
- 日本毛織株式会社 (神戸)
- 合同毛織株式会社 (大阪)
- 株式会社芝川商店 (シ)
- 高島屋呉服店 (京都)

◎外國競争者

本邦に輸入されるものは支那及南

主要國別輸入額(昭和三年)

年次	輸入額		國名	主要國別輸入額	
	數量	價額		數量	價額
大正10	302,474斤	208,959圓	支那	1,904百斤	160千圓
11	604,788	577,869	關東	67	4
12	310,803	151,577	北米	329	8
13	336,185	256,786	秘露	730	80
14	543,983	628,134	智利	281	35
昭和1	238,498	184,844	亞爾然丁	326	47
2	264,762	188,445			
3	375,564	341,168			
4	251,738	289,876			
5	285,933	313,209			

◎輸入の主要原因

本邦に於ける毛織物業は逐年發達して本品の需要激増せるに拘はらず國産少く又は國産なきために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

精製の技術に於ては敢て外國に劣らないが、原毛を輸入する關係上生産費高く、従つて本品を原料とせる各種製品は外國品よりも概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

駱駝は本邦の飼育に適せざるを以て止むを得ないが、毛刈用山羊に就ては大いにその飼育を奨励し、又製品作製上の技術等を研究して國産振興を計る事が緊要である。

一六八、毛

糸

毛糸には梳毛糸及紡毛糸の二種がある。何れも羊毛、山羊毛、駱駝毛等を以て製す。輸入品の主たるものはモスリン用單撚糸、セルヂス用双撚糸等の織糸、及びゼフィールヤーン、モヘアヤーンスコッチヤーン等の編物糸である。

◎輸入税率

染め又は捺染せざる毛糸の中、梳毛糸と紡毛糸を撚合せたるものは一〇〇斤に付三三圓一〇錢。(その他一〇〇斤に付一七圓五〇錢以上三三圓一〇錢迄各種あり。省略す)

◎主要生産者

- 日本毛織株式会社 (神戸)
- 東京モスリン紡織株式会社 (東京)
- 毛斯倫紡織株式会社 (大阪)
- 中央毛糸紡績株式会社 (〃)
- 大阪毛織株式会社 (〃)
- 日本毛糸紡績株式会社 (〃)
- 株式会社伊丹製絨所 (兵庫)
- 宮川モスリン株式会社 (三重)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)

輸 入 額		國 産 額	
數量	價 額	數量	價 額
3,484,004斤	15,199,561圓	2,852,064貫	47,382,932圓
12,127,420	48,600,049	2,145,775	53,005,237
19,637,871	73,894,197	2,850,108	62,439,124
15,759,955	63,589,435	2,998,838	78,992,077
11,701,808	56,214,989	2,589,730	68,343,802
9,242,907	32,482,496	2,455,902	60,954,300
13,783,860	43,552,326	3,641,008	68,723,103
8,746,702	32,107,241	3,939,904	86,184,777
5,608,487	18,736,704	4,015,286	95,452,767
6,008,357	14,148,950	4,112,397	96,235,212

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	635,089貫	14,595,483圓
岐 阜	993,968	21,480,236
愛 知	548,238	16,173,917
大 阪	433,305	4,951,152
兵 庫	1,025,628	21,100,923

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	19,927擔	5,907圓
英 吉 利	10,650	4,243
佛 蘭 西	31,120	11,900
伊 太 利	356	150
埃 地 利	1,662	696
チエツコ、スロヴァキア	1,519	609
波 蘭	20,858	8,228

◎外國競争者

- 三菱商事株式会社 (東京)
- 株式会社岩井商店 (大阪)
- 丸紅商店 (〃)
- 株式会社兼松商店 (神戸)
- 株式会社芝川商店 (〃)
- 日瑞貿易株式会社 (〃)
- 高島屋呉服店 (京都)

◎輸入の主要原因

國産の不足、外國品の品質優良、相場變動に因る採算輸入、等が主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

セル糸は輸入品が優良、モス糸は優劣なく、編糸は國産品が優良。

◎輸入防止の主要處置

國産の振興を圖ると共に、關税に依つて生産者を保護する必要あり。

一六九、繭

繭は重要國産品の一にして年産額數億圓の巨額に達するも尙ほ且つ不足を告げ、海外より輸入さる。輸入品は殆んど全部支那産にして玉繭最

額 價 額
3,336,938圓
3,451,759
1,915,392
1,781,841
2,967,444
2,607,753
1,583,624
1,533,964
1,756,535
947,125

昭和三年)

價 額
1,524千圓
9

◎外國競争者

殆んど全部支那産品にして、その主産地は江蘇省、浙江省、四川省及

一六九、繭

- ◎主要生産者
- 日本毛織株式会社 (神戸)
- 東京モスリン紡織株式会社 (東京)
- 毛斯倫紡織株式会社 (大阪)
- 中央毛糸紡績株式会社 (〃)
- 大阪毛織株式会社 (〃)
- 日本毛糸紡績株式会社 (〃)
- 株式会社伊丹製絨所 (兵庫)
- 宮川モスリン株式会社 (三重)

- ◎主要輸入者
- 三井物産株式会社 (東京)

繭は重要國産品の一にして年産額數億圓の巨額に達するも尙ほ且つ不足を告げ、海外より輸入さる。輸入品は殆んど全部支那産にして玉繭最も多く、上繭及柞蠶繭之に次ぐ。輸入品の包装は綿製袋入にして普通七五斤入であるが、綿製袋入を更にアンペラ巻とし、一個一〇〇斤入に包装せるものもある。

- ◎輸入税率
- 無税

◎主要生産者
 全國の養蠶家、製糸工場、蠶種製造家等にして、養蠶戸數は二百萬戸以上に達す。

- ◎主要輸入者
 - 片倉製糸紡績株式会社 (東京)
 - 三井物産株式会社 (〃)
 - 日本棉花株式会社 (大阪)
- 此の外神戸、大阪等の貿易業者の手を経て輸入されるものもあるが、大部分は大製糸業者が自家用として輸入す。

	國産額			輸入額	
	數量	價額		數量	價額
大正10	6,332,780石	409,177,401圓	2,501,886擔	3,336,938圓
11	60,560,951	573,135,123貫	2,183,288	3,451,759
12	69,539,746	660,403,820	1,466,733	1,915,392
13	73,818,442	551,679,672	1,337,642	1,781,841
14	84,799,796	824,255,696	1,946,614	2,967,444
昭和1	86,725,501	661,453,536	20,009	2,607,753
2	90,862,559	496,932,514	19,008	1,583,624
3	93,849,090	551,679,133	17,879	1,533,964
4	95,568,219	456,196,357	16,601	1,756,535
5	85,466,569	470,569,124	10,767	947,125

	國産額			輸入額	
	數量	價額		數量	價額
大正10	2,852,064貫	47,382,933
11	2,145,775	53,005,233
12	2,850,108	62,439,123
13	2,998,838	78,992,073
14	2,589,730	68,343,803
昭和1	2,455,902	60,954,303
2	3,641,008	68,723,103
3	3,939,904	86,184,773
4	4,015,286	95,452,763
5	4,112,397	96,235,213

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	3,531,292貫	20,032,944圓
群馬	5,952,869	33,644,063
埼玉	4,976,243	27,523,057
長野	10,266,532	58,069,547
岐阜	4,062,150	24,386,960
愛知	4,858,058	27,396,616

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	17,813擔	1,524千圓
關東州	66	9

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	635,089貫	14,595,483圓
岐阜	993,968	21,480,236
愛知	548,238	16,173,917
大阪	433,305	4,951,152
兵庫	1,025,628	21,100,923

◎輸入防止の主要原因
 國産の不足、外國品の品質優良、相場變動に因る採算輸入、等が主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣
 セル糸は輸入品が優良、モス糸は優劣なく、絹糸は國産品が優良。

◎輸入防止の主要處置
 國産の振興を圖ると共に、關税に依つて生産者を保護する必要あり。

◎外國競争者

殆んど全部支那産品にして、その主産地は江蘇省、浙江省、四川省及び廣東省の一部等であるが、輸入品は大部分上海を經由して輸入さる。

◎輸入の主要原因

支那産品は品質に於て國産品に及ばざるも、勞銀その他の關係上國産品よりも價格概ね安く、國産繭を購入するよりも採算上有利なる場合が少くない。故に製糸業者は相場の變動、爲替關係等に因り隨時輸入す。

◎輸入品と國産品の優劣

繭の品質に於ては、支那産は遠く國産品に及ばないが、國産繭の同程度のものにして價格遙かに低廉である。

◎輸入防止の主要處置

現今の如く國産繭の過剰に悩む時に於ては、輸入を防止する必要があるが、平素に於ては安價なる繭を輸入し生糸として輸出することは寧ろ奨励すべきである。

一七〇、野蠶糸

野蠶糸は伸度及強度に於ては普通の生糸に比し寧ろ優秀であるが、光澤悪しく、染付き困難にして且つ水に浸せば収縮する缺點がある。輸入品の大部分は支那産品にして、支那に於ては絹紬の原料に供し、本邦に於ては絹糸の代用とし又は絹糸、綿糸に交ぜて厚地織物の緯糸に用ひ、或はシヨール、リボン、襟飾、紐類、総類、編糸、組糸等の原料に供せられ、用途廣汎である。

輸入品の包装は五斤紙包二〇束を綿布に包み、更に之を粗麻布又は綿布にて被ひ、アンペラ包み又は箱入とす。一個の重量は何れも一〇〇斤である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

長野縣安曇郡地方に産するも、その額少く、特掲すべき生産者なし。

◎主要輸入者

日東國産株式會社 (神戸)
大日本紙糸株式會社 (岐阜)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	53,578貫	169,813圓	1,121,633斤	7,221,289圓
11	—	—	490,872	5,413,680
12	141	11,650	443,031	5,084,765
13	20	2,740	231,870	2,592,633
14	5	1,260	153,686	1,526,990
昭和1	83	6,458	193,727	1,761,948
2	37	2,458	146,887	1,450,967
3	140	13,652	82,672	543,020
4	158	14,100	46,701	261,708
5	179	16,501	76,482	368,872

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
長野	140貫	13,652圓

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	769擔	507千圓
關東州	53	33
英吉利	5	2

◎外國競争者

支那産品最も多く輸入され、滿洲産品之に亞ぐ。

◎輸入の主要原因

本品は各方面に使用されて需要多きに拘らず、國內生産額は極く微々たるものにして到底需要を充し得ざるが爲めである。同時に支那産品は價格頗る低廉なるため、之を生糸代用品とし、或は絹綿交織用として恰適せることも亦輸入の一因と見做し得る。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て支那産その他輸入品よりも寧ろ優良であるが、價格は輸入品よりも高く、且つ生産少きため、一時に多量購入するに不便である。

◎輸入防止の主要處置

氣候及森林の關係上、本品の増産は期待し難きを以て、輸入防止の必要は認められない。

國廣清一郎商店 (大阪)

◎外國競争者

多數あり。

支那産品最も多く、佛國産品、米國産品、英國産品、中東國産品等之

一七一、紡績絹織糸

紡績絹織糸は玉繭、殼繭、汚染繭及び其他の繅製し難き各種屑繭、鬚斗糸、生皮亨、野蠶糸の屑等を紡績したるものにして、縫糸、編糸、或

額	價額
—	圓
—	—
26,880	92
—	—
—	—
—	—

(大正十四年)

價額
70圓
22

(額不詳)

である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

長野縣安曇郡地方に産するも、その額少く、特掲すべき生産者なし。

◎主要輸入者

日東國産株式会社 (神戸)
大日本紙糸株式会社 (岐阜)

國 産 額

年次	數量	價額
大正10	53,578貫	169,811
11	—	—
12	141	11,652
13	20	2,740
14	5	1,260
昭和1	83	6,450
2	37	2,450
3	140	13,652
4	158	14,100
5	179	16,500

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
長野	140貫	13,652圓

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て支那産その他の輸入品よりも寧ろ優良であるが、価格は輸入品よりも高く、且つ生産少きため、一時に多量購入するに不便である。

◎輸入防止の主要處置

氣候及森林の關係上、本品の増産は期待し難きを以て、輸入防止の必要は認められない。

一七一、紡績絹織糸

紡績絹織糸は玉繭、殻繭、汚染繭及び其他の繅製し難き各種屑繭、鬘斗糸、生皮苧、野蠶糸の屑等を紡績したるものにして、縫糸、編糸、或はリボン、飾總類、ネクタイ、襟卷シヨール、ハンカチ、プラツシュ等の原料に供せらる。

◎輸入税率

野蠶糸は無税。
其他は價格に對する二五%。

◎主要生産者

鐘淵紡績株式会社 (東京)
富士瓦斯紡績株式会社 (大正)
東洋紡績株式会社 (大阪)
日本絹織株式会社 (静岡)
大日本絹織株式会社 (静岡)
日本絹糸紡績株式会社 (静岡)
◎主要輸入者
三井物産株式会社 (東京)
日東國産株式会社 (神戸)
海外通商株式会社 (静岡)
株式会社兼松商店 (静岡)
此の外紡績業者の直接輸入する者

輸 入 額

年次	數量	價額	輸入額
大正10	773,340貫	29,035,391圓	—斤 圓
11	743,623	31,134,577	—
12	993,628	45,113,791	—
13	1,155,424	40,096,567	30,448
14	1,058,646	61,972,565	24
昭和1	1,216,823	63,105,345	—
2	1,605,518	61,849,340	—
3	1,550,841	60,047,395	—
4	1,496,283	54,216,315	—
5	1,359,345	48,293,054	—

(輸入額僅少)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	120,992貫	5,869,522圓
神奈川	159,858	6,176,289
石川	86,019	5,690,448
京都	271,435	11,536,203
大阪	172,610	7,117,923
兵庫	164,777	5,597,301

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
關東州	15斤	70圓
伊太利	9	22

(大正十四年以降の國別輸入額不詳)

多數あり。

◎外國競争者

支那産品最も多く、佛國産品、米國産品、英國産品、伊太利産品等に次ぐ。然れども現今は輸入額頗る少く競争も亦殆んど行はれない。

◎輸入の主要原因

本品の國産額は國內需要を充して尙ほ過剰あるも、過剰以上に輸出されること少なからざるため國內に於ける供給不足を告ぐる場合往々にして生ず。かゝる際その補充として外國品が輸入されるが、その他相場の變動、爲替關係等に依つて輸入される場合も少くない。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては國産品が優良であるが、価格は概ね輸入品就中支那産品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

特殊の事情に依つて僅少の輸入を見るに過ぎざるを以て、輸入を防止する必要なし。

一七二、人造絹糸

人造絹糸は木綿、木材纖維素等を原料とし化學的に製す。その製法及原料には種々あるも、近來各國共に研究進歩して漸次天然生糸に接近し従つてその用途も次第に擴張され、天然生糸の領域を蠶食しつゝある。本邦に於ては多年海外より輸入され、國産品は僅かに需要の一部を充すに過ぎなかつたが、近年輸入より輸出に轉じた。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一二五圓

◎主要生産者

- 帝國人造絹糸株式會社 (神戸)
 - 旭絹織株式會社 (大阪)
 - 三重人造絹糸株式會社 (三重)
 - 東洋レーヨン株式會社 (大阪)
 - 人造絹糸工業株式會社 (東京)
 - 東京人造絹糸株式會社 (東京)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式會社 (東京)
 - イリス商會 ()
 - シーベルヘグナー商會 ()
 - 西田嘉兵衛商店 ()

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	334,393圓	104,348斤	463,310圓
11	—	354,936	169,805	930,644
12	—	473,386	762,583	3,324,784
13	—	5,045,695	678,527	2,763,665
14	—	5,129,899	624,459	2,824,312
昭和1	—	14,172,659	2,491,022	7,380,167
2	—	25,608,357	599,735	1,619,116
3	—	36,773,739	192,572	456,982
4	—	39,968,567	468,735	855,066
5	—	57,918,654	639,410	942,065

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
山形	—	1,828,000圓
静岡	—	825,000
三重	—	1,000,000
滋賀	—	13,914,200
京都	—	2,512,314
廣島	—	5,946,600
山口	—	10,130,600

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
佛蘭西	272擔	75千圓
獨逸	132	36
伊太利	746	144
瑞西	353	90
和蘭	213	47
北米	181	49

◎外國競争者

- 株式會社山本商店 (神戸)
- ストロング商會 (横濱)
- 日瑞貿易株式會社 (大阪)
- コートールド會社 (英國)
- セラニス會社 ()
- スニア・ビスコーザ會社 (伊太利)
- シオーサ會社 ()
- シヤチロン會社 ()
- ヴァイスコーゼ會社 (佛國)
- ベンベルグ會社 (獨逸)
- グラントストツク會社 ()
- エンメンブルグ會社 (瑞西)
- ボルビキスク會社 ()
- オプール會社 (白耳義)

◎輸入の主要原因

内地生産なき特殊高級品、又は價格關係に依る臨時的輸入あり。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

關稅引上に依つて内地生産者を保護すれば輸入は根絶されん。

一七三、テグス

テグスは支那に多く産する樟虫の體内より糸線を取出して製したるものにして、支那に於ては之を樟虫糸と稱す。製品には一番と二番とあり一番は糸を引延ばす際上部を覆へる

額	價額
—圓	—
—	—
368,980	—
178,299	—
213,524	—
234,654	—
189,633	—
196,397	—
214,527	—

(昭和三年)

價額
170,458圓
798

◎主要輸入者

支那産品は大部分香港に集り、本邦への輸入は神戸在住の支那商人の手を経て輸入されるが、多くは副業

一七三、テグス

- ◎主要輸入者
- 帝國人造絹糸株式會社 (神戸)
 - 旭絹織株式會社 (大阪)
 - 三重人造絹糸株式會社 (三重)
 - 東洋レーヨン株式會社 (大阪)
 - 人造絹糸工業株式會社 (東京)
 - 東京人造絹糸株式會社 (東京)

- 三井物産株式會社 (東京)
- イリス商會 (東京)
- シーベルヘグナー商會 (東京)
- 西田嘉兵衛商店 (兵庫)

テグスは支那に多く産する樟虫の體内より糸線を取り出して製したるものにして、支那に於ては之を樟虫糸と稱す。製品には一番と二番とあり一番は糸を引延ばす際上部を覆へる淡茶色の部分を除きて製したるものにして白色透明である。二番は之を除かず製してしたるものにして淡茶色を呈す。兩種とも長短及細大區々であるが、普通二尺乃至九尺にして五尺前後のものが大部分である。

本邦に於ては天然テグスの生産少なきため、支那より原料を輸入し之に加工して需要に充て、又人造テグスを以てその代用に供す。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 角田商店 (東京)
- 小島商店 (京都)
- 村上商店 (滋賀)
- 丸二合資會社 (滋賀)
- 丸満合名會社 (兵庫)
- 龜山テグス商會 (兵庫)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	118貫	57,176圓	—斤	—圓
11	151	54,319	—	—
12	287	82,866	—	—
13	240	19,237	28,101	368,980
14	133	28,920	15,673	178,299
昭和1	128	28,352	19,865	213,524
2	46	10,236	21,249	234,654
3	318	69,084	17,369	189,633
4	216	45,109	18,568	196,397
5	245	52,395	20,531	214,527

	國産額	
	數量	價額
大正10	—	334,393圓
11	—	354,936
12	—	473,386
13	—	5,045,695
14	—	5,129,899
昭和1	—	14,172,659
2	—	25,608,357
3	—	36,773,739
4	—	39,968,567
5	—	57,918,654

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
兵庫	46貫	12,356圓
東京	21	6,293
京都	32	10,029
滋賀	13	7,983

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	16,397斤	170,458圓
英吉利	568	798

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
山形	—	1,828,000圓
静岡	—	825,000
三重	—	1,000,000
滋賀	—	13,914,200
京都	—	2,512,314
廣島	—	5,946,600
山口	—	10,130,600

◎輸入の主要原因

内地生産なき特殊高級品、又は價格關係に依る臨時的輸入あり。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

關稅引上に依つて内地生産者を保護すれば輸入は根絶されん。

◎主要輸入者

支那産品は大部分香港に集り、本邦への輸入は神戸在住の支那商人の手を経て輸入されるが、多くは副業的にして、本品専門の取扱者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

樟虫の産地としては支那、佛蘭西及びオーストラリア等があるが、本邦へ輸入されるものは殆んど全部支那産品である。

◎輸入の主要原因

國産量少きに拘らず需要多く、且つ人造テグスは本テグスの代用品として不完全なるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は折れ易く支那産に及ばないが、加工品は支那産よりも優秀である。

◎輸入防止の主要處置

原料を輸入し之に加工して輸出するを以て、輸入防止の必要なし。

一七四、屑及故纖維

屑纖維及故纖維輸入品の主たるものは屑綿、故綿、屑羊毛、再製毛炭化毛、フロック、生皮等である。屑綿は棉花を繰綿機に掛けて繰取る際、或は綿糸を紡績する際に生ずるものにして、紡績落綿又は油付落綿と通稱し、製紙原料、蒲團綿、緞通等の原料に供せらる。

故綿は一度使用せる繰綿にして、打直して蒲團綿とし或は紡ぎて緞通の原料等に用ひらる。

屑羊毛は梳毛糸製造の際生ずる屑毛にしてノイルと稱せられ、紡毛糸及フェルトの原料又は純毛、綿等との混紡用に供せらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 鐘淵紡績株式会社 (東京)
- 富士瓦斯紡績株式会社 (シ)
- 日清紡績株式会社 (シ)
- 東京モスリン紡績株式会社 (シ)
- 東洋紡績株式会社 (大阪)
- 大日本紡績株式会社 (シ)
- 大阪毛織株式会社 (シ)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	132,326圓	118,660擔	1,922,770圓
11	—	360,375	126,278	2,196,149
12	—	1,032,124	140,309	4,074,897
13	—	1,905,217	88,536	3,987,451
14	—	284,917	76,416	4,675,713
昭和1	—	938,086	134,923	4,898,669
2	—	1,086,136	125,953	2,883,605
3	—	1,020,345	104,149	3,573,772
4	—	1,105,287	81,703	2,817,119
5	—	1,330,529	78,673	1,444,681

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	—	51,854圓
三重	—	54,810
滋賀	—	189,546
大阪	—	374,778
岡山	—	70,385
廣島	—	94,713

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	89,847擔	2,395千圓
關東州	5,166	108
英領印度	884	19
英吉利	4,795	783
獨逸	898	48
濠太刺利	1,318	197

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (シ)
- 株式会社岩井商店 (大阪)
- 株式会社兼松商店 (神戸)
- 株式会社安宅商會 (大阪)
- 日本棉花株式会社 (シ)
- 東洋棉花株式会社 (シ)
- 帝國棉花株式会社 (シ)

◎外國競争者

屑綿及故綿類は支那産品が大部分を占め、羊毛類は英國産品及支那産品等が主として輸入さる。

◎輸入の主要原因

主として内地に於ける供給不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

本品は何れも原料として輸入され之を加工精製するを以て、輸入防止の必要は毫も認められない。

一七五、屑糸

屑糸中輸入品の主たるものは屑綿糸、熨斗糸、揚り屑等である。

屑綿糸は紡績の際生ずる屑綿にして、蒸汽機關その他機關類の磨拭用

年次	價額
大正10	511,289圓
11	433,407
12	1,260,153
13	749,504
14	916,363
昭和1	1,818,606
2	1,896,450
3	1,109,243
4	993,776
5	842,983

昭和三年度)

價額
862千圓
17
172
30
7
11

◎主要輸入者

- 山十製糸株式会社 (長野)
- 帝國人造絹糸株式会社 (神戸)

の混紡用に使われる。
 ◎輸入税率
 無税

◎主要生産者

- 鐘淵紡績株式会社 (東京)
- 富士瓦斯紡績株式会社 (シ)
- 日清紡績株式会社 (シ)
- 東京モスリン紡績株式会社 (シ)
- 東洋紡績株式会社 (大阪)
- 大日本紡績株式会社 (シ)
- 大阪毛織株式会社 (シ)

國産額
 數量 價額

大正10	—	132,326圓
11	—	360,375
12	—	1,032,124
13	—	1,905,217
14	—	284,917
昭和1	—	938,086
2	—	1,086,136
3	—	1,020,345
4	—	1,105,287
5	—	1,330,529

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	—	51,854圓
三重	—	54,810
滋賀	—	189,546
大阪	—	374,778
岡山	—	70,385
廣島	—	94,713

◎輸入の主要原因

主として内地に於ける供給不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

本品は何れも原料として輸入され之を加工精製するを以て、輸入防止の必要は毫も認められない。

一七五、屑

糸

屑糸中輸入品の主たるものは屑綿糸、鬚斗糸、揚り屑等である。屑綿糸は紡織の際生ずる糸屑にして、蒸汽機關その他機關類の磨拭用に主として用ひらる。

鬚斗糸は繭の外部を圍繞せる粗雜なる纖維にして、生糸繅製の際剝取りて乾燥せるものである。此の外生糸屑には揚り繭即ち生糸繅製後繭の周圍に残れる糸、手屑即ち生糸繅製中に生ずる屑糸等がある。是等屑糸は何れも紡績絹糸製造の原料として用ひらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 鐘淵紡績株式会社 (東京)
- 富士瓦斯紡績株式会社 (シ)
- 日清紡績株式会社 (シ)
- 片倉製糸紡績株式会社 (シ)
- 東洋紡績株式会社 (大阪)
- 大日本紡績株式会社 (シ)
- 日本絹綿紡績株式会社 (シ)
- 日本絹織株式会社 (静岡)
- 郡是製糸株式会社 (京都)

國産額
 數量 價額

大正10	—	132,326圓	13,402擔	511,289圓
11	—	360,375	5,108	433,407
12	—	1,032,124	11,614	1,260,153
13	—	1,905,217	9,457	749,504
14	—	284,917	12,037	916,363
昭和1	—	938,086	32,188	1,818,606
2	—	1,086,136	22,848	1,896,450
3	—	1,020,345	15,724	1,109,243
4	—	1,105,287	20,073	993,776
5	—	1,330,529	20,970	842,983

主要國別輸入額(昭和三年度)

國名	數量	價額
支那	13,629擔	862千圓
關東洲	468	17
英吉利	1,039	172
佛蘭西	157	30
獨逸	199	7
濠太刺利	64	11

◎外國競争者

支那産品大部分を占め、英國産品之に亞ぐ。

◎輸入の主要原因

主として内地品の供給不足に基く従つて紡織の盛大なる時は輸入額多く、然らざる時は僅少である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に略同等である。

◎輸入防止の主要處置

安價なる原料を輸入し高價なる輸出品の製造に充當するものなるを以て、防止の必要なし。

一七六、綿製天鷲絨及ブラツシユ

地糸の下に更に他の糸を加へて之を環状に表面に織出せるものを總稱してパイル織物と謂ふ。而して表面に織出したる環状をその儘存置せるものをルードパイル、環状を切断せるものをカットパイルと稱す。天鷲絨は凡てパイル織物の一種にして緯毛天鷲絨と經毛天鷲絨の二種あり、綿天鷲絨、コイル天などは緯毛天鷲絨に屬し、ブラツシユ類は經毛天鷲絨に屬す。

本品の主たる用途は、衣類、夜具襟、半襟、椅子張、鼻緒、足袋、シヨール等である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——八三圓一〇錢

◎主要生産者

近江ベルベツト株式会社(滋賀)
日本ベルベツト株式会社(堺)
日本ビロード株式会社(滋賀)

◎主要輸入者

瀧浦順平商店 (東京)
竹内常三郎商店 (大阪)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	2,545,841碼	7,384,894圓	1,713,478方碼	2,748,828圓
11	6,001,135	6,297,580	2,301,862	3,555,806
12	13,447,092	6,848,549	820,099	1,273,514
13	14,824,438	10,698,594	744,294	1,307,955
14	22,404,162	13,885,267	495,069	1,009,461
昭和1	19,415,687	9,104,908	518,902	851,216
2	20,831,079	8,890,959	640,014	1,014,855
3	26,333,970	10,330,818	505,310	916,674
4	42,046,960	14,074,794	507,755	883,547
5	44,285,044	15,269,875	440,711	663,454

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
埼玉	5,928,650碼	1,883,321圓
静岡	18,771,333	6,848,431
愛知	12,579,330	3,277,381
三重	491,387	294,832
大阪	2,837,261	1,035,903
岡山	425,212	293,425

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	449千方碼	766千圓
佛蘭西	6	19
獨逸	35	91
白耳義	1	3
伊太利	1	4
北米	11	30

◎外國競争者

主として英國産品及獨逸産品。

◎輸入の主要原因

國內に於ける本品の生産額は一千萬圓を超え、普く内地需要を充して尙ほ過剩あり、支那その他へ輸出されつゝある。然れども特殊のものは採算上内地生産少く且つ外國品に比して價格高きため輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は仕上り美麗にして手觸り柔軟なるを特徴とし、且つ染色頗る堅牢なる點に於て國産品に優るが、生地の耐久力に富む點は國産品の特徵にして、輸入品の及ばざる所である。但し特殊品は原棉の關係上國産品は輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

原料供給の立場に在る紡績業者は原棉の精選、製紡の技術等を研究し製造業者及加工業者は化學を應用して高級品の製出に努力すれば、輸入は漸次減少するであらう。

一七七、綿フランネル

綿フランネル即ち俗に所謂ネルには平織と綾織の二種あり。普通經糸は一八番手乃至二〇番手の單撚糸又は四〇番手内外の双撚糸を用ひ、緯

額	價額
33,255圓	
62,575	
30,312	
89,138	
50,995	
36,301	
41,714	
63,048	
65,183	
38,606	

昭和三年度)

價額
39千圓
0
20

◎主要輸入者

神戸、大阪等の織物貿易業者に依つて輸入され、本品の専門取扱者と

◎輸入税率

一〇〇斤に付——八三圓一〇錢

◎主要生産者

近江ベルベット株式会社(滋賀)
日本ベルベット株式会社(堺)
日本ビロード株式会社(滋賀)

◎主要輸入者

瀧浦順平商店 (東京)
竹内常三郎商店 (大阪)

國産額

年次	數量	價額
大正10	2,545,841碼	7,384,894圓
11	6,001,135	6,297,580
12	13,447,092	6,848,549
13	14,824,438	10,698,594
14	22,404,162	13,885,267
昭和1	19,415,687	9,104,908
2	20,831,079	8,890,959
3	26,333,970	10,330,818
4	42,046,960	14,074,794
5	44,285,044	15,269,875

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
埼玉	5,928,650碼	1,883,321圓
静岡	18,771,333	6,848,431
愛知	12,579,330	3,277,381
三重	491,387	294,832
大阪	2,837,261	1,035,903
岡山	425,212	293,425

◎輸入防止の主要處置

原料供給の立場に在る紡績業者は原棉の精選、製紡の技術等を研究し製造業者及加工業者は化學を應用して高級品の製出に努力すれば、輸入は漸次減少するであらう。

一七七、綿フランネル

綿フランネル即ち俗に所謂ネルには平織と綾織の二種あり。普通經糸に一八番手乃至二〇番手の單撚糸又は四〇番手内外の双撚糸を用ひ、緯糸に八番手乃至一六番手又は二〇番手の單撚糸を用ひて製織したるものにして、織上後片面又は両面に起毛を施す。白色無地、染色無地、縞模様等の各種ありて、主として防寒用衣類、シャツ等に用ひられ用途廣汎である。

輸入品の包装は一反毎に包みたるも二〇反又は二四反を、内部亞鉛板張の箱入とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二九圓五〇錢

◎主要生産者

和泉織物株式会社 (大阪)
岸和田紡績株式会社 (岸和田)
内海紡績株式会社 (和歌山)
松太綿布株式会社 (和歌山)
紀陽織布株式会社 (和歌山)
和歌山染工株式会社 (和歌山)
此の外、和歌山、大阪、愛媛等の各地に生産者頗る多し。

國産額 輸入額

年次	數量	價額	數量	價額
大正10	—碼	—圓	19,411方碼	33,255圓
11	217,404,673	61,431,862	79,847	62,575
12	221,185,292	62,006,015	54,011	30,312
13	168,475,387	61,522,975	118,190	89,138
14	232,274,248	81,370,507	53,942	50,995
昭和1	180,969,683	37,627,463	35,356	36,301
2	198,589,228	38,490,494	53,964	41,714
3	292,639,878	55,112,906	71,749	63,048
4	223,956,640	42,609,856	45,396	65,183
5	244,587,167	43,459,211	34,733	38,606

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
埼玉	2,216,520碼	609,923圓
愛知	2,058,382	508,017
大阪	115,463,455	17,770,003
和歌山	57,951,266	13,143,124
徳島	991,730	250,955
愛媛	43,149,784	9,758,506

主要國別輸入額(昭和三年度)

國名	數量	價額
英吉利	54千方碼	39千圓
佛蘭西	2	0
獨逸	15	20

◎主要輸入者

神戸、大阪等の織物貿易業者に依つて輸入され、本品の専門取扱者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

英國産品及米國産品等。

◎輸入の主要原因

英國製品は生地耐久力に富み、且つ意匠及柄行の嶄新なる點に於て常に特殊の需要者を有するが爲めに今尙ほ輸入が絶えない。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は輸入品に比して品質上何等の遜色なく、且つ價格に於ては常に輸入品よりも低廉である。

◎輸入防止の主要處置

國産品は數量に於て内地の充要を充すに充分なるのみならず、印度支那その他へ盛んに輸出されつゝあるを以て、僅少の輸入は敢て意とするに足らず、特に輸入を防止すべき必要は認められない。

一七八、綿帆布

綿帆布は八地乃至一〇番内外の太糸を以て製織したる厚地の平織綿布にして、單撚糸數本を撚合せたるものを二本引揃へて一本と爲して製織し、緯糸一本を織込みたるものをシングルフィールド、二本織込みたるものをダブルフィールドと稱す。

本品には生地のもの、漂白したるもの及び染色したるもの等ありて、厚地物は製紙機械用、船舶の帆、テント及シート等に用ひ、薄地物は衣類、袴地、前掛、脚衣等に製せられ又漂白したるものは夏靴等の材料に供せらる。輸入品の包装は一〇反毎に粗麻布包として鐵帶を施し、又は内部亞鉛張箱入とす。

◎輸入税率

平織布の税率に依る(詳細略す)

◎主要生産者

東洋帆布株式會社 (大阪)
 近江帆布株式會社 (滋賀)
 此の外兵庫縣、及び廣島縣は本品の主産地として古來有名であるが、その生産組織は概ね小規模にして特掲すべきものがない。

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	15,110,565碼	64,918,285圓	635,082方碼	1,408,838圓
11	7,080,407	7,359,365	554,851	1,064,522
12	15,640,040	9,081,853	487,369	755,275
13	17,920,894	9,347,367	360,898	529,687
14	14,191,004	8,945,908	463,301	684,782
昭和1	21,812,648	10,148,587	284,310	299,960
2	24,050,118	9,559,474	1,131,870	820,828
3	21,915,060	9,267,162	1,145,750	1,099,327
4	23,830,250	9,056,378	1,839,320	1,653,408
5	24,350,286	9,168,346	778,657	624,991

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
神奈川	385,967碼	343,248圓
愛 知	772,800	244,518
滋 賀	6,208,035	3,073,070
大 阪	3,430,221	985,656
岡 山	8,955,932	2,823,245
廣 島	2,981,878	1,111,454

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	1,145千方碼	1,096千圓
加 奈 陀	0	3

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 廣海商會 (神戸)

◎外國競争者

主として米國産品及英國産品等であるが、競争は殆んど行はれない。

◎輸入の主要原因

輸入品はドライフェルト地、タイヤ地等の如き特殊高級品にして、是等は需要の範圍狭く且つ相當困難なる技術を要するを以て、國內に於て生産する者少く、生産するも價格に於て到底輸入品に對抗し難きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は普通品に於ては外國品に比して寧ろ優良であるが、一部特殊品に於ては猶ほ外國品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

製造技術の進歩を圖れば輸入防止は比較的容易であるが、現状に於ては特に防止策の必要を認めない。

一七九、綿搦織布 (絹及紗)

搦織布には紹織と紗織とがある。何れも普通の織方と異り、甲乙二種の經糸ありて緯糸一本毎に二本の經糸が振り合へるものを紗織と稱し、緯糸三本、五本又は七本毎に經糸の

額	價 額
38,583圓	
81,162	
70,518	
101,268	
275,974	
81,830	
77,328	
68,958	
144,236	
47,426	

(昭和三年)

價 額
54千圓
4
2
8

◎外國競争者

主として佛蘭西産品及び英國産品で、輸入額少きため、激烈なる競争は行はれない。

部亞鉛張箱入とす。

◎輸入税率

平織布の税率に依る(詳細略す)

◎主要生産者

東洋帆布株式会社 (大阪)
近江帆布株式会社 (滋賀)

此の外兵庫縣、及び廣島縣は本品の主産地として古來有名であるが、その生産組織は概ね小規模にして特掲すべきものがない。

一七九、綿 搦織布 (絹及紗)

搦織布には紹織と紗織とがある。

何れも普通の織方と異り、甲乙二種の經糸ありて緯糸一本毎に二本の經糸が振り合へるものを紗織と稱し、緯糸三本、五本又は七本毎に經糸の振り合へるものを紹織と稱す。紗及絹は共に主として夏季の衣服地に用ひらる。

◎輸入税率

價格に對する二〇%

◎主要生産者

株式会社服部商店 (濱松)
木俣合名會社 ()
加藤幸太郎商店 ()
三共株式會社 (東京)
須關重平 (埼玉)
足利織物株式會社 (足利)

◎主要輸入者
株式會社出口レース店 (大阪)
合資會社やまと屋商店 (横濱)
三井物産株式會社 (東京)
株式會社米井商店 ()
クーパー商會 (神戸)
廣海商會 ()

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	6,486,142碼	3,066,335圓	—碼	38,583圓
11	13,617,514	5,011,981	—	81,162
12	58,348,747	11,376,011	87,933	70,518
13	34,041,356	9,000,170	126,311	101,268
14	61,438,837	11,473,737	323,518	275,974
昭和 1	64,373,187	10,179,093	65,257	81,830
2	63,635,623	9,453,387	110,072	77,328
3	75,921,559	12,275,983	95,429	68,958
4	68,765,401	11,278,542	186,665	144,236
5	81,032,286	11,304,588	81,998	47,426

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	15,110,565碼	64,918,285
11	7,080,407	7,359,365
12	15,640,040	9,081,853
13	17,920,894	9,347,367
14	14,191,004	8,945,908
昭和 1	21,812,648	10,148,587
2	24,050,118	9,559,474
3	21,915,060	9,267,162
4	23,830,250	9,056,378
5	24,350,286	9,168,346

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
栃 木	21,720,620碼	2,985,253圓
神奈川	6,630,880	935,207
靜 岡	7,973,010	1,078,327
三 重	7,801,102	1,165,889
大 阪	16,228,748	3,582,489
德 島	7,205,520	1,164,214

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	75千方碼	54千圓
佛 蘭 西	5	4
伊 太 利	2	2
瑞 西	13	8

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
神奈川	385,967碼	343,248圓
愛 知	772,800	244,518
滋 賀	6,208,035	3,073,070
大 阪	3,430,221	985,656
岡 山	8,955,932	2,823,245
廣 島	2,981,878	1,111,454

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は普通品に於ては外國品に比して寧ろ優良であるが、一部特殊品に於ては猶ほ外國品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

製造技術の進歩を圖れば輸入防止は比較的容易であるが、現状に於ては特に防止策の必要を認めない。

◎外國競争者

主として佛蘭西産品及び英國産品で、輸入額少きため、激烈なる競争は行はれない。

◎輸入の主要原因

國內に於ける本品の生産は需要を充して尙ほ過剩ある。状態である。故に一般品は輸入されないが、婦人洋服地、ホワイトシャツ地等に用ひらるゝ一二番手以上の細糸製は、外國品に匹敵すべき國産品少きため輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

一二番手以上の比較的太糸物に於ては、外國品に比して殆んど遜色なく、價格も亦輸入品より低廉であるが、同番手以上の細糸物、就中極細糸物の高紙品は、製織技術は勿論意匠染色等に於ても、未だ英、佛等の産品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

特殊品が僅少輸入されるに過ぎざるを以て、特に防止の必要なし。

於て到底輸入品に對抗し難きためである。

一八〇、生金巾及生シーチング

生金巾は普通經糸に二八番乃至三六番單撚糸を用ひ、緯糸に三〇番乃至五四番の單撚糸を用ひて製織したる平織薄地の綿布にして、品質に依り種類頗る多きも商業上に於ては本瓦斯キヤラコ及金巾の四種に大別する。

生シーチングは金巾より稍々太番手を用ひて製織せる平織綿布である

◎輸入税率

平織布の税率に依る(詳細略す)

◎主要生産者

- 鐘淵紡績株式会社 (東京)
- 富士瓦斯紡績株式会社 (〃)
- 日清紡績株式会社 (〃)
- 大日本紡績株式会社 (大阪)
- 東洋紡績株式会社 (〃)
- 大阪合同紡績株式会社 (〃)
- 泉州織物株式会社 (岸和田)

◎主要輸入者

- コロンズ商會 (神戸)
- ストロング商會 (横濱)
- シーベルヘグナー (東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	130,442,571碼	36,951,842圓	276,055方碼	112,058圓
11	82,634,038	66,941,403	554,280	180,464
12	227,444,647	61,391,210	377,629	189,556
13	514,638,813	138,901,030	610,239	212,543
14	607,408,661	159,888,924	405,896	195,977
昭和1	639,514,460	137,619,111	323,762	140,583
2	804,649,784	141,674,356	468,411	140,185
3	931,679,058	183,438,418	288,024	82,113
4	989,367,452	178,456,296	646,138	187,693
5	965,463,376	167,459,212	375,157	83,226

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	62,019,694碼	12,658,785圓
静岡	87,542,869	14,578,168
愛知	227,444,237	37,875,728
三重	53,083,312	9,448,953
大阪	200,600,931	49,579,617
兵庫	87,772,798	18,606,706
徳島	17,058,040	3,727,578

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	1千方碼	0千圓
英吉利	287	81

◎外國競争者

英國産品大部分を占むるも、輸入額少く、價格安き場合に限り輸入されるに過ぎざる状態なるを以て、競争者と目すべきものなし。

◎輸入の主要原因

多年輸入し來れる隋性に依り、價格が國産品よりも割安なる場合少額の輸入を見るに過ぎず、従つて特殊の原因と見做すべきものなし。

◎輸入品と國産品の優劣

生金巾及生シーチングの本邦に於ける生産はその量頗る多く製造技術亦長足の進歩を遂げ、現今に於ては世界的に名聲ある英國産品に比するも殆んど遜色なきのみならず價格は普通英國品その他の諸外國品よりも低廉である。

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入防止は既に現在に於て略その目的を達し、特殊の場合僅少の輸入を見るに過ぎざるを以て、此の上防止策を講ずる必要なし。

一八一、晒金巾及晒シーチング

晒金巾は生金巾を漂白したるものにして、生金巾に比し幅稍々狭く、長さ稍伸べるを普通とす。上等品はホワイトシャツの材料に供せらるる。

額	價額
1,003,268圓	
1,571,564	
983,900	
1,105,022	
9,66,0581	
737,450	
439,511	
418,246	
543,314	
211,811	

昭和三年)

價額
411千圓
3
0
2

◎外國競争者

コロンズ商會 (神戸)
ストロング商會 (横濱)

◎主要輸入者

コーンズ商會 (神戸)
 ストロング商會 (横濱)
 シーベルヘグナー (東京)

鐘淵紡績株式会社 (東京)
 富士瓦斯紡績株式会社 (東京)
 日清紡績株式会社 (東京)
 大日本紡績株式会社 (大阪)
 東洋紡績株式会社 (大阪)
 大阪合同紡績株式会社 (大阪)
 泉州織物株式会社 (岸和田)

	國産額	
	數量	價額
大正10	130,442,571碼	36,951,842圓
11	82,634,038	66,941,403
12	227,444,647	61,391,210
13	514,638,813	138,901,030
14	607,408,661	159,888,924
昭和1	639,514,460	137,619,111
2	804,649,784	141,674,356
3	931,679,058	183,438,418
4	989,367,452	178,456,296
5	965,463,376	167,459,212

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	62,019,694碼	12,658,785圓
静岡	87,542,869	14,578,168
愛知	227,444,237	37,875,728
三重	53,083,312	9,448,953
大阪	200,600,931	49,579,617
兵庫	87,772,798	18,606,706
徳島	17,058,040	3,727,578

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入防止は既に現在に於て略その目的を達し、特殊の場合僅少の輸入を見るに過ぎざるを以て、此の上防止策を講ずる必要なし。

生金巾及生シーチングの本邦に於ける生産はその量頗る多く製造技術亦長足の進歩を遂げ、現今に於ては世界的に名聲ある英國産品に比するも殆んど遜色なきのみならず價格は普通英國産品その他の諸外國産品より低廉である。

一八一、晒金巾及晒シーチング

晒金巾は生金巾を漂白したるものにして、生金巾に比し幅稍々狭く、長さ稍伸べるを普通とす。上等品はホワイトシャツの材料に供せらるるもの最も多く、その他夏季の肌衣窓掛地、白足袋地等に用ひられ、或は染色して衣類地に供せらる。晒シーチングは生シーチングを漂白し糊を施して仕上げたるものにして、主として敷布、手巾等の製造用に供せらる。

◎輸入税率

平織布の税率に依る(詳細略す)

◎主要生産者

鐘淵紡績株式会社 (東京)
 富士瓦斯紡績株式会社 (東京)
 東京モスリン紡績株式会社 (大阪)
 東洋紡績株式会社 (大阪)
 大日本紡績株式会社 (大阪)
 又一株式会社 (大阪)
 大阪合同紡績株式会社 (大阪)
 日本製布株式会社 (京都)

◎主要輸入者

シーベルヘグナー商會 (東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	2,740,102貫	1,212,576圓	2,072,352方碼	1,003,268圓
11	2,003,589	987,543	4,076,404	1,571,564
12	2,199,213	1,087,177	2,246,005	983,900
13	2,932,939	1,333,204	3,928,694	1,105,022
14	2,026,131	998,141	2,131,758	9,66,0581
昭和1	4,932,380	2,629,865	1,647,317	737,450
2	2,511,069	1,620,540	1,180,749	439,511
3	4,129,826	2,324,415	978,491	418,246
4	5,502,284	3,462,316	1,358,218	543,314
5	5,769,913	3,569,238	581,247	211,811

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	346,235貫	182,779圓
静岡	1,203,500	541,575
愛知	202,980	52,319
大阪	3,094,300	2,370,650
兵庫	202,060	195,846
和歌山	348,641	83,587

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	965千方碼	411千圓
佛蘭西	7	3
瑞西	2	0
北米	5	2

◎外國競争者

英國産品、オランダ産品、瑞西産品等が輸入されるが、輸入額少く、競争者と目すべき有力者なし。

◎輸入の主要原因

晒金巾及晒シーチングは其の種類頗る多く、本邦に於て生産される種類の外にも尚ほ數種ある。而も需要は凡ゆる種類に對して夫々相當にあるを以て、國産以外の種類は當然輸入に俟つの外はない。是れ本品輸入の主因であるが又國內に於て生産される種類に在りても、外國品の價格下落等の場合には輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては殆んど優劣を認めないが、特に耐久力を必要とする高級品、例へば白足袋地の如きは、輸入品が幾分優良である。

◎輸入防止の主要處置

特に輸入防止の必要なかるべし。

一八三、寒 冷 紗

寒冷紗は經緯共に三六番手乃至四〇番手の單撚糸を用ひ、經糸に強く糊を施して製織したる輕量薄地の平織綿布にして、普通一反の長さ一二碼、幅四一吋乃至四二吋である。地質緻密なる優等品は手巾、造花等の材料に用ひられ、粗悪なる下等品は荷札その他の雜用に供せらる。

輸入品の包装は一〇反宛包装用紙に包み、一二包乃至二五包を内部亞鉛板張の箱入とす。

◎輸入税率

平織布の税率に依る(詳細略す)

◎主要生産者

大阪織物株式會社 (堺)
 豊田紡織株式會社 (名古屋)
 鐘ヶ淵紡績株式會社 (東京)

◎主要輸入者

輸入額少く、多くは綿布貿易商に依つて副業的に輸入され、専門取扱者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

輸入品の大部分は英國産品である

國 産 額		輸 入 額	
年 次	數 量	數 量	價 額
大正10	—碼	521,743碼	148,657圓
11	—	616,146	197,606
12	3,010,931	523,296	146,413
13	2,976,788	634,645	188,799
14	4,330,013	269,100	100,421
昭和 1	4,059,321	170,775	56,081
2	3,758,269	282,154	75,508
3	3,954,654	222,053	66,820
4	4,654,126	199,225	66,057
5	4,816,355	165,954	45,926

(價額不詳)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
大 阪	2,256,316碼	—
愛 知	854,293	—
三 重	532,168	—
靜 岡	96,545	—
和歌山	85,963	—
兵 庫	76,399	—

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	222千方碼	66千圓

が、内地に於ける生産少き高級品が僅かに輸入されるに過ぎざるを以て競争者と目すべきものなし。

◎輸入の主要原因

本品の國內に於ける生産額は相當に多く、國內需要を充すに足るのみならず、品質及價格に於て外國品に對抗し得るを以て殆んど輸入の必要はないが、地質緻密にして優良なるものは、外國製高級品に及ばざる點少なからざる爲め、英國その他より輸入さる。然れども價格餘りに高價なる場合は、他の類似品を以て本品に代用し得るを以て、輸入は比較的廉價なる場合に限られ。従つて當時の輸入品と見做し難い。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては品質價格共に輸入品と略同等であるが、高級品に於ては原糸の漂白その他の點に於て輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

技術の向上を圖るか又は代用品の研究を爲すことが肝要である。

一八三、綿製紋織布及繡織布

紋織布は紋織機を用ひて布面に各種紋様又は模様を織現はしたるものにして、その組織には平地紋、綾地紋、縹子紋の三種あり、綿製紋織布の主たるものは綿緞子、綿綸子、紋金巾、綿紋縹子等である。

繡織布は通常浮出織と稱し、布帛

入 額	價 額
0方碼	120,223圓
1	266,724
6	176,275
3	268,290
2	312,926
8	174,716
6	134,958
1	141,476
1	127,055
1	95,472

輸入額

量	價 額
133千方碼	118千圓
11	11
4	5
6	5
2	0

- 兼松哲 (東京)
- 仲井和助 (〃)
- 三井物産株式會社 (〃)
- 吉田康之助 (大阪)
- 川瀬敷物店 (〃)
- 宮本東一 (〃)
- 高島屋吳服店 (京都)

◎主要生産者

大阪織物株式会社 (堺)
 豊田紡織株式会社 (名古屋)
 鐘ヶ淵紡績株式会社 (東京)

◎主要輸入者

輸入額少く、多くは綿布貿易商に依つて副業的に輸入され、専門取扱者として特掲すべきものなし。

◎外国競争者

輸入品の大部分は英國産品である

一八三、綿製紋織布及繡織布

紋織布は紋織機を用ひて布面に各種紋様又は模様を織現はしたるものにして、その組織には平地紋、綾地紋、縹子紋の三種あり、綿製紋織布の主たるものは綿緞子、綿綸子、紋金巾、綿紋縹子等である。
 繡織布は通常浮出織と稱し、布帛の表面に凸起せる紋様を織出したるものにして、種類頗る多く何れも主として婦人用衣類に用ひらる。

◎輸入税率

一〇〇に付一七圓乃至九五圓にして、経緯の糸數、重量等に依つて數十種に分類され、夫々税額が異つてゐる。

◎主要生産者

京都織物株式会社 (京都)
 小原太三郎 (〃)
 内外織物合資會社 (〃)
 細井常次郎 (〃)
 岡崎東吉 (〃)
 岡本徳松 (東京)

◎主要輸入者

睦屋商店 (東京)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	98,524圓	114,960方碼	120,223圓
11	—	87,256	287,291	266,724
12	—	93,368	174,826	176,275
13	—	—	277,623	268,290
14	—	—	253,862	312,926
昭和1	—	—	138,828	174,716
2	—	87,335	148,876	134,958
3	—	74,512	156,431	141,476
4	—	—	138,171	127,055
5	—	—	119,701	95,472

年次	國産		數量	價額
	數量	價額		
大正10	—	—	—	—
11	—	—	—	—
12	3,010,931	—	—	—
13	2,976,788	—	—	—
14	4,330,013	—	—	—
昭和1	4,059,321	—	—	—
2	3,758,269	—	—	—
3	3,954,654	—	—	—
4	4,654,126	—	—	—
5	4,816,355	—	—	—

(價額不詳)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
大阪	—	7,269圓
京都	—	42,545
東京	—	9,123

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	133千方碼	118千圓
佛蘭西	11	11
獨逸	4	5
白耳義	6	5
北米	2	0

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
大阪	2,256,316碼	—
愛知	854,293	—
三重	532,168	—
静岡	96,545	—
和歌山	85,963	—
兵庫	76,399	—

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては品質價格共に輸入品と略同等であるが、高級品に於ては原糸の漂白その他の點に於て輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

技術の向上を圖るか又は代用品の研究を爲すことが肝要である。

◎外国競争者

兼松哲 (東京)
 仲井和助 (〃)
 三井物産株式会社 (〃)
 吉田康之助 (大阪)
 川瀬敷物店 (〃)
 宮本東一 (〃)
 高島屋呉服店 (京都)
 廣海商會 (神戸)
 クーパー商會 (〃)
 シンクルトン・ペンダン (横濱)

◎輸入の主要原因

國産品になき嶄新なるものが現はれたる都度臨時的に輸入され、主として舶來品崇拜者の需要に依る。

◎輸入品と國産品の優劣

意匠、染色等に於て輸入品優るも價格は國産品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

輸入税の引上、國産品愛用の宣傳等が有効なる防止策である。

に代用し得るを以て、輸入は比較的廉價なる場合に限られ、従つて當時の輸入品と見做し難い。

一八四、綿イタリانس及綿繻子

綿イタリانسは繻子綾に織りたる染色の綿布にして、衣服の袖口、襟地、洋服裏地、洋傘地等に用ひらる。輸入品の包装は一反毎に紙包とせるもの五〇反を一箱とす。

綿繻子は一名新毛繻子と稱し、洋服裏地、足袋、衣類の襟地、洋傘地等に供せらる。(輸出綿繻子参照)

◎輸入税率

洋傘用は一〇〇斤に付一八圓三〇錢乃至二二圓。(その他略す。)

◎主要生産者

- 豊田織布株式会社 (名古屋)
- 株式会社愛知物産組合 (〃)
- 帝國撚糸株式会社 (〃)
- 東洋織布株式会社 (桐生)
- 兩毛織物株式会社 (〃)
- 原田紡織株式会社 (福島)
- 大日本紡績株式会社 (大阪)
- 東洋紡績株式会社 (〃)
- 大阪莫大小紡績株式会社 (〃)
- 小津武林起業株式会社 (〃)
- 吉見紡織株式会社 (〃)
- 鐘淵紡績株式会社 (東京)
- 株式会社服部商店 (名古屋)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	23,887,715	8,706,148圓	1,585,653千方碼	1,355,883圓
11	3,089,078	4,643,222	2,413,032	1,899,075
12	30,221,362	10,580,806	1,290,524	853,634
13	95,927,732	19,845,891	3,096,794	2,510,369
14	96,952,797	41,001,157	1,768,769	1,744,014
昭和1	167,918,432	45,231,342	1,421,775	1,318,606
2	172,898,081	45,341,368	1,886,470	1,335,648
3	215,894,687	57,121,368	1,080,460	760,988
4	243,219,656	34,215,496	1,499,266	1,063,377
5	258,966,298	31,298,056	1,533,543	838,818

(綿繻子の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
静岡	10,058,143碼	2,684,463圓
愛知	34,983,069	7,617,225
三重	10,050,130	3,039,371
大阪	101,469,489	28,519,064
兵庫	17,134,833	4,011,365
和歌山	8,137,300	2,191,392
徳島	8,079,120	2,205,577

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	1,053千方碼	739千圓
佛蘭西	15	13
獨逸	12	8

(加工品)

- 青木染工場 (東京)
- 株式会社日新染布工場 (〃)
- 大阪染工合資會社 (大阪)
- 濱口染工場 (京都)
- 川合合名會社 (〃)

◎主要輸入者

- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 杉村貿易合名會社 (東京)

◎外國競争者

- マンチエスタ1產品 (英國)
- ブラッドフォード產品 (〃)

◎輸入の主要原因

高級品は内地に於ける生産少く、且つ外國品が優良なる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊高級品は輸入品に及ばず。普通品は品質に優劣なく、價格は國産品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

加工、染色、仕上げ等に於て改善を加へ優良品の製出に努力を要す。

一八五、黄麻布

黄麻布は黄麻糸を以て製織したる平織布にして、生地之最も粗なるものは棉花袋その他の荷造用に供せられ、稍粗なるものは米穀豆類等の袋

額	價額
399,173圓	
709,807	
485,885	
471,994	
351,650	
278,132	
367,157	
506,227	
562,113	
318,083	

價額
8千圓
471
9
9
3
3

◎外國競争者

- 山本傳一商店 (神戸)
- 石川商會 (〃)

- 株式会社愛知物産組合 (シ)
- 帝國撚糸株式會社 (シ)
- 東洋織布株式會社 (桐生)
- 兩毛織物株式會社 (シ)
- 原田紡績株式會社 (福島)
- 大日本紡績株式會社 (大阪)
- 東洋紡績株式會社 (シ)
- 大阪莫大小紡績株式會社 (シ)
- 小津武林起業株式會社 (シ)
- 吉見紡績株式會社 (シ)
- 鐘淵紡績株式會社 (東京)
- 株式會社服部商店 (名古屋)

國産額		
	數量	價額
大正10	23,887,715	8,706,148
11	3,089,078	4,643,222
12	30,221,362	10,580,806
13	95,927,732	19,845,891
14	96,952,797	41,001,157
昭和1	167,918,432	45,231,342
2	172,898,081	45,341,368
3	215,894,687	57,121,368
4	243,219,656	34,215,496
5	258,966,298	31,298,056

(綿繻子の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
静岡	10,058,143碼	2,684,463圓
愛知	34,983,069	7,617,225
三重	10,050,130	3,039,371
大阪	101,469,489	28,519,064
兵庫	17,134,833	4,011,365
和歌山	8,137,300	2,191,392
徳島	8,079,120	2,205,577

◎輸入の主要原因
高級品は内地に於ける生産少く、且つ外國品が優良なる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣
特殊高級品は輸入品に及ばず。普通品は品質に優劣なく、価格は國産品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置
加工、染色、仕上げ等に於て改善を加へ優良品の製出に努力を要す。

一八五、黄麻布

黄麻布は黄麻糸を以て製織したる平織布にして、生地之最も粗なるものは棉花袋その他の荷造用に供せられ、稍粗なるものは米穀豆類等の袋地、比較的緻密なるものは胡麻、茶子、砂糖等の袋地に供せられ、又生地緻密にして優等なるものは椅子の裏張、敷物等に用ひらる、ヘスシアンクロスは即ち此の種類である。此の外帆布等に用ひられて用途は頗る廣汎である。

◎輸入税率

五耗平方内の経緯數四本以下のものは一〇〇斤に付二圓五〇錢、同一〇本以下は四圓、同一〇本以下は七圓四〇錢、其他は價額に對する一〇% (綿交織其他略す)

◎主要生産者

- 東洋麻糸紡績株式會社 (大阪)
- 大阪製麻株式會社 (シ)
- 小泉製麻株式會社 (兵庫)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 米國貿易株式會社 (シ)

國産額			輸入額		
	數量	價額		數量	價額
大正10	537,740碼	892,375圓	390,214方碼	399,173圓
11	739,498	523,957	788,617	709,807
12	929,896	609,842	532,989	485,885
13	2,865,585	3,735,183	587,107	471,994
14	2,027,127	1,637,655	315,888	351,650
昭和1	1,003,894	603,722	—	278,132
2	1,666,903	1,003,885	—	367,157
3	1,805,611	1,540,594	557,628	506,227
4	1,701,028	1,448,536	625,998	562,113
5	1,985,277	1,518,300	417,223	318,083

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
栃木	372,585碼	726,444圓
富山	195,409	114,182
福井	257,666	121,027
滋賀	597,296	391,323
京都	95,711	56,056
愛媛	261,584	113,810

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	26千方碼	8千圓
英吉利	508	471
佛蘭西	10	9
獨逸	7	9
白耳義	3	3
北米	4	3

◎外國競争者
英領印度産品及び英國産品にして英國産品は特殊品に限られ、一般品は主として英領印度産品である。

◎輸入の主要原因
主として内地生産の不足に基くものであるが、本品の主産地たる英領印度に於ては原料ジュートの生産頗る豊富にして廉價に之を購入し得るため、黄麻布も亦當然低廉にして國産品は價格に於て到底之に對抗し得ざることも輸入の有力なる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては輸入品に劣らないが前陳の理由に依り價格は常に國産品が高價である。

◎輸入防止の主要處置

政府は關稅の引上をなす事、當業者は生産費の低下に努力し廉價に供給する事が緊要である。

山本傳一商店 (神戸)
石川商會 (シ)

一八六、亞麻布及其他の麻布類

本項に屬するものは亞麻布、苧麻布、ラミー及大麻布等にして、多くは經糸に綿糸、緯糸に亞麻、苧麻ラミー及大麻糸を用ひて製織したるパイル織、即ち一つの地糸の下に更に糸を添加して之を布帛面に環狀に織出したるものである。麻綿交織ビロード及び麻綿交織ブラツシュ等はその主たるものにして、椅子張用、汽車電車の坐席張用等に用ひらる。國産品の主たるものは亞麻布にして、苧麻布及ラミー布之に次ぎ、大麻布は産額僅少である。

◎輸入税率

天鵞絨、ブラツシュ其他のパイル織は價額に對する二〇%。漂白したる亞麻布及亞麻交織布は無税（其他（詳細の税率は略す））

◎主要生産者

(亞麻布)
帝國製麻株式會社 (東京)
(苧麻布及ラミー布)
新潟縣小千谷町及鹽澤町、石川縣能登地方、滋賀縣愛知川及能登川地方、沖繩縣宮古及八重山地方、奈良

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	135,963碼	60,050圓	731,257方碼	126,813圓
11	515,717	520,954	1,014,723	92,992
12	4,968,897	1,230,234	539,678	108,315
13	11,767,791	5,610,420	1,617,628	282,849
14	11,756,512	12,701,343	993,982	263,278
昭和 1	8,684,163	4,584,579	2,712,999	551,738
2	8,866,334	2,089,912	3,044,079	565,565
3	18,140,569	3,512,408	2,185,404	469,092
4	18,754,007	3,518,242	1,957,369	423,037
5	18,896,336	3,642,058	1,066,810	201,940

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	8,442,401碼	1,474,966圓
京 都	15,210	6,844
大 阪	2,246,440	396,820
兵 庫	7,436,518	1,633,778

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
關 東 州	649千方碼	149千圓
英領印度	302	43
英 吉 利	1,323	273
北 米	10	1

縣月ヶ瀬及福住地方、富山縣福野及福光地方等に生産多きも大部分小規模である。

(大麻布)

濾布及農漁夫の仕事着等として多少生産あるも、特掲するに足らず。

◎主要輸入者

特掲すべき輸入者なし。

◎外國競争者

亞麻布は英國産品最も多く、その他は輸入殆んどなし。

◎輸入の主要原因

外國品は品質優良なるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

現今に於ては殆んど優劣なく、使用上幾分耐久力に乏しきことが國産品の缺點とされてゐる。

◎輸入防止の主要處置

我國の本品に對する輸入關稅は、米國等に比して低率なるを以て、之を相當高率に引上げることが最も急務と見られてゐる。

一八七、ラシヤ・セルヂス及アルパカ類

ラシヤには純毛製と毛綿製の二種あり。セルヂスには純毛製、毛綿製絹製等の各種がある。アルパカはア

額 價 額
942,353圓
444,316
421,198
169,968
236,193
696,027
091,123
343,981
346,523
971,170

額 價 額
24,101千圓
808
4,782
140
275

◎主要輸入者

芝川商店、岩井商店、宇佐見商店、丸江商店、小西讓一、藤井善次郎

天鷲絨、プラツシユ其他のパイル織は價額に對する二〇%。漂白したる亞麻布及亞麻交織布は無稅（其他（詳細の稅率は略す））

◎主要生産者

(亞麻布)

帝國製麻株式會社

(東京)

(苧麻布及ラミー布)

新潟縣小千谷町及鹽澤町、石川縣能登地方、滋賀縣愛知川及能登川地方、沖繩縣宮古及八重山地方、奈良

國産額
數量 價額

大正10	135,963碼	60,050圓
11	515,717	520,954
12	4,968,897	1,230,234
13	11,767,791	5,610,420
14	11,756,512	12,701,343
昭和1	8,684,163	4,584,579
2	8,866,334	2,089,912
3	18,140,569	3,512,408
4	18,754,007	3,518,242
5	18,896,336	3,642,058

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	8,442,401碼	1,474,966圓
京都	15,210	6,844
大阪	2,246,440	396,820
兵庫	7,436,518	1,633,778

◎輸入品と國産品の優劣

外國品は品質優良なるに因る。現今に於ては殆んど優劣なく、使用上幾分耐久力に乏しきことが國産品の缺點とされてゐる。

◎輸入防止の主要處置

我國の本品に對する輸入關稅は、米國等に比して低率なるを以て、之を相當高率に引上げることが最も急務と見られてゐる。

一八七、ラシヤ・セルチス及アルパカ類

ラシヤには純毛製と毛綿製の二種あり。セルチスには純毛製、毛綿製絹製等の各種がある。アルパカはアルパカ山羊毛又は之に類似せる羊毛を紡績したる梳毛糸を緯とし、綿の双撚糸を經として平織、斜子又は緯浮きの斜文等に製織したる毛綿交織布である。何れも主として衣服地に用ひらる。

◎輸入稅率

- (一) 純毛製は一〇〇斤に付五七圓五〇錢乃至九七圓五〇錢。
 - (二) 毛綿製は一〇〇斤に付二三圓五〇錢乃至五五圓。
 - (三) 毛絹製及毛絹綿製は一〇〇斤に付一二〇圓乃至一八八圓。
- 其他の稅率及詳細規定略す。

◎主要生産者

- 東京毛織株式會社 (東京)
- 東京モスリン紡織株式會社(ク) (東京)
- 日本毛織株式會社 (神戸)
- 後藤毛織株式會社 (東京)
- 大阪毛織株式會社 (大阪)
- 片岡毛織株式會社 (愛知)

國産額
數量 價額

大正10	9,344,951擔	44,167,576圓	輸入額	數量	價額
11	9,214,258	39,452,839	10,336,557方碼	26,942,353圓	
12	23,218,613	45,848,741	22,631,430	44,444,316	
13	30,043,124	53,407,995	25,633,355	40,421,198	
14	30,393,327	56,125,092	34,100,234	56,169,968	
昭和1	40,902,905	74,379,105	25,867,053	56,236,193	
2	50,584,874	91,916,545	18,593,392	30,696,027	
3	55,129,702	103,362,793	16,707,796	32,091,123	
4	55,298,294	101,298,307	17,338,895	30,343,981	
5	57,236,654	104,246,516	10,912,588	19,346,523	
			6,829,562	10,971,170	

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	13,938千方碼	24,101千圓
佛蘭西	461	808
獨逸	3,507	4,782
白耳義	56	140
和蘭	130	275

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
栃木	585,640擔	2,459,752圓
岐阜	800,681	2,704,966
静岡	220,360	452,408
愛知	45,955,937	71,569,469
滋賀	602,966	85,490
大阪	837,596	2,259,256
兵庫	5,437,669	15,413,560
和歌山	82,197	174,313

◎主要輸入者

芝川商店、岩井商店、宇佐見商店、丸江商店、小西讓一、藤井善次郎、鷹岡豊之助。(以上大阪)

三井物産株式會社、垣内商店、大瀧商店、高羽商店、土井商店、吉田商店、植村商店、澤本商店、(以上東京)

◎外國競争者

リチャード・インガム商會(英國)、アーサー・デーヴィー商會(ク)、エドワード・ジャアツフ商會(ク)、此の外佛、獨、白、和、伊等の諸國産品の輸入頗る多し。

◎輸入の主要原因

主として内地生産の不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊高級品を除けば大差なく、サージ類は却つて國産品優良である

◎輸入防止の主要處置

國産の振興を圖ると共に、國産品愛用を奨励することが急務である。

一八八、毛製天鷲絨及ブラツシユ

毛製ビロード及ブラツシユは經緯共に毛糸を用ひ、或は毛糸に絹糸を交へ毛糸又は毛絹の毛羽を織出したるものにして、織出したる毛羽の短きものをビロード長きものをブラツシユと稱す。兩者共に染色無地、紋捺染、押形等の各種類あり、婦人兒童の洋服地、袋物、椅子張方面に用ひらる。

輸入品の包装は一反毎に紙に包みたるもの六反又一二反を、内部亞鉛張の箱入とす。

◎輸入税率

- (一) 一平方メートルに付一〇〇グラム以下のものは一〇〇斤五七圓五〇錢
- (二) 同上二〇〇グラム以下のものは九七圓五〇錢
- (三) 同五百グラム以下のものは九〇圓。(此の外詳細規定略す)

◎主要生産者

- 東京毛織株式会社 (東京)
- 住ノ江織物株式会社 (大阪)
- 近江ベルベット株式会社(滋賀)
- 日本シール株式会社 (大阪)
- 京都織物會社 (京都)

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—碼	—圓	269,308方碼	1,165,453圓
11	—	—	521,180	1,928,509
12	61,563	227,384	367,981	1,288,251
13	92,503	367,938	636,437	2,350,047
14	3,455,259	11,140,370	16,937	70,684
昭和1	61,137	121,014	17,907	74,869
2	57,589	219,766	8,972	49,967
3	154,413	452,848	8,082	51,552
4	166,458	487,001	7,084	55,757
5	198,322	505,124	3,631	19,670

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	119,809碼	311,851圓
愛 知	1,503	2,336
大 阪	33,101	138,661

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	7千方碼	48千圓
佛 蘭 西	0	1
北 米	0	1

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 瀧浦順平商店 (シ)
- 吉田鹿之助商店 (大阪)
- 竹内常三郎商店 (シ)

◎外國競争者

主として英國産品及獨逸産品。

◎輸入の主要原因

本品は従來多年歐米より輸入され本邦に於ては優良品が生産されなかつた爲め、歐米品優良なりとの觀念今尙ほ相當に強く、加ふるに國內産は需要に充たざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

英、獨等に於ては多年の經驗に富み技術頗る優秀である。本邦に於ても近來相當優良品の産出を見るに至つたが、高級品又は特殊品は今尙ほ輸入品に及ばざる點が尠くない。

◎輸入防止の主要處置

當業者に於て製造技術の進歩に努めることが第一義である。

◎外國競争者

高級品は佛國産品大部分を占め、その他は英國産品、獨逸産品並に佛

一八九、絹製天鷲絨及ブラツシユ

絹天鷲絨は經毛天鷲絨の一種にして、經糸緯糸共に絹糸を用ひて製織し、經糸を切斷して毛羽を生ぜしめたるものである。絹ブラツシユは絹

額	價 額
015,849圓	
753,985	
636,329	
472,682	
706,318	
335,097	
115,674	
131,726	
48,853	
29,418	

和三年)	價 額
	63千圓
	18
	41
	7

- (一) 七圓五〇錢
- (二) 同上二〇〇グラム以下のものは九七圓五〇錢。
- (三) 同五百グラム以下のものは九〇圓。(此の外詳細規定略す)

◎主要生産者

- 東京毛織株式会社 (東京)
- 住ノ江織物株式会社 (大阪)
- 近江ベルベット株式会社(滋賀)
- 日本シール株式会社 (大阪)
- 京都織物會社 (京都)

一八九、絹製天鷲絨及ブラツシユ

絹天鷲絨は經毛天鷲絨の一種にして、經糸緯糸共に絹糸を用ひて製織し、經糸を切斷して毛羽を生ぜしめたるものである。絹ブラツシユは絹天鷲絨と同様の織方にして毛羽の長さものを謂ふ。兩者共に主として婦人洋服地、外套、ケープ、帽子、外套襟その他衣類附屬品に用ひらる。

◎輸入税率

純絹裏一〇〇斤に付——五二〇圓
其他 一〇〇斤に付——一八〇圓

◎主要生産者

- 住ノ江織物株式会社 (大阪)
 - 日本シール株式会社 (シ)
 - 京都織物會社 (京都)
 - 近江ベルベット株式会社(滋賀)
- 此の外純絹製は京都西陣地方、滋賀縣長濱地方等を主産地とし、綿交製のものには滋賀縣湖北三郡、大阪府下茨城地方を主産地とす。

◎主要輸入者

毛製及綿製天鷲絨の輸入者、又は一般絹織物の輸入者に依つて兼業的に取扱はる。

	國 産 額			輸 入 額	
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	42,672碼	96,396圓	124,779方碼	1,015,849圓
11	136,240	1,648,164	129,831	753,985
12	150,026	273,033	128,283	636,329
13	33,024	111,762	261,330	1,472,682
14	839,504	1,819,417	159,976	706,318
昭和 1	111,205	279,019	93,301	335,097
2	536,022	1,059,651	33,398	115,674
3	674,579	1,266,752	37,393	131,726
4	712,082	2,001,387	12,335	48,853
5	778,541	2,159,866	6,814	29,418

(絹天鷲絨の産額)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—碼	—
11	—	—
12	61,563	227,38
13	92,503	367,93
14	3,455,259	11,140,37
昭和 1	61,137	121,01
2	57,589	219,76
3	154,413	452,84
4	166,458	487,00
5	198,322	505,12

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
滋 賀	413,519碼	779,727圓
京 都	199,335	493,980
和歌山	61,725	93,045

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	14千方碼	63千圓
佛 蘭 西	5	18
獨 逸	17	41
瑞 西	2	7

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	119,809碼	311,851圓
愛 知	1,503	2,336
大 阪	33,101	138,661

◎輸入品と國産品の優劣

英、獨等に於ては多年の經驗に富み技術頗る優秀である。本邦に於ても近來相當優良品の産出を見るに至つたが、高級品又は特殊品は今尚ほ輸入品に及ばざる點が尠くない。

◎輸入防止の主要處置

當業者に於て製造技術の進歩に努めることが第一義である。

◎外國競争者

高級品は佛國産品大部分を占め、その他は英國産品、獨逸産品並に佛國産品等である。

◎輸入の主要原因

金屬線を織込みて毛を立たせたる純絹製は、國産少く且つ佛國製品の如き優良品乏しき爲めに輸入され、又毛皮代用、シヨール、婦人外套などに用ひらるゝブラツシユ類は外國製品が歡迎される爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

純絹製高級品に於ては高尚優美なる佛國産品に及ばず。又窓掛地、テール掛地、敷物等に用ひらる、外國品は、特殊の仕上機械及織機を使用したものにして、國産品の遠く及ばざる所である。然れども金華山織、縮緬ビロード、別珍等は優に外國品に對抗し得る。

◎輸入防止の主要處置

製織機械、設備及技術等に於て一層研究を積むことが肝要である。

一九〇、フェルト地

フェルト地は羊毛、屑毛その他の雑獣毛を原料とし、又は是等に綿糸その他の繊維を交へて製したるものにして、綠色、藍色、茶褐色等各種の色物或は模様を捺染したるもの等がある。普通幅七十二吋、長さ三五碼乃至四〇碼を以て一反とす。尙ほ厚地物には牛毛、馬毛等の如き粗雜なる獸毛を混じたるものがある。

◎輸入税率

毛製及毛綿製は一〇〇斤に付九〇圓五〇錢。その他は價額の四割

◎主要生産者

丸新フェルト製造所 (東京)
日本毛織株式会社 (シ)
日本フェルト帽體株式会社(姫路)

◎主要輸入者

合資會社長澤商店 (東京)
ジャパントリーデ商會 (シ)
謙信洋行 (神戸)
シユルチエ商會 (シ)
日歐貿易株式會社 (シ)
兼阪商店 (シ)
三井物産株式會社 (東京)

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	—碼	—斤	—圓
11	618,499	62,306	234,859
12	732,148	64,754	236,463
13	452,873	89,384	333,455
14	735,785	—	—
昭和1	—	94,124	348,284
2	—	83,184	286,993
3	—	76,450	278,619
4	—	65,024	245,421
5	—	47,379	156,521

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,591,727圓
大阪	—	168,250
兵庫	—	795,540

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	205擔	80千圓
佛蘭西	12	3
獨逸	542	192
瑞西	2	0
北米	4	2

◎外國競争者

獨逸産品及英國産品は國産品に對し價格に於て盛んに競争しつゝあるが、兩國品共夫々獨特の販路を有し國産品豊富なるに拘らず、今尙ほ依然として輸入さる。

◎輸入の主要原因

一般品は國産豊富なるを以て輸入されないが、ピアノ用、パツキング用、テーブルクロス等の如き特殊品は、内地品よりも却つて廉價なるため輸入さる。然れども近時國産額逐年増加し、その製品は輸入高級品特殊品の販路を次第に奪ひつゝあるを以て、輸入漸減の傾向である。

◎輸入品と國産品の優劣

カバン、スリツパ等の材料に供せらるゝものは殆んど輸入品同等であるが、一般的には尙輸入品に及ばず且つ國産品は概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

仕上げその他製造技術の向上を期することが最も急務である。

一九一、レース地

レースは絹糸、亞麻糸等を用ひて種々の模様を編出したるものにして手工製と機械製の兩種があるが、大部分は機械製である。

額	價額
—圓	—
101,243	—
18,697	—
20,565	—
—	—
356,068	—
254,673	—
283,388	—
313,035	—
274,704	—

昭和三年)

價額
267千圓
10
4
1

睦屋商店 (東京)
杉浦レース商店 (シ)
伊藤レース商店 (シ)
山口レース商店 (大阪)

◎主要輸入者

- 丸新フェルト製造所 (東京)
- 日本毛織株式会社 (〃)
- 日本フェルト帽體株式会社(姫路)
- 合資會社長澤商店 (東京)
- ジャパンローゼ商會 (〃)
- 謙信洋行 (神戸)
- シユルチエ商會 (〃)
- 日歐貿易株式会社 (〃)
- 兼阪商店 (〃)
- 三井物産株式会社 (東京)

國 産 額
數量 價 額

大正10	—	—
11	618,499	976,611
12	732,148	1,496,150
13	452,873	1,533,340
14	735,785	2,420,130
昭和 1	—	2,379,730
2	—	2,478,280
3	—	2,555,510
4	—	2,897,100
5	—	2,996,340

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,591,727圓
大 阪	—	168,250
兵 庫	—	795,540

特殊品の販路を次第に奪ひつゝあるを以て、輸入漸減の傾向である。

◎輸入品と國産品の優劣

カバン、スリツパ等の材料に供せらるゝものは殆んど輸入品同等であるが、一般的には尙輸入品に及ばず且つ國産品は概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

仕上げその他製造技術の向上を期することが最も急務である。

一九一、レリス地

レリスは絹糸、亞麻糸等を用ひて種々の模様を編出したるものにして手工製と機械製の兩種があるが、大部分は機械製である。

輸入品は普通幅半吋以上四吋、一卷の長さ一〇碼乃至二四碼又は三六碼である。

◎輸入税率

綿製窓掛地は價額の二五%、其他は同三〇%

綿製蚊帳地は一〇〇斤に付一一四圓、其他は價額の三〇%、絹製及絹入ヴェーリングは一〇〇斤に付六八〇圓、其他は價額の三〇%(此の外詳細規定省略す)

◎主要生産者

- 日本製紐株式会社 (大阪)
- 新潟刺繡工業社 (新潟)
- 横濱機械刺繡株式会社 (横濱)
- 大日本エンプロイドレリス株式会社 (京都)
- 住江織物工場 (大阪)
- ◎主要輸入者
- 西村貿易店 (東京)

輸 入 額
數量 價 額

大正10	—	31,500圓	—	—
11	—	—	5,748	101,243
12	—	—	1,759	18,697
13	—	—	1,764	20,565
14	—	—	—	—
昭和 1	—	—	—	356,068
2	—	—	—	254,673
3	—	666,435	—	283,388
4	—	681,386	—	313,035
5	—	707,129	—	274,704

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	267千圓
佛 蘭 西	—	10
獨 逸	—	4
北 米	—	1

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	102,887圓
大 阪	—	529,523
京 都	—	34,025

◎外國競争者

- 陸屋商店 (東京)
- 杉浦レリス商店 (〃)
- 伊藤レリス商店 (〃)
- 山口レリス商店 (大阪)
- 國方新吉商店 (〃)
- 吉崎商店 (〃)
- 岩井商店 (京都)

◎輸入の主要原因

普通品は國産品を以て需要に應じ得るも、高級品は外國製に比して概して粗悪なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は晒方法その他に於て未だ外國品に及ばず、特殊デザインのものは著しく劣等である。

◎輸入防止の主要處置

優秀機械の使用設備改善等に依つて國産振興の策が最急務である。

一九二、刺繡布

刺繡布は絹布又は綿布等の素地に金糸銀糸或は絹糸、毛糸等を以て刺繡を施せるもの、總稱にして、檯布窓掛地、室内裝飾用が主たる用途である。風景織又は寫真織と稱し、素地の織上げと同時に繪緯を以て山水風景等を刺繡式に現はしたるものも亦本品の一種に屬す。

◎輸入税率

價額に對する四〇%

◎主要生産者

細田工場 (京都)
鳥光工場 (東京)
縫岩工場 ()

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
西村商店 ()
睦屋商店 ()
合資會社長澤商店 ()

◎外國競争者

佛國産品、英國産品及び伊太利産品等にして佛國産品は高級品の生産國にして世界的に名聲を博し、往時

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	196,415圓	—	—圓
11	—	99,267	—	—
12	—	96,533	—	—
13	—	139,348	—	3,936,816
14	—	117,613	—	3,484,356
昭和1	—	105,830	—	—
2	—	158,497	—	1,451,600
3	—	140,420	—	1,912,269
4	—	142,187	—	1,671,961
5	—	151,002	—	825,602

(其他を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
神奈川	—	44,758圓
愛知	—	1,700
滋賀	—	35,989
京都	—	32,423
大阪	—	25,550

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	—	8千圓
關東州	—	35
英吉利	—	432
佛蘭西	—	92
獨逸	—	469
瑞西	—	247
北米	—	615
濠洲刺利	—	2

◎輸入の主要原因

は本邦への輸出も相當盛大であつたが、現今に於ては國産品の擡頭の爲め輸入額減少し、激烈なる競争は殆んど行はれない。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品には頗る精巧優雅なるものがあるが、價格に於て外國品と對抗し得ざるため、布地としての麻及木綿の織機品、或は絹製薄地物の如きは依然輸入に俟たざるを得ない。加ふるに刺繡糸の染色等に於ては猶ほ外國品に及ばざる點が尠くない。

◎輸入防止の主要處置

細糸絹織物業の發達を促し、刺繡糸の染色方法を研究し、以て國産の増加を圖ることが急務である。

一九三、ブックバインダース・クロース

ブックバインダース・クロースは通常單にクロスと稱せられ、書籍及帳簿等の表紙に用ひられる滑澤硬質の染色綿布にして、主として金巾

年次	價額
大正10	443,064圓
11	863,560
12	715,884
13	1,052,761
14	630,481
昭和1	539,437
2	434,486
3	420,002
4	335,547
5	114,944

昭和三年)

價額
328千圓
87
2

歴倒的勢力を有し、米、獨産品は勿論國産品も常に同社製品に壓迫されつゝある。

縫岩工場

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 西村商店 ()
- 睦屋商店 ()
- 合資會社長澤商店 ()

◎外國競争者

佛國産品、英國産品及び伊太利産品等にして佛國産品は高級品の生産國にして世界的に名聲を博し、往時

國 産 額
數量 價 額

大正10	—	196,415
11	—	99,267
12	—	96,533
13	—	139,348
14	—	117,613
昭和1	—	105,830
2	—	158,497
3	—	140,420
4	—	142,187
5	—	151,002

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
神奈川	—	44,758圓
愛知	—	1,700
滋賀	—	35,989
京都	—	32,423
大阪	—	25,550

◎輸入防止の主要處置
細糸絹織物業の發達を促し、刺繡糸の染色方法を研究し、以て國産の増加を圖ることが急務である。

一九三三、ブックバインダース・クロース

ブックバインダース・クロースは通常單にクロースと稱せられ、書籍及帳簿等の表紙に用ひられる滑澤硬質の染色綿布にして、主として巾を原料とし之を各種の色に染上げ厚く糊を施し、鐫刻せるローラーを用ひて種々の模様を現はす。大きさは普通幅三六吋乃至三九吋、一卷の長さ三六碼乃至四〇碼である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三四圓

◎主要生産者

- 日本クロス工業株式會社(東京)
- 東洋クロス工業株式會社(京都)

◎主要輸入者

- 株式會社岩井商店 (大阪)
- ベリツク商會 (横濱)

◎外國競争者

- ウキンター・ポットム・ブツククロ
- ース・コンパニー (英國)

此の外獨逸産品米國産品等も輸入されるが、ウキンター會社製品の輸入額は本品總額の六割以上を占め、

國 産 額 輸 入 額
數量 價 額 數量 價 額

大正10	—本	—圓	979,195方碼	443,064圓
11	—	—	2,321,234	863,560
12	—	—	1,842,729	715,884
13	96,540	806,849	2,298,529	1,052,761
14	—	789,295	1,187,607	630,481
昭和1	—	856,354	1,263,034	539,437
2	—	923,216	1,152,175	434,486
3	—	896,357	1,119,174	420,002
4	—	923,245	891,645	335,547
5	—	1,058,238	357,060	114,944

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東京	—	235,397圓
京都	—	215,293
大阪	—	168,226

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英吉利	890千方碼	328千圓
獨逸	217	87
北米	12	2

◎輸入の主要原因
本邦に於けるクロース工業は逐年發達しつつあるが、未だ國內の需要を充すに至らず、且つ概ね生産設備及規模に於て外國有力會社に及ばざるため、製品の種類少く、技術上に於ても亦外國品に及ばざる點尠ならず、加ふるに原料その他の關係上外國品よりも高價にして、需要者の希望に副はざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

製品の種類少く、且つ絶えず嶄新なるものを製造することが困難なる事、價格高きこと、耐久力に乏しきこと等は國産品の缺點にして、未だ輸入品に比して劣等である。

◎輸入防止の主要處置

現在以上に關稅を引上げることが却つて弊害あるを以て、専ら國産額の増加、及び品質の向上に努力すべきである。

一九四、擬革布 (レザークロース)

擬革布は布帛の表面にワニスを塗布し革に擬したるものにして、革布擬革、レザー等と稱せられ、椅子張座席張、鼻緒その他革の代用として各方面に使用さる。その種類頗る多く、色相模様等は區々であるが、普通一卷の長さ一二碼、幅三六吋乃至五〇吋にして、輸入品の包装は一卷毎に紙に包みたるもの二〇巻を以て一箱とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四四圓

◎主要生産者

- 日本擬革株式會社 (東京)
- 大日本レザー株式會社 (〃)
- 富士革布株式會社 (〃)
- 東工業株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 株式會社守谷商店 (〃)
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 尾張屋商店 (〃)
- 吉田鹿之助商店 (〃)
- 加藤政次郎商店 (〃)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	—斤	—圓
11	—	681,757	—	—
12	—	564,801	68,500	134,000
13	—	1,833,256	176,000	336,000
14	—	1,429,494	—	—
昭和1	—	3,958,761	209,343	380,857
2	—	4,314,303	177,462	318,002
3	—	4,133,519	206,263	387,539
4	—	4,221,483	155,864	315,498
5	—	4,658,240	87,212	160,820

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,804,092圓
大阪	—	313,431
兵庫	—	2,015,996

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	9擔	1千圓
英吉利	536	87
獨逸	82	14
北米	1,426	283
加奈陀	10	1

◎外國競争者

英國産品、獨逸産品及米國産品等にして、近時輸入額少きため有力競争者と目すべきものなし。

◎輸入の主要原因

本品の國産額は略國內需要を充すに足るが、支那、印度その他各國へ生産額の一割以上を輸出するため供給不足を告ぐる事、及び高級品は尙ほ外國品に及ばざる事等が主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は外觀美麗にして而も耐久力に富むため、自動車内張、上等椅子張等に適するも、國産品は外觀上輸入品に比して著しく遜色あるを以て、贅澤向きに不適である。但し品質及び實用品としての効果に於ては輸入品に比し何等の遜色を認められない。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加及品質の向上を圖れば、輸入は漸次減少するであらう

一九五、リノリウム及油布

リノリウムは黄麻布に酸化亞麻子油、コルク粉その他の配合物を壓着したるものにして、屋内敷物用として廣く用ひらる。大きさは一定せざ

額
1,244,416圓
793,812
554,381
551,385
311,811
258,440
206,912
290,632
300,438
182,163

昭和三年)	價額
—	174千圓
—	15
—	36
—	63

◎外國競争者

英國産品、米國産品、及び獨逸産品等にして、就中英國産品最も多く

日本擬革株式會社 (東京)
 大日本レザー株式會社 (シ)
 富士革布株式會社 (シ)
 東工業株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 株式會社守谷商店 (シ)
 株式會社岩井商店 (大阪)
 尾張屋商店 (シ)
 吉田鹿之助商店 (シ)
 加藤政次郎商店 (シ)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	—圓
11	—	681,757
12	—	564,801
13	—	1,833,256
14	—	1,429,494
昭和1	—	3,958,761
2	—	4,314,303
3	—	4,133,519
4	—	4,221,483
5	—	4,658,240

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東京	—	1,804,092圓
大阪	—	313,431
兵庫	—	2,015,996

輸入品は外觀美麗にして而も耐久力に富むため、自動車内張、上等椅子張等に適するも、國産品は外觀上輸入品に比して著しく遜色あるを以て、贅澤向きに不適である。但し品質及び實用品としての効果に於ては輸入品に比し何等の遜色を認められない。

◎輸入防止の主要處置
 内地生産の増加及品質の向上を圖れば、輸入は漸次減少するであらう

一九五、リノリウム及油布

リノリウムは黄麻布に酸化亞麻子油、コルク粉その他の配合物を壓着したるものにして、屋内敷物用として廣く用ひらる。大きさは一定せざるも、普通幅七十二吋内外、一卷の長さ二〇碼乃至三六碼である。

油布は黄麻製帆布及び之に類似せる厚地布にペイントを塗布し、表面に種々の模様を捺捺したるものにして、普通一卷の長さ二五碼、幅六碼乃至八碼である。用途はリノリウムと略同様にして、室内及階段の床敷用等に用ひらる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓四〇錢

◎主要生産者

東洋リノリウム株式會社(兵庫)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 株式會社守谷商店 (シ)
 陸屋商店 (大阪)
 尾張屋商店 (シ)
 吉田鹿之助商店 (シ)
 米國貿易株式會社 (東京)

	國 産 額			輸 入 額	
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	76,225碼	31,231圓	2,328,274斤	1,244,416圓
11	220,742	515,871	1,583,037	793,812
12	289,856	850,071	1,239,736	554,381
13	450,565	1,390,538	1,165,200	551,385
14	596,182	1,434,005	582,584	311,811
昭和1	—	1,963,228	109,796	258,440
2	—	1,642,241	500,895	206,912
3	—	3,459,280	706,681	290,632
4	—	2,534,870	734,425	300,438
5	—	2,732,189	472,499	182,163

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	3,830擔	174千圓
獨 逸	409	15
和 蘭	1,070	36
北 米	1,758	63

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	6,579圓
東京	—	1,890,958
神奈川	—	235,697
福 井	—	180
大阪	—	1,293,470
岡山	—	34,723

◎外國競争者
 英國産品、米國産品、及び獨逸産品等にして、就中英國産品最も多く英國産品中に於てはネーマン會社製品が最も有力である。

◎輸入の主要原因
 國産リノリウムは主としてプレインリノリウムにして、プリンテッド及びインレイドの生産は頗る徴々たるものである。故に輸入品は大部分プリンテッド及びインレイドにして専ら國內の供給不足に基く。油布も亦主として國産の不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣
 プレインリノリウムに於ては輸入品に比して殆んど遜色を認めないが其の他のリノリウム及び油布に於ては品質上未だ輸入品に及ばざる點が少くない。

◎輸入防止の主要處置
 製造技術の向上、及び生産の増加を圖り、且つ生産費の低下に努めることが急務である。

一九六、金剛砂布

金剛砂布は金剛砂、人造金剛砂、燧石即ち石英又は硝子等の粉末を膠液にして綿布の表面に固着せしめたるものにして、一名鏢布とも稱し鐵砲その他各種刃物類の研磨用、或は鐵物の仕上用等に用ひらる。
 輸入品の包装は普通半連を麻糸にて括り、五〇束即ち五連宛を以て一箱とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——七圓八五錢

◎主要生産者

松華工業社 (東京)
 下村商店 (シ)

◎主要輸入者

米國貿易株式會社 (東京)
 大澤商店 (シ)
 吉田鹿之助商店 (大阪)

◎外國競争者

デビス會社 (米國)
 カーボランダム會社 (シ)
 此の外英國品多く輸入さるゝも有力競争者と見做すべき者少し。

	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	135,496ポンド	60,973圓	339,492斤	266,248圓
11	240,218	37,888	493,784	372,022
12	733,186	146,656	267,191	235,492
13	264,937	79,481	529,546	436,828
14	667,834	200,350	320,410	334,648
昭和1	—	—	443,860	370,164
2	—	11,070	407,828	310,511
3	—	—	426,930	333,317
4	—	—	405,664	330,345
5	—	—	366,037	271,139

(金剛砂の差額を参考として掲ぐ)

主要府縣別生産額(昭和二年)

縣名	數量	價額
東京	—	5,056圓

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	3,954擔	285千圓
獨逸	56	4
北米	259	43

◎輸入の主要原因

本品の生命とする所は原料並に糊付方法に在る。然るに國産金剛砂布は原料の精選に意を用ひず、加ふるに糊付方法拙劣なるため、使用に際し金剛砂が布面より剝落し易く、需要者間に頗る不評にして大量使用する工場に於ては殆んど輸入品を使用し、國産品を顧みざる傾向がある。是れ本品輸入の主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

前述の如く國産品は輸入品に比して品質頗る劣等であるのみならず、原料その他の關係上國産品は輸入品に比して常に價格不廉である。

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入防止には先づ輸入品に匹敵すべき優良品を、輸入品と同等以下の價格に於て生産することが先決問題である。故に政府に於ては本品の原料たる金剛砂及人造金剛砂等の供給を圓滑ならしめ、又當業者は糊付方法に改善を加へること等が肝要である。

一九七、防水布

防水布には單製と複製の二種がある。何れも絹布、毛布、綿布その他の布帛に護膜溶液を塗布して雨水の浸透を防ぎたるものにして、又複製

額	價額
38,700圓	39,000
63,000	65,000
51,000	—

◎主要輸入者

睦屋商店 (東京)

松華工業社 (東京)
下村商店 (〃)

◎主要輸入者
米國貿易株式會社 (東京)
大澤商店 (〃)
吉田鹿之助商店 (大阪)

◎外國競爭者
デビス會社 (米國)
カーボランダム會社 (〃)
此の外英國品多く輸入さるゝも有力競爭者と見做すべき者少し。

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	135,496ポンド	8,700斤	38,700圓
11	240,218	16,600	39,000
12	733,186	—	—
13	264,937	28,000	63,000
14	667,834	—	—
昭和1	—	31,000	65,000
2	—	25,000	51,000
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—

(金剛砂の差額を参考として掲ぐ)

主要府縣別生産額(昭和二年)

縣名	數量	價額
東京	—	5,056圓

一九七、防水布

防水布には單製と複製の二種がある。何れも絹布、毛布、綿布その他の布帛に護謨溶液を塗布して雨水の浸透を防ぎたるものにして、又複製には二枚の布帛の間に護謨の薄きものを挿入せるものもある。その用途は種々あるが、最も需要多きは雨衣である。輸入品は大部分布地のまゝ輸入され、一反毎に紙包みとしたるもの五反乃至一〇反を原紙に包み、更に箱入とす。

◎輸入税率

絹製又は絹入の物は價格の四〇%
其他は一〇〇斤に付五八圓二〇錢

◎主要生産者

藤倉工業株式會社 (東京)
日本工業株式會社 (〃)
東京工業株式會社 (〃)
大和ゴム合資會社 (〃)
大日本レザー株式會社 (〃)
日本擬革株式會社 (〃)
大日本紡績株式會社 (大阪)
東レザー株式會社 (〃)
アイデアルレインコート (東京)
有佐榮之助商店 (東京)

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	3,231,288圓	8,700斤	38,700圓
11	1,527,545	16,600	39,000
12	1,978,729	—	—
13	4,642,203	28,000	63,000
14	3,501,323	—	—
昭和1	1,963,228	31,000	65,000
2	1,642,241	25,000	51,000
3	3,459,280	—	—
4	3,487,255	—	—
5	3,597,707	—	—

(油布を含む) (輸入額僅少)

主要國別輸入額(昭和二年)

國名	數量	價額
英吉利	12,000斤	32,000圓
北米	11,000	30,000

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	6,579圓
東京	—	1,890,958
神奈川	—	233,370
大阪	—	1,293,470
岡山	—	34,723

◎輸入防止の主要處置
本品の輸入防止には先づ輸入品に匹敵すべき優良品を、輸入品と同等以下の價格に於て生産することが先決問題である。故に政府に於ては本品の原料たる金剛砂及人造金剛砂等の供給を圓滑ならしめ、又當業者は糊付方法に改善を加へること等が肝要である。

◎主要輸入者

陸屋商店 (東京)
兼松商店 (〃)
堤商會 (〃)
三鬼商店 (大阪)
宮本商店 (〃)

◎外國競爭者

デギン會社 (英國)
デュボント會社 (〃)
ユー・エス會社 (米國)
カール會社 (〃)

◎輸入の主要原因

自動車用のカーテン生地その他特殊品の需要あるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

高級品は柔軟性、耐久力等に於て幾分輸入品に劣るも、概して優劣なく、價格は米國品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

輸入頗る僅少なるを以て、特に防止策を講ずる必要なし。

一九八、護謨布及護謨紐

護謨布は綿布、絹布、絹綿布等に
ゴム線を織込みたるものにして、靴
の両側などに用ひらる。

護謨紐はゴム線を織込み又は組み
込みたる紐にして、綿糸製、絹糸製
絹綿糸製、毛綿糸製等の各種類があ
る。平紐と丸紐の二種ありて、平紐
廣幅物はズボン釣、ガーター等に用
ひられ、小幅物及圓紐は身邊附屬品
その他凡ゆる方面に用途頗る廣汎で
ある。

◎輸入税率

幅八種以下の絹入は一〇〇斤に付
一四八圓。同絹入以外は一八八圓
其他價格の二〇%乃至四〇% (詳
細規定省略)

◎主要生産者

- 西田製紐工場 (東京)
- 日本製紐株式會社 (〃)
- 江木製紐株式會社 (大阪)
- 岡製紐工場 (〃)
- 姫路製紐株式會社 (姫路)

◎主要輸入者

谷廣吉商店 (東京)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	22,970斤	153,233圓
11	—	—	19,142	93,565
12	—	489,983	—	—
13	—	2,897,719	26,769	153,654
14	—	957,965	—	—
昭和1	—	1,631,095	—	—
2	—	2,161,114	—	—
3	—	2,152,076	—	—
4	—	2,758,321	—	—
5	—	3,017,596	—	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	2,028,140圓
大阪	—	123,936

三枝商店 (東京)

◎外國競争者

主として英國産品及び米國産品で
あるが、近來國産増加のため輸入殆
んどなく、従つて競争者と目すべき
ものはない。

◎輸入の主要原因

普通品は國産品を以て足るのみな
らず、高級品も現今に於ては殆んど
輸入の必要を認めないが、因襲的に

外國品を崇拜する者今尙ほ絶えざる
ため、特殊品に依つて時々少額なが
ら輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

本品は製造に特殊の技術を要せざ
るため、國産品は輸入品に比して技
術的に何等の遜色もないが、主とし
て安價の製造に意を注ぐため輸入品
の如き高價品少く、従つて彈力及強
力に乏しく且つ耐久力に缺け、國産
布は不良なりとの評判が専らである
然れども是れは生産者が高級品の製
造を採算上喜ばず、有利なる安價低
廉品に専念するが爲めにして、輸入
品に匹敵すべき高級品の製出は必ず
しも困難ではない。

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては輸入額僅少なるを以
て特に輸入防止策を講ずる必要はな
いが、進んで東洋市場に於て歐米品
と競争し、又今後絶對に歐米品の輸
入なからしむる爲めには、當業者が
從來の低級品本位の方針を改め、大
いに品質の向上を圖り、生産の増加
に努力することが肝要である。

一九九、毛布及膝掛

毛布は經糸に綿糸、緯糸に紡毛糸
又は毛綿混紡糸を用ひ、或は經緯共
に紡毛糸を用ひて製織したるもの
にして、組織には平織、綾織のもの多

額	價額
277,194圓	
585,724	
1,086,498	
1,198,009	
773,907	
446,063	
331,331	
347,757	
311,037	
156,782	

昭和三年	價額
11千圓	
245	
63	
16	
6	

◎主要輸入者

三越呉服店 (東京)

谷商店 (〃)

一四八圓同輸入以外は一〇一圓
其他價格の二〇%乃至四〇% (詳細規定省略)

◎主要生産者

- 西田製紐工場 (東京)
- 日本製紐株式會社 (〃)
- 江木製紐株式會社 (大阪)
- 岡製紐工場 (〃)
- 姫路製紐株式會社 (姫路)

◎主要輸入者

- 谷廣吉商店 (東京)

一九九、毛布及膝掛

毛布は經糸に綿糸、緯糸に紡毛糸又は毛綿混紡糸を用ひ、或は經緯共に紡毛糸を用ひて製織したるものにして、組織には平織、綾織のもの多く、厚地物には經一重、緯二重の組織となせるもの、或は經緯共二重組織のもの等がある。

膝掛は主として旅行用に供せられ冬季用は厚地毛布プラツシュ織等を用ひ、夏季用は駱駝毛織、セルデス等の薄地毛織又は絹織を以て製せられ、笹縁は縁縫を施す。

◎輸入税率

毛布は一〇〇斤に付四九圓二〇錢
絹製及絹入旅氈は一〇〇斤に付二
三二圓其他は同一三九圓。

◎主要生産者

- 日本毛織株式會社 (神戸)
- 東京毛織株式會社 (東京)
- 後藤毛織株式會社 (〃)
- 陸軍省千住製絨所 (〃)
- 大阪毛織株式會社 (大阪)
- 千代田毛織株式會社 (〃)
- 和泉綿布株式會社 (〃)
- 合資會社村瀬織布工場 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	2,499,228枚	5,759,143圓	60,538擔	277,194圓
11	2,983,903	6,430,362	170,488	585,724
12	3,043,083	7,094,617	477,266	1,086,498
13	3,510,044	9,103,845	500,718	1,198,009
14	2,989,598	19,159,419	132,897	773,907
昭和1	4,339,255	6,628,538	102,364	446,063
2	4,016,862	7,489,314	70,788	331,331
3	5,146,407	7,761,132	57,159	347,757
4	5,342,286	7,889,468	41,283	311,037
5	5,778,337	7,924,813	29,079	156,782

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	—
11	—	—
12	—	489,983
13	—	2,897,719
14	—	957,965
昭和1	—	1,631,095
2	—	2,161,114
3	—	2,152,076
4	—	2,758,321
5	—	3,017,596

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
千 葉	16,370枚	280,346圓
東 京	12,505	503,648
愛 知	1,545,381	839,915
大 阪	3,427,825	5,113,496
兵 庫	111,710	754,397

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
關 東 州	43擔	11千圓
英 吉 利	363	245
獨 逸	118	63
和 蘭	15	16
北 米	19	6

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	2,028,140圓
大 阪	—	123,936

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては輸入額僅少なるを以て特に輸入防止策を講ずる必要はないが、進んで東洋市場に於て歐米品と競争し、又今後絶対に歐米品の輸入なからしむる爲めには、當業者が従來の低級品本位の方針を改め、大いに品質の向上を圖り、生産の増加に努力することが肝要である。

◎主要輸入者

- 三越呉服店 (東京)
- 谷商店 (〃)
- 丸善株式會社 (〃)
- 株式會社土井商店 (〃)
- 高千穂商會 (〃)

◎外國競争者

- エーガー會社 (英國)
- ウエールス・マーケットソン(〃)
- ウイリアム・ホーリンス會社(〃)
- アイアール・モレー會社(〃)

◎輸入の主要原因

一部の奢侈的嗜好に依り、英國製高級品が歓迎される故である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は邦人の嗜好に適せしむるため肉厚く軟柔に製織し、外國品は奢侈向に製織せるも、概して外國品は品質、染色等に於て優つてゐる。

◎輸入防止の主要處置

舶來品崇拜觀念を打破し國産品愛用を奨励することが急務である。

二〇〇、地氈

地氈は専ら室内階段等の床敷に用ひらる。その材料及び製法に依り絨氈、麻氈、フェルト氈の三種に大別され、絨氈には更にパイル織、平織、添毛織等の種類がある。輸入品の主たるものはタペストリ氈、ブラッセル氈等にして英國産品大部分を占め又日本風客室用としては支那毛氈が輸入さる。

◎輸入税率

パイル織は一〇〇斤に付(甲)三六圓一〇銭、(乙)二一圓四〇銭、(丙)四四圓五〇銭。

其他の毛製は同二七圓二〇銭。
フェルト製は同一七圓一〇銭。
大麻製及黄麻製は價額の二五%
其他は價額の三〇%

◎主要生産者

住江織物株式会社 (大阪)
阪野佐吉商店 ()
小谷芳太郎商店 ()
吉田鹿之助商店 ()
伊丹由多加織製造所 (兵庫)
日本敷物株式会社 ()

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	— 碼	— 圓	—	613,061圓
11	226,673	139,164	—	801,659
12	224,876	1,935,822	—	421,056
13	—	—	—	751,579
14	—	—	—	159,493
昭和 1	120,620	585,259	—	175,055
2	—	156,649	—	172,243
3	2,733,704	8,823,146	—	225,361
4	2,185,077	7,567,379	—	219,914
5	2,297,186	7,996,514	—	137,263

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
大 阪	95,155碼	493,504圓
兵 庫	2,638,549	8,429,642

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	—	39千圓
英 吉 利	—	175
佛 蘭 西	—	3
獨 逸	—	2
北 米	—	1

◎主要輸入者

三越呉服店 (東京)
高島屋呉服店 (京都)
陸屋商店 (東京)
今井元吉郎商店 ()
仲井利助商店 ()
兼阪哲商店 ()
吉田鹿之助商店 (大阪)

◎外國競争者

テイエフ・ファース会社 (英國)
ジョン・クロスレー会社 ()
クツク商會 ()

◎輸入の主要原因

アクスミンスター式を始めとし、英國製品に對する國産品少きことが主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品及下等品は大差なく、高級品及特殊デザイン物は輸入品優る。

◎輸入防止の主要處置

優秀織機を使用し、高級品の増産に努めることが最も急務である。

二〇一、テーブルクロス

テーブルクロスには綿製、麻製毛製、絹製、及び是等の交織製等その種類頗る多く、裝飾用としては絹布製、純毛ビロード製、フェルト製

額 價 額

—圓
77,417
47,346
100,270
—
254,673
283,388
313,035
274,704

價 額

267千圓
10
4
1

此の外綿布及糸拔細工及レース製のものには横濱地方、裝飾用ものは京都、名古屋及東京方面に生産者頗る多數である。

フェルト製は同一七圓一〇錢。
大麻製及黄麻製は價額の二五%
其他は價額の三〇%

◎主要生産者

- 住江織物株式会社 (大阪)
- 阪野佐吉商店 (〃)
- 小谷芳太郎商店 (〃)
- 吉田鹿之助商店 (〃)
- 伊丹由多加織製造所 (兵庫)
- 日本敷物株式会社 (〃)

二〇一、テーブルクロス

テーブルクロスには綿製、麻製、毛製、絹製、及び是等の交織製等その種類頗る多く、装飾用としては絹布製、純毛ビロード製、フェルト製及び麻製が主として用ひられ、四邊に縁飾を附し或は金銀糸を織込み、刺繡を施せるもの等がある。

◎輸入税率

綿製、綿大麻製及綿黄麻製は一〇〇斤に付一四二圓。
亞麻製及亞麻綿製は同八〇圓。
毛製及毛綿製は同一九二圓。
絹製、絹入、金屬糸又は刺繡入のものは價額の五〇%。
其他は價額の三〇%。

◎主要生産者

- 帝國製麻株式会社 (東京)
- 合資會社愛工社 (横濱)
- 藤田精三商店 (〃)
- 合資會社横濱織物加工共同工場 (〃)
- 羽生直助 (〃)
- 小島正次 (〃)
- 荒井政吉 (〃)
- 共信社 (〃)

	國 産 額			輸 入 額	
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	—打	—圓	—斤	—圓	
11	110,000	1,520,000	13,628	77,417	
12	—	—	10,164	47,346	
13	—	—	20,051	100,270	
14	—	—	—	—	
昭和1	—	975,000	—	—	
2	—	889,000	—	254,673	
3	—	756,000	—	283,388	
4	—	932,000	—	313,035	
5	—	916,000	—	274,704	

(概數にして、正確なる統計不詳)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—碼	—
11	226,673	139,160
12	224,876	1,935,820
13	—	—
14	—	—
昭和1	120,620	585,250
2	—	156,640
3	2,733,704	8,823,140
4	2,185,077	7,567,370
5	2,297,186	7,996,510

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	155,000圓
神奈川	—	350,000
大 阪	—	150,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	267千圓
佛 蘭 西	—	10
獨 逸	—	4
北 米	—	1

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
大 阪	95,155碼	493,504圓
兵 庫	2,638,549	8,429,642

輸入の主要原因
アクスミンスター式を始めとし、英國製品に對する國産品少きことが主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品及下等品は大差なく、高級品及特殊デザイン物は輸入品優る。

◎輸入防止の主要處置

優秀織機を使用し、高級品の増産に努めることが最も急務である。

◎主要輸入者

輸入額少く、本品専門の輸入業者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

英國産品、米國産品、佛國産品及獨逸産品等にして、佛國産品は主として高級品である。

◎輸入の主要原因

本品の國産額は優に内地需要を充し得るのみならず、海外に輸出されつゝある故に普通品は殆んど輸入されないが、特殊なるものは一部嗜好者の需要に因り僅少輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

凡ゆる點に於て殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

特殊の需要に依つて僅少の輸入を見るに過ぎざるを以て、特に防止策を講ずるに及ばない。

二〇二、トリムミシング

トリムミシングは衣服及衣服附屬品家具等に附する裝飾品にして、綿糸毛糸、絹糸、人絹、金銀糸等を組み又は編み、或は織りて製し、更に縫り細工を爲し或は刺繡を施し、或は金屬、貴石、眞珠、珊瑚、象牙等を配したるもの等がある。其種類頗る多く、リボン、レース、小縁、平紐丸紐、組紐等の類は本項に屬す。

◎輸入税率

リボン、レース及紐類（絹製、貴金屬、貴石、半貴石、象牙等を使用せるもの）は價額の五〇%。其他は價額の三〇%。四〇%及び五〇%（詳細區分規定省略す）

◎主要生産者

- 越前屋多崎商店 (東京)
- 日本製紐株式會社 (シ)
- 兼松哲商店 (シ)
- 近藤商店 (京都)
- 株式會社出口レース店 (大阪)
- 姫路製紐株式會社 (姫路)
- ◎主要輸入者 (東京)
- 越前屋多崎商店 (東京)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	—	600,856圓
11	—	—	—	875,905
12	—	398,811	—	871,941
13	—	871,166	—	1,272,172
14	—	841,158	—	850,900
昭和1	—	576,819	—	628,617
2	—	486,920	—	415,462
3	—	699,252	—	378,068
4	—	742,165	—	199,188
5	—	685,214	—	68,809

(リボン及絹テープの産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	59,559圓
神奈川	—	54,000
石川	—	82,511
福井	—	96,634
静岡	—	126,200
京都	—	250,448

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	—	14千圓
佛蘭西	—	5
獨逸	—	3
瑞西	—	350

◎外國競争者
兼松哲商店 (東京)
株式會社出口レース店 (大阪)
獨逸産品及米國産品等。

◎輸入の主要原因

本品の國內生産額は略國內需要を充し得る程度なるに拘らず、價格安きものは海外に輸出されるため、國內に於ては供給不足となる。是れ本品輸入の一因であるが、同時に國産品は殆んど低級品に限られ、高級品は未だ輸入品に對抗し得ざることも亦輸入の一因である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は製造の規模概ね狭少にして製品の統一を缺き、且つ技術に於て輸入品に及ばざる點が少くない。加ふるに大量生産に依る輸入品に比して價格高く、高率の關稅保護に依りて辛うじて對抗し得る状態である。

◎輸入防止の主要處置

生産設備の改善及び技術の向上を圖り優良品製出に努力する事等。

二〇三、布製ホース及機械用ベルチング

布製ホースは太き綿糸又は麻を原料とし、縫目なしに囊狀に製織したるものにして、内面にゴムを引きたるものと單に製織の儘のものがある。

額	價額
246,691圓	
224,811	
140,065	
207,927	
213,385	
206,904	
148,651	
102,233	
98,724	
32,394	

昭和三年	價額
76千圓	
3	
10	
10	
1	

◎主要輸入者

本品専門の輸入業者として特に掲ぐべきものなし。

五〇% (詳細区分規定省略)

◎主要生産者

- 越前屋多崎商店 (東京)
- 日本製紐株式會社 (〇)
- 兼松哲商店 (〇)
- 近藤商店 (京都)
- 株式會社出口レース店 (大阪)
- 姫路製紐株式會社 (姫路)

◎主要輸入者

- 越前屋多崎商店 (東京)

國産額
數量 價額

大正10	—	—
11	—	—
12	—	398,811
13	—	871,166
14	—	841,158
昭和1	—	576,819
2	—	486,920
3	—	699,252
4	—	742,165
5	—	685,214

(リボン及絹テープの産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	59,559圓
神奈川	—	54,000
石川	—	82,511
福井	—	96,634
静岡	—	126,200
京都	—	250,448

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は製造の規模概ね狭少にして製品の統一を缺き、且つ技術に於て輸入品に及ばざる點が少くない。加ふるに大量生産に依る輸入品に比して價格高く、高率の關稅保護に依て辛うじて對抗し得る状態である。

◎輸入防止の主要處置

生産設備の改善及び技術の向上を圖り優良品製出に努力する事等。

二〇三、布製ホース及機械用ベルチング

布製ホースは太き綿糸又は麻を原料とし、縫目なしに囊狀に製織したるものにして、内面にゴムを引きたるものと單に製織の儘のものがある。大なるものは主として防火用に供せられ、小なるものは園藝用その他に用ひらる。

布製機械帶は綿糸、亞麻糸等を原料とし製織したる厚地の帆布を數枚重ね、塗料を以て防水法を施し帶狀に製したるものにして、調車及滑車に架し動力の移轉或は機械の運轉に使用さる。

◎輸入稅率

綿製は一斤に付四七圓五〇錢
其他は價額に對する二〇%

◎主要生産者

- 帝國製麻株式會社 (東京)
- 大正製麻株式會社 (〇)
- 羽田調帶株式會社 (〇)
- 阪東式調帶合資會社 (神戸)
- (帝國製麻及大正製麻の兩社は主として麻製ホースを製造し、羽田調帶及阪東式調帶の兩社は綿糸製機械用ベルチングを主とす。)

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	—	91,479斤	246,691圓
11	4,444,310	101,688	224,811
12	5,961,884	61,760	140,065
13	6,056,431	87,878	207,927
14	8,505,937	69,733	213,385
昭和1	4,316,745	88,864	206,904
2	6,460,889	62,823	148,651
3	3,778,346	45,260	102,233
4	3,946,513	41,914	98,724
5	4,563,298	14,452	32,394

主要國別輸入額(昭和三年)

主要府縣別生産額(昭和三年)

主要府縣別生産額(昭和三年)			主要國別輸入額(昭和三年)		
縣名	數量	價額	國名	數量	價額
東京	—	459,320圓	英吉利	304擔	76千圓
神奈川	—	294,030	佛蘭西	19	3
京都	—	115,059	獨逸	45	10
大阪	—	1,211,329	北米	80	10
兵庫	—	1,507,516	加奈陀	3	1

◎主要輸入者

本品専門の輸入業者として特に掲ぐべきものなし。

◎外國競争者

英國産品、獨逸産品及米國産品等にして、往時相當激烈なる競争が演ぜられたが、近時輸入漸減の傾向に在るを以て、相互間及國産品に對する競争は殆んど行はれない。

◎輸入の主要原因

國産品少き過去に於ては各種類を通じて輸入されたが、現今に於ては普通品は殆んど國産品が使用され、特殊なるものが輸入されるに過ぎざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品の技術的進歩顯著にして、現今に於ては輸入品に比し毫も遜色を認められない。

◎輸入防止の主要處置

輸入漸減しつつあるを以て、特に防止策を講ずる必要なし。

二〇四、ガンニー囊

ガンニー囊は麻を以て製したるものにして、黄麻糸を用ひ縫目なしに囊織せるものと、黄麻布を一定の寸法に裁引り縫合せたるものとの二種がある。その大きさは一定せざるも輸入品は長さ二八吋幅一六吋、又は長さ四〇吋幅二八吋のものが大部分である。用途は穀類、種子、麴等の容水物或は輸 Outcome の囊等がその主たるものである。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二圓五五錢
(但し故物は無税)

◎主要生産者

大阪製麻株式会社 (大阪)
東洋麻糸紡績株式会社 (兵庫)
小泉製麻株式会社 (兵庫)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
浅野物産株式会社 (兵庫)
吉田長祥本店 (兵庫)
株式会社濱崎商店 (神戸)
合資会社氏家商店 (神戸)
和光商會 (兵庫)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—千枚	—千圓	8,377擔	158,027圓
11	1,623	1,144	30,707	614,470
12	1,448	1,147	35,343	828,153
13	—	—	36,443	961,124
14	—	—	26,330	887,626
昭和1	—	1,256	67,962	1,907,330
2	—	1,052	38,888	976,758
3	—	1,234	1,508,566	398,632
4	—	1,169	1,218,590	347,863
5	—	1,202	4,303,858	850,250

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
新潟	—	36,875圓
富山	—	28,812
福井	—	340,264
滋賀	—	147,418
大阪	—	256,699
奈良	—	103,966

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	2,549擔	66千圓
英領印度	12,470	330
獨逸	66	1

◎外國競争者

支那及關東州方面よりも輸入されるが、大部分は印度産品である。

◎輸入の主要原因

國産品不足の場合に於ける輸入も少くないが、主たる原因は價格關係に在る。即ち本品の如きは其用途頗る廣きを以て、價格安き場合は多量に輸入されて凡ゆる方面の需要に供せられるが、價格高き場合は綿製袋等を以て代用され、従つて輸入は僅少である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品の大部分を占める印度産品は、製造粗雑にして國産品よりも遙かに劣等である。支那及滿洲産品も亦國産品に及ばない。但し價格は普通外國品が低廉にして、國産品は常に價格に於て壓迫されつゝある。

◎輸入防止の主要處置

原料その他の關係上輸入品以下の生産費を以て生産する事困難なるを以て、輸入は止むを得ない。

二〇五、ワイシャツ及カラー・カフス

ワイシャツの原料生地にはその種類頗る多く、本邦に於ては明治三〇年頃まではキャラコ、更紗、マトラス、ネル等の輸入品が専ら使用され

額	價額
—圓	—
—	—
—	—
190,879	2,294
118,253	73,564
73,564	72,453
78,264	45,022

(昭和三年)

價額
25,875圓
5,678
15,436
8,387

◎主要輸入者

丸善株式会社 (東京)
三越呉服店 (兵庫)

松屋呉服店 (名古屋)

- ◎主要生産者
- 大阪製麻株式会社 (大阪)
 - 東洋麻糸紡績株式会社 (兵庫)
 - 小泉製麻株式会社 (兵庫)

- ◎主要輸入者
- 三井物産株式会社 (東京)
 - 浅野物産株式会社 (兵庫)
 - 吉田長祥本店 (兵庫)
 - 株式会社濱崎商店 (兵庫)
 - 合資會社氏家商店 (神戸)
 - 和光商會 (兵庫)

二〇五、ワイシャツ及カラー・カフス

ワイシャツの原料生地にはその種類頗る多く、本邦に於ては明治三〇年頃まではキャラコ、更紗、マトラス、ネル等の輸入品が専ら使用されたが、其後紡績業の發達に伴ひ國産綿縮、ネル、羽二重、金巾等が漸次使用され、更に歐洲大戰後富士絹、縞絹等が用ひられ、國産ワイシャツの製造は逐年隆盛に赴きつゝあるが、綿織薄手の高級品は今尚ほ輸入されつゝある。

國 産 額		輸 入 額	
數量	價 額	數量	價 額
大正10	1,592,063圓	— 斤	— 圓
11	1,961,088	—	—
12	2,959,235	—	—
13	2,261,613	17,217	190,879
14	1,102,746	234	2,294
昭和 1	4,200,656	—	118,253
2	4,319,995	—	73,564
3	5,026,815	—	72,453
4	5,255,453	—	78,264
5	4,956,324	—	45,022

- ◎主要生産者
- 大和屋シャツ合名會社 (横濱)
 - 蝶矢シャツ製造所 (東京)
 - 株式會社村上シャツ工場 (兵庫)
 - 河井富彌シャツ工場 (大阪)
 - キリンヤシャツ工場 (兵庫)
 - 辻市シャツ工場 (兵庫)
 - 港屋シャツ工場 (神戸)
 - 加藤商店 (東京)

國 産 額		輸 入 額	
數量	價 額	數量	價 額
大正10	1,592,063圓	— 斤	— 圓
11	1,961,088	—	—
12	2,959,235	—	—
13	2,261,613	17,217	190,879
14	1,102,746	234	2,294
昭和 1	4,200,656	—	118,253
2	4,319,995	—	73,564
3	5,026,815	—	72,453
4	5,255,453	—	78,264
5	4,956,324	—	45,022

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	310,354圓
神 戸	—	156,780
大 阪	—	3,457,036
兵 庫	—	366,320
愛 媛	—	178,635

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	25,875圓
佛 蘭 西	—	5,678
北 米	—	15,436
獨 逸	—	8,387

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
新 潟	—	36,875圓
富 山	—	28,812
福 井	—	340,264
滋 賀	—	147,418
大 阪	—	256,699
奈 良	—	103,966

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品の大部分を占める印度産品は、製造粗雑にして國産品よりも遙かに劣等である。支那及滿洲産品も亦國産品に及ばない。但し價格は普通外國品が低廉にして、國産品は常に價格に於て壓迫されつゝある。

◎輸入防止の主要處置

原料その他の關係上輸入品以下の生産費を以て生産する事困難なるを以て、輸入は止むを得ない。

◎主要輸入者

- 丸善株式会社 (東京)
 - 三越呉服店 (兵庫)
 - 松坂屋呉服店 (名古屋)
 - 松屋呉服店 (東京)
- 此の外大デパートメントストア及洋物問屋は概ね直輸入す。

◎外國競争者

冬物は英國品、春物及夏物は佛蘭西品が歓迎される傾向があるが、現今輸入僅少にして有力なる競争者と見做すべきものは殆んどない。

◎輸入の主要原因

外國品崇拜者の需要に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

概して優劣なく、縫工仕上等に於ては國産品が遙かに優秀である。且つ價格に於ても國産品は廉價である

◎輸入防止の主要處置

何等輸入の必要を認めざるを以て關稅を引上げ輸入を徹底的に防止すべし。

二〇六、肌衣

肌衣即ちシャツ、ズボン下、サルマタの類は、季節に感じて各種類あり又仕立方、原料等に依つて其種類頗る多し。各種類共に國産豊富にして國內需要を充すに足るのみならずメリヤス製の如きは盛んに海外諸國に輸出されつゝあるが、特殊品は猶ほ輸入が絶えない。

◎輸入税率

綿メリヤス製は一〇〇斤に付一六六圓毛又は毛綿メリヤス製は價額の二五%

絹及絹入メリヤス製は同五〇%。其他は二五乃至五〇%。

◎主要生産者

- 株式会社白金莫大小製造所(東京)
- 東京莫大小株式会社 (シ)
- 株式会社堀川メリヤス製造所(シ)
- 西松メリヤス株式会社 (大阪)
- 金貨メリヤス株式会社 (シ)
- 大徳合資會社 (シ)
- 寺阪メリヤス株式会社 (シ)
- 合名會社猪村商會 (名古屋)
- 大和屋シャツ合名會社 (横濱)
- 蝶矢シャツ製造所 (東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	2,280,222打	—圓	9,950打	684,137圓
11	1,962,105	17,468,153	17,628	837,473
12	2,515,823	16,930,968	18,028	633,290
13	2,528,927	17,862,933	35,453	1,539,517
14	3,091,227	23,125,318	15,663	591,588
昭和1	3,979,924	24,065,158	7,040	239,081
2	5,153,601	28,052,116	8,794	273,504
3	5,376,347	27,456,247	8,503	271,642
4	5,772,834	27,644,052	7,808	179,925
5	5,881,344	27,986,001	5,440	96,377

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	267,720打	2,250,007圓
愛知	431,284	3,358,114
三重	142,736	560,596
大阪	4,481,496	19,547,318
奈良	304,663	919,906
和歌山	89,670	625,375

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	4,983打	238千圓
佛蘭西	808	5
獨逸	280	2
瑞西	587	3
北米	1,387	20
加奈陀	76	0

◎主要輸入者

- 丸善株式会社 (東京)
- 山内合資會社 (シ)
- 谷廣吉商店 (シ)
- 近江屋貿易店 (横濱)

◎外國競争者

- アツシユフオード會社、トーマス
- エンドヒル會社、ワルセー會社、
- ジーガー會社、ウエルヒマルジス
- トソン會社 (以上英國)
- ゼラルト・フォーチャー商會(佛國)
- フィールプルーフ莫大小會社(米國)

◎輸入の主要原因

舶來品愛好家の需要に依るもの、及び特殊原料糸を用ひたる高級品にして國産なきもの等が輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

一部特殊高級品の外は輸入品に對して何等遜色なく且つ廉價である。

◎輸入防止の主要處置

特殊品が僅少額輸入されるに過ぎざるを以て、特に防止を要せず。

二〇七、手袋

手袋には儀禮用、舞踏用及び普通の防寒用等の外特殊品として電氣職工用ゴム製手袋、火工用アスベスト手袋、或は炊事手袋等種類頗る多し。

額

價額

- 圓
-
-
- 450,218
- 159,748
- 670,955
- 647,290
- 656,170
- 581,126
- 420,229

(含む)

昭和三年)

價額

- 291千圓
- 44
- 165
- 1
- 25
- 6
- 116

◎主要輸入者

- 丸善株式会社 (東京)
- 三枝代三郎商店 (シ)

1107、手袋

- ◎主要生産者
- 株式会社白金莫大小製造所(東京)
 - 東京莫大小株式会社 (シ)
 - 株式会社堀川メリヤス製造所(シ)
 - 西松メリヤス株式会社 (大阪)
 - 金貨メリヤス株式会社 (シ)
 - 大徳合資會社 (シ)
 - 寺阪メリヤス株式会社 (シ)
 - 合名會社猪村商會 (名古屋)
 - 大和屋シャツ合名會社 (横濱)
 - 蝶矢シャツ製造所 (東京)

	國産額	
	數量	價額
大正10	2,280,222打	—圓
11	1,962,105	17,468,153
12	2,515,823	16,930,968
13	2,528,927	17,862,933
14	3,091,227	23,125,318
昭和1	3,979,924	24,065,158
2	5,153,601	28,052,116
3	5,376,347	27,456,247
4	5,772,834	27,644,052
5	5,881,344	27,986,001

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	267,720打	2,250,007圓
愛知	431,284	3,358,114
三重	142,736	560,596
大阪	4,481,496	19,547,318
奈良	304,663	919,906
和歌山	89,670	625,375

◎輸入の主要原因

舶來品愛好家の需要に依るもの、及び特殊原料糸を用ひたる高級品にして國産なきもの等が輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

一部特殊高級品の外は輸入品に對して何等遜色なく且つ廉價である。

◎輸入防止の主要處置

特殊品が僅少額輸入されるに過ぎざるを以て、特に防止を要せず。

手袋には儀禮用、舞踏用及び普通の防寒用等の外特殊品として電氣職工用ゴム製手袋、火工用アスベスト手袋、或は炊事手袋等種類頗る多く儀禮用は仔山羊革、舞踏用は純白の絹又は仔山羊革を用ひ、普通の防寒用は革、ラシヤ、メリヤス等を以て製す。

◎輸入税率

革製は一〇〇斤に付四五〇圓。
絹製及箱入は同九四九圓。
綿、麻及毛製は同二二六圓。
ゴム製は價額の二五%
其他は同四〇%

◎主要生産者

- (革製手袋)
- 小西商會 (東京)
- 五二商會 (シ)
- 三枝代三郎商店 (シ)
- (メリヤス製手袋)
- 堀川商店 (東京)
- 山福商店 (大阪)
- 大由商社 (シ)
- 伊東メリヤス合資會社 (四日市)
- 内外編物株式會社 (名古屋)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—打	—圓	—斤	—圓
11	1,125,476	2,922,941	—	—
12	1,141,459	2,214,086	—	—
13	1,104,969	3,023,727	34,588	450,218
14	1,211,048	2,868,544	21,122	159,748
昭和1	1,877,724	3,516,780	—	670,955
2	1,847,130	3,472,539	—	647,290
3	1,964,304	3,696,924	—	656,170
4	2,953,315	4,864,630	—	581,126
5	3,015,388	4,795,366	—	420,229

(綿、毛、絹、其他の全産額) (靴下其他を含む)

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
北海道	400,253打	469,817圓
埼玉	118,033	157,676
東京	399,205	1,860,010
愛知	656,315	1,186,559
大阪	353,895	709,259
福岡	429,575	480,409

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	291千圓
佛輸西	—	44
獨逸	—	165
白耳義	—	1
伊太利	—	25
瑞西	—	6
北米	—	116

◎主要輸入者

- 丸善株式會社 (東京)
- 三枝代三郎商店 (シ)
- 谷廣吉商店 (シ)
- 岡本信次郎商店 (シ)
- 丹波商店 (神戸)
- エツチメリキ商會 (シ)
- 近文商店 (横濱)

◎外國競争者

革製は主として佛國産品。
綿製其他は獨逸及英國産品。

◎輸入の主要原因

防寒用の普通手袋は殆んど輸入なく、仔山羊皮製及絹製の高級品は外國品優秀なるため輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は型完全にして仕上げ良好であるが、価格は概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

メリヤス製以外の製品に就ては技術的研究を必要とし、又一般に生産設備の擴張が肝要である。

二〇八、靴 下

靴下には絹製又は絹入り、綿製、亞麻製、毛製、毛綿製、綿亞麻製等の各種あり、大部分メリヤス製であるが防寒用としては羅紗製、毛布製、綿布製等がある。本品の國內生産額は需要の増加に伴ひ逐年激増し現今に於ては殆んど外國品を驅逐し就中メリヤス製靴下の如きは巨額の輸出を見るに至つたが、而も特殊品は尙ほ僅小ながら輸入さる。

◎輸入税率

綿製、毛製及毛綿製は一〇〇斤に付二二三圓。

亞麻製及綿亞麻製は同一三八圓。絹製及絹入は價額の五〇%。其他各種は價額の四〇%。

◎主要生産者

内外編物株式會社 (名古屋)
鐘淵紡績株式會社山科工場(京都)
伊藤メリヤス合資會社 (四日市)
横濱メリヤス株式會社 (横濱)

◎主要輸入者

丸善株式會社 (東京)
谷廣吉商店 (シ)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	1,813,189打	5,086,071圓	—斤	—圓
11	1,156,736	3,413,856	—	—
12	1,493,168	3,645,375	—	—
13	2,391,800	6,531,366	16,621	399,784
14	2,311,723	7,053,882	25,197	249,566
昭和1	2,579,834	6,983,075	—	670,955
2	3,327,836	8,177,067	—	647,290
3	3,833,461	9,885,383	—	656,170
4	5,647,741	9,788,914	—	581,126
5	5,976,535	9,424,268	—	420,229

(手袋其他を含む)

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
埼玉	106,000打	346,500圓
東京	790,044	2,587,258
愛知	192,404	564,086
滋賀	135,205	394,034
京都	60,852	307,057
大阪	1,058,701	2,577,635
兵庫	1,153,347	2,186,823

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英吉利	—	291千圓
佛蘭西	—	44
獨逸	—	165
白耳義	—	1
伊太利	—	25
瑞西	—	6
北米	—	116

◎外國競争者

三枝代三郎商店 (東京)
近文商店 (横濱)
丹波商店 (神戸)
ジエーガー會社 (英國)
ウオルセー會社 (シ)
ウエルシユマルゲーシヨシ (シ)
アイ・アール・モレー會社 (シ)
インターウーブンホジエリ (米國)

◎輸入の主要原因

國産製造業者は主として安價品の製造を目的とし、又稀に高級品の製造者あるも羊毛其他の原料を輸入品に仰ぐため價格高く、加ふるに組織色合等輸入品に及ばざる爲めである

◎輸入品と國産品の優劣

普通品は大差なく、高級品は耐久力その他に於て稍々輸入品に劣る。

◎輸入防止の主要處置

本品の如きは何等の輸入の必要なく、輸入全然杜絶するも毫も差支なきを以て、輸入税を引上げ斷然輸入を禁止すべきである。

二〇九、肩掛及襟卷

肩掛は婦人用、襟卷は男子用として共に防寒は本來の目的であるが、肩掛には裝飾を兼ねたるもの多く又全然裝飾の目的に用ひらるゝものもある。輸入襟卷は絹布絹綿又は毛

額 價 額
—圓
—
391,359
72,081
—
—
—
—

(大正十四年)

價 額
41,678圓
19,527
8,068
42

宇治長三郎商店 (東京)
三枝代三郎商店 (シ)
岡本信太郎商店 (シ)
森本友七商店 (大阪)

亞麻製及綿亞麻製は同一三八圓、絹製及絹入は價額の五〇%、其他各種は價額の四〇%。

◎主要生産者

- 内外編物株式會社 (名古屋)
- 鐘淵紡績株式會社山科工場(京都)
- 伊藤メリヤス合資會社 (四日市)
- 横濱メリヤス株式會社 (横濱)

◎主要輸入者

- 丸善株式會社 (東京)
- 谷廣吉商店 (〆)

二〇九、肩掛及襟卷

肩掛は婦人用、襟卷は男子用として共に防寒は本來の目的であるが、肩掛には裝飾を兼ねたるもの多く又全然裝飾の目的に用ひらるゝものもある。輸入襟卷には絹布絹綿又は薄地毛布等を材料とせるマフラー及びコムフォルター、毛皮又は羽毛を用ひて帶狀に製したるポーア等の各種がある。

◎輸入税率

絹製は一〇〇斤に付八五三圓、絹入は同五三〇圓。

綿製、亞麻製、苧麻製、毛製及毛綿製は同一五九圓。

其他一〇〇斤に付四〇〇圓乃至七五〇圓、又は價額の四〇%乃至五〇% (詳細規定省略)

◎主要生産者

- 中西儀兵衛商店 (東京)
- 吉村孫三郎商店 (〆)
- 京都織物株式會社 (京都)
- 多羅尾商店 (大阪)

◎主要輸入者

- 谷廣吉商店 (東京)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—枚	—圓	—斤	—圓
11	1,767,931	5,802,864	—	—
12	2,276,121	8,605,052	—	—
13	2,259,147	9,550,693	25,243	391,359
14	1,832,963	7,424,239	5,209	72,081
昭和1	1,171,651	4,720,905	—	—
2	1,049,308	5,506,500	—	—
3	1,039,845	4,555,761	—	—
4	863,930	4,203,557	—	—
5	980,764	5,414,329	—	—

(輸入額僅少)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	95,743枚	302,076圓
岐阜	36,879	257,260
愛知	108,684	771,124
大阪	456,290	1,806,742
兵庫	137,194	986,427
和歌山	10,814	49,862

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
英吉利	2,216斤	41,678圓
獨逸	1,645	19,527
佛蘭西	1,019	8,068
北米	6	42

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
埼玉	106,000打	346,500圓
東京	790,044	2,587,258
愛知	192,404	564,086
滋賀	135,205	394,034
京都	60,852	307,057
大阪	1,058,701	2,577,635
兵庫	1,153,347	2,186,823

◎輸入品と國産品の優劣

普通品は大差なく、高級品は耐久力その他に於て稍々輸入品に劣る。

◎輸入防止の主要處置

本品の如きは何等の輸入の必要なく、輸入全然杜絶するも毫も差支なきを以て、輸入税を引上げ斷然輸入を禁止すべきである。

◎外國競争者

英、獨、佛、瑞西等の諸國産品にして、英國産品は絨地及シル製、佛國産品は薄地人造絹製及びベルベツト製、獨逸産品は薄地人絹及シル製、瑞西製品は人絹レースショールを夫々特徴とす。

◎輸入の主要原因

國産品は意匠、圖案色調等に於て高級品需要者の意に満たざる點少なからざる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品中毛織生地製の製品は地風光澤、肌觸乃至柄行の單調にして變化に乏しき點等輸入品に及ばないが、其他の製品は略同等である。

◎輸入防止の主要處置

製造技術の進歩向上を圖り高級品の製出に努める事が急務である。

造者あるも羊毛其他の原料を輸入品に仰ぐため價格高く、加ふるに組織色合等輸入品に及ばざる爲めである

二一〇、フェルト帽子

フェルト製帽子は普通硬帽と軟帽に二大別され、硬帽は俗に山高帽、軟帽は中折帽と稱せらる。兩者共に主として兎毛、海狸毛羊毛等を原料とせるものにして、型及色相等は種々雑多である。

◎輸入税率

羊毛製は一打に付七圓五〇錢(協定一打に付五圓六〇錢)
其他各種共一打に付一五圓八〇錢

◎主要生産者

- 東京帽子株式會社 (東京)
- 大日本製帽株式會社 (大坂)
- 株式會社高橋製帽所 (大坂)
- 濱谷帽子株式會社 (大坂)
- 高野製帽株式會社 (大坂)
- 日本帽子株式會社 (大坂)
- 三浦製帽株式會社 (大坂)
- 藤村眞三商店 (大坂)
- 帝國製帽株式會社 (大坂)
- 丸善株式會社 (東京)
- 三越呉服店 (東京)
- 中井文之助商店 (横濱)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	325,863打	6,686,591圓	11,023打	896,086圓
11	375,181	6,873,585	11,527	782,973
12	203,717	4,859,748	9,554	602,243
13	282,462	6,286,014	27,100	1,767,848
14	245,014	6,150,517	14,243	1,115,421
昭和1	275,117	6,656,722	11,467	773,882
2	246,352	5,523,918	14,957	1,047,100
3	281,113	6,449,647	15,445	1,066,994
4	285,477	6,021,245	22,780	1,407,310
5	291,024	5,958,245	10,938	688,329

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
東京	60,853打	1,294,644圓
静岡	31,700	1,091,431
滋賀	8,000	80,000
大坂	110,975	2,381,789
兵庫	73,199	1,163,321

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	6,685打	1,068千圓
獨逸	238	19
伊太利	5,200	328
奧地利	277	27
チエツコ、スロバキヤ	2,604	234
北米	276	24

◎外國競争者

- ベリツク商會 (横濱)
- 株式會社芝川商店 (大坂)
- 大崎組商會 (大坂)
- 末森商店 (大坂)

クリステイ會社、グリーン會社、バツタースビー會社、ブリスエン、ドムーアス會社、ウキルソン會社、トレス會社、ワールド會社、ラツク會社、ジョンソン會社、ロバートヒース會社 (以上英國)

ハーデマン會社、ステットソン會社、ノックス會社、グンロップ會社、ジヨワプルス會社 (以上米國)
ジービーボルサリノ會社(伊太利)

◎輸入の主要原因

最高級品は國産少く、外國品優秀なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

高級品以外に於ては優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

國産愛用を奨励すると共に、關稅を引上げて徹底的に防止すべし。

二一一、靴及スリッパ類

靴には長靴、編上げ、短靴、儀式用、夜會用、獵用、防寒用、乗馬用、運動用、雨天用等種類頗る多く、又その材料としては革を始めとし、布

額價額
1,220,917圓
802,810
606,839
1,171,421
102,083
121,198
53,205
44,397
13,457
10,564

昭和三年 價額
6千圓
1
35

- 株式會社三越 (東京)
- 松坂屋 (東京)
- 高島屋 (東京)

◎外國競争者

靴及スリッパ類

靴には長靴、編上げ、短靴、儀式用、夜會用、獵用、防寒用、乗馬用、運動用、雨天用等種類頗る多く、又その材料としては革を始めとし、布帛、ゴム等の各種がある。スリッパには革製、布帛製、蘭製、フェルト製等の各種がある。

◎輸入税率

革製長靴は一〇〇斤に付一三四圓
護謨製長靴は同六五圓七〇錢。
革製短靴は同一三五圓。
革製スリッパは同一一九圓。
フェルト製革底スリッパは同七六圓四〇錢。
(其他詳細規定省略す)

◎主要生産者

櫻組工業株式会社 (東京)
日本製靴株式会社 (東京)
大塚製靴株式会社 (神戶)
神戸屋製靴株式会社 (神戶)
亞細亞製靴株式会社 (愛知)
三田ゴム製造會社 (東京)

◎主要輸入者

丸善株式会社 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	15,942,206足	17,666,492圓	—	1,220,917圓
11	14,779,372	14,348,908	—	802,810
12	18,386,467	15,324,864	—	606,839
13	21,836,454	21,904,642	—	1,171,421
14	18,683,727	20,507,932	—	102,083
昭和1	17,759,039	22,402,281	—	121,198
2	20,499,097	27,137,279	—	53,205
3	29,590,405	28,829,415	—	44,397
4	28,954,360	27,758,932	—	13,457
5	29,867,050	28,996,235	—	10,564

(革、ゴム及其他の靴)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	1,594,193足	2,643,354圓
東 京	3,380,710	5,220,919
愛 知	189,863	873,425
大 阪	3,593,429	3,306,877
兵 庫	15,355,427	11,774,006
廣 島	5,066,366	1,227,964

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	6千圓
獨 逸	—	1
北 米	—	35

◎主要輸入者

丸善株式会社 (東京)
三越呉服店 (東京)
中井文之助商店 (横濱)

大日本製帽株式会社 (大阪)
株式會社高橋製帽所 (大阪)
濱谷帽子株式会社 (大阪)
高野製帽株式会社 (大阪)
日本帽子株式会社 (大阪)
三浦製帽株式会社 (大阪)
藤村眞三商店 (大阪)
帝國製帽株式会社 (大阪)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	325,863打	6,686,591圓
11	375,181	6,873,585
12	203,717	4,859,748
13	282,462	6,286,014
14	245,014	6,150,517
昭和1	275,117	6,656,722
2	246,352	5,523,918
3	281,113	6,449,647
4	285,477	6,021,245
5	291,024	5,958,245

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
東 京	60,853打	1,294,644圓
靜 岡	31,700	1,091,431
滋 賀	8,000	80,000
大 阪	110,975	2,381,789
兵 庫	73,199	1,163,321

◎輸入の主要原因

最高級品は國産少く、外國品優秀なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

高級品以外に於ては優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

國産愛用を奨励すると共に、關稅を引上げて徹底的に防止すべし。

株式會社三越 (東京)

松坂屋 (東京)

高島屋 (東京)

◎外國競争者

主として米國、英國及ポストン地方の產品は最も多く輸入さる。

◎輸入の主要原因

靴及びスリッパは國産品を以て内地需要を充し得るに拘らず、外國製品の需要者今尙ほ絶えざるために輸入さる。然れども現今に於ては各種共優秀なる國産品あるため、舶來品崇拜者激減し、輸入額は頗る僅少である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於て殆んど優秀なく、價格は國産品が概して低廉である。

◎輸入防止の主要處置

靴は各種とも國産品を以て優に需要を満し得るに拘らず、從來の惰性に依つて、或は一部の舶來品崇拜者の需要の爲め輸入さるゝを以て高率の關稅を課すべし。

二二二、鈕

鈕

鈕には圓形、扁圓形或は球状等の各種あり、その材料としては金屬、獸骨、獸角、アイボリーナット、エボナイト、セルロイド、硝子、陶磁器、貝殻、紙、木材等が用ひられ、輸入品の主たるものはアイボリーナット製、陶磁器製、金屬製、及び包鈕等である。

◎輸入税率

カフス鈕は價額の三五%。
包鈕は一〇〇斤に付一三七圓。
金屬製鈕は同五四圓五〇錢。
其他は價格の三五%

◎主要生産者

的場貝鈕製造所 (大阪)
松尾貝鈕工場 (〃)
中川貝鈕工場 (〃)
金丸澤之助商店 (〃)
中村儀助商店 (〃)
岡田鈕店 (東京)
越前屋商店 (〃)
東洋鈕株式會社 (神戸)
大野竹松工場 (〃)
川越治三郎工場 (〃)
共三貝鈕合資會社 (岡山)

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	3,179,984圓	—斤	—圓
11	—	2,287,546	—	—
12	—	2,616,908	—	—
13	—	2,858,142	246,180	737,708
14	—	3,654,675	136,822	578,672
昭和1	—	2,715,241	—	670,955
2	—	2,623,312	—	647,290
3	—	2,400,686	—	656,170
4	—	2,501,386	—	581,126
5	—	2,778,559	—	420,229

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
神奈川	—	47,871圓
大阪	—	784,522
兵庫	—	384,382
奈良	—	401,652
和歌山	—	464,801
鳥取	—	120,113
香川	—	52,730

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	30千圓
佛 蘭 西	—	4
獨 逸	—	350
伊 太 利	—	64
チエツコ、スロヴァキア	—	111
北 米	—	37

◎主要輸入者

佐野令三商店 (東京)
伊藤鈕店 (〃)
平尾商會 (横濱)
岩田商會 (〃)
ケルチング商會 (〃)

◎外國競争者

獨逸産品、伊太利産品、英國産品、米國産品、チエツコスロバキヤ産品等にして、就中獨逸産品は最も古き歴史を有す。

◎輸入の主要原因

輸入品は國産少き種類、又は國産品に比し廉價なるもの、或はプレスボタンの如き類である。

◎輸入品と國産品の優劣

貝製鈕は國産品が優良であるがその他の各種鈕は大差なし。

◎輸入防止の主要處置

各種を通じて原料供給を潤澤ならしめ又當業者が生産設備を改善し生産費低下に努める事が肝要である。

二二三、製紙用パルプ

製紙用パルプは植物質より成る纖維の軟塊にして、その纖維原料には綿布及亞麻布の襤褸、亞麻、黃麻、大麻、エスパルト、竹、藁、木材、

額 價 額

8,829,138圓
11,755,421
6,333,839
10,623,775
14,925,206
11,017,882
11,930,159
11,454,985
13,485,335
12,084,388

昭和三年)

價 額

281千圓
288
483
1,156
1,517
1,289
6,250

株式會社安宅商會 (大阪)

永田商會 (〃)

エ・カメロン商會 (神戸)

サミュエル・サミュエル商會 (〃)

二二三、製紙用パルプ

製紙用パルプは植物質より成る纖維の軟塊にして、その纖維原料には綿布及亞麻布の襤褸、亞麻、黃麻、大麻、エスパルト、竹、藁、木材、古繩、古麻袋等が用ひらる。原料の種類に依つて襤褸原紙料、藁原紙料、エスパルト原紙料、木材原紙料等に區別され、更に木材原紙料には碎木原紙料と化學的原紙料の二種がある。新紙及その他の下等紙製造には碎木原紙料が用ひられ、優等紙の抄造には化學的原紙料が用ひらる。

◎輸入税率

機械パルプは一〇〇斤に付二二錢
其他は同二七錢。

◎主要生産者

- 王子製紙株式会社 (東京)
- 富士製紙株式会社 (シ)
- 樺太工業株式会社 (シ)
- 東海紙料株式会社 (シ)

◎主要輸入者

- 合資會社東洋商會 (東京)
- 巴貿易合資會社 (シ)
- 株式會社島田商會 (大阪)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	239,514噸	8,264,974圓	656,456擔	8,829,138圓
11	291,992	7,799,920	1,115,208	11,755,421
12	338,106	11,427,443	600,111	6,333,839
13	357,084	16,469,803	1,008,228	10,623,775
14	406,426	19,188,475	1,311,063	14,925,206
昭和 1	—	23,222,178	1,069,152	11,017,882
2	—	20,950,680	1,207,122	11,930,159
3	—	28,019,745	1,238,321	11,454,985
4	—	28,159,366	1,361,347	13,485,335
5	—	28,098,767	1,339,265	12,084,388

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	11,967,808圓
東 京	—	359,361
新 潟	—	1,389,719
富 山	—	663,091
靜 岡	—	13,277,260
兵 庫	—	358,906

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	8,949擔	281千圓
獨 逸	27,629	288
瑞 西	53,292	483
瑞 典	110,135	1,156
諾 威	118,031	1,517
北 米	113,945	1,289
加 奈 陀	791,532	6,250

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
神奈川	—	47,871圓
大 阪	—	784,522
兵 庫	—	384,382
奈 良	—	401,652
和歌山	—	464,801
鳥 取	—	120,113
香 川	—	52,730

輸入品は國産少き種類、又は國産品に比し廉價なるもの、或はプレスボタンの如き類である。

◎輸入品と國産品の優劣

貝製鈕釦は國産品が優良であるがその他の各種鈕釦は大差なし。

◎輸入防止の主要處置

各種を通じて原料供給を潤澤ならしめ又當業者が生産設備を改善し生産費低下に努める事が肝要である。

◎外國競争者

- 株式會社安宅商會 (大阪)
- 永田商會 (シ)
- エ・カメロン商會 (神戸)
- サミュエル・サミュエル商會 (シ)

- リオーデン會社 (加奈陀)
- スバートビツク會社 (瑞典)

◎輸入の主要原因

各種パルプの中メカニカルパルプ即ち機械パルプの國産額は國內需要を充すに足るが、化學パルプ即ちクラフトパルプ、ソーダパルプ、グラウンドパルプ等の如きは國産量不足の爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊の用途に供するもの、例へば上等晒パルプ、クラフトパルプ等の如きは外國品に及ばないが、一般製造原料に於ては殆んど優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加を促進するため、輸入税を引上げる事は比較的効果多き輸入防止策である。

二二四、印刷料紙

印刷料紙は新聞、雑誌、書籍その他凡ゆる印刷に用ひらるゝ紙の總稱にして、最優等のアート紙より所謂ザラ紙に至るまでその種類頗る多く同種の紙に於ても厚薄に依り數等に分類さる。國內に於ける生産額は逐年増加し、少なからず海外に輸出されつゝあるが、同時に輸入される額も亦尠少でない。

◎輸入税率

アート紙は一〇〇斤六圓六〇錢。
有色紙は同一圓五五錢。
其他の中一平方米の重量五八瓦を
超えざるものは一〇〇斤一圓。
其他は同一圓二〇錢。

◎主要生産者

- 王子製紙株式会社 (東京)
- 富士製紙株式会社 (〃)
- 三菱製紙株式会社 (〃)
- 樺太工業株式会社 (〃)
- 日本紙業株式会社 (〃)
- 日本加工製紙株式会社 (〃)
- 内閣印刷局 (〃)
- 乾製紙株式会社 (大阪)
- 株式會社西野製紙所 (福井)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	317,992,353封度	33,253,473圓	157,014擔	4,418,043圓
11	355,206,387	38,370,138	480,810	8,771,629
12	576,092,795	71,179,387	424,920	7,507,540
13	630,348,759	72,084,476	570,041	10,269,148
14	775,978,361	97,993,423	233,153	5,269,893
昭和1	808,140,393	98,835,416	314,143	6,217,909
2	765,654,101	86,699,014	365,644	5,699,843
3	782,752,509	90,173,417	302,106	5,523,062
4	865,459,287	91,566,219	195,357	3,658,515
5	946,513,299	89,966,543	415,393	4,524,348

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	317,191,188封度	26,904,240圓
東京	172,408,757	24,531,638
富山	28,911,667	3,469,400
静岡	53,286,815	6,574,451
大阪	27,988,482	4,464,587
兵庫	19,401,596	2,751,214
福岡	36,597,000	5,489,550
熊本	58,201,640	6,652,481

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	106,440擔	1,897千圓
獨 逸	54,470	1,036
和 蘭	17,162	305
瑞 典	77,466	1,101
諾 威	27,166	369
北 米	11,094	267

北越製紙株式会社 (長岡)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- レンドラム商會 (横濱)

◎外國競争者

アートペーパーは英國産品、獨逸産品、北米産品等最も多く、その他印刷用紙は獨逸産品、英國産品、瑞典産品、米國産品及ベルギー産品等である。

◎輸入の主要原因

新聞用紙は現今略自給自足の状態となつたが、其他は國産不足を告ぐる場合あり、且つアート紙の如きは各國製品夫々特徴ありて各國間に交換的輸出入行はれる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

大體に於て品質は略同等である。

◎輸入防止の主要處置

或種は輸出し或種は輸入する状態なるを以て、特に防止の必要なし。

二二五、筆記用紙

筆記用紙は紙質頗る堅牢緻密にして耐水質を有し、墨汁を透滲せず、且つ表面滑澤なるを要す。故にその材料としては亞麻及亞麻襪褌が専ら

額
價 額
659,418圓
1,202,565
1,043,536
2,241,292
1,001,925
1,099,222
956,035
1,072,426
956,145
491,702

昭和三年)
價 額
674千圓
87
58
39
197

島貿易株式会社 (大阪)

◎外國競争者

英國産品、米國産品、獨逸産品及

超えざるものは一〇〇斤一圓、
其他は同一圓二〇錢。

◎主要生産者

- 王子製紙株式会社 (東京)
- 富士製紙株式会社 (〃)
- 三菱製紙株式会社 (〃)
- 樺太工業株式会社 (〃)
- 日本紙業株式会社 (〃)
- 日本加工製紙株式会社 (〃)
- 内閣印刷局 (〃)
- 乾製紙株式会社 (大阪)
- 株式会社西野製紙所 (福井)

國産額

年次	數量	價額
大正10	317,992,353封度	33,253,473圓
11	355,206,387	38,370,138
12	576,092,795	71,179,387
13	630,348,759	72,084,476
14	775,978,361	97,993,423
昭和1	808,140,393	98,835,416
2	765,654,101	86,699,014
3	782,752,509	90,173,417
4	865,459,287	91,566,219
5	946,513,299	89,966,543

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	317,191,188封度	26,904,240圓
東京	172,408,757	24,531,638
富山	28,911,667	3,469,400
静岡	53,286,815	6,574,451
大阪	27,988,482	4,464,587
兵庫	19,401,596	2,751,214
福岡	36,597,000	5,489,550
熊本	58,201,640	6,652,481

新聞用紙は現今略自給自足の状態となつたが、其他は國産不足を告ぐる場合あり、且つアート紙の如きは各國製品夫々特徴ありて各國間に交換的輸出入行はれる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

大體に於て品質は略同等である。

◎輸入防止の主要處置

或種は輸出し或種は輸入する状態なるを以て、特に防止の必要なし。

二一五、筆記用紙

筆記用紙は紙質頗る堅牢緻密にして耐水質を有し、墨汁を透滲せず、且つ表面滑澤なるを要す。故にその材料としては亞麻及亞麻襪襪が専ら用ひられ、仕上げは膠サイズを塗布す。種類多く各種類に依つて夫々品質、重量及寸法を異にするが、ノトペーパーは普通幅四吋半長さ七吋又は幅五吋長さ八吋、或は幅五吋半長さ八吋半、レターペーパーは幅八吋長さ一〇吋又は幅七吋長さ九吋が普通である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四圓五五錢

◎主要生産者

- 王子製紙株式会社 (東京)
- 富士製紙株式会社 (〃)
- 三菱製紙株式会社 (〃)
- 北越製紙株式会社 (長岡)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式会社 (東京)
- 株式会社高田商會 (〃)
- 米國貿易株式会社 (〃)
- 株式会社岩井商店 (大阪)

國産額 輸入額

年次	數量	價額	數量	價額
大正10	—封度	—圓	12,750擔	659,418圓
11	—	—	38,999	1,202,565
12	16,543,481	3,649,948	34,728	1,043,536
13	1,181,262	420,017	78,028	2,241,292
14	22,178,578	4,074,987	31,645	1,001,925
昭和1	8,692,125	1,868,589	40,513	1,099,222
2	8,762,143	1,556,631	35,998	956,035
3	9,547,968	1,411,214	41,738	1,072,426
4	9,773,286	1,425,642	37,112	956,145
5	9,910,863	1,429,546	19,290	491,702

(圖書用紙を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
千葉	1,794,583封度	251,200圓
福井	4,980	1,200
大阪	1,114,405	163,714
兵庫	6,634,000	995,100

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	26,243擔	674千圓
獨逸	3,904	87
瑞典	2,310	58
諾威	1,730	39
北米	6,960	197

島貿易株式会社 (大阪)

◎外國競争者

英國産品、米國産品、獨逸産品及び瑞典産品等。

◎輸入の主要原因

國産額少くして國內需要に應じ得ず、且つワットマン紙、ケント紙の如き高級品は需要の範圍狭少なる爲國産振はず、又輸入品と同等以下の生産費を以て製造する見込みはなく是れが生産を企畫する者殆んど無きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては、外國品に比して品質價格共に殆んど遜色なく、優に輸入品に對抗し得るが、ケント紙、ワットマン紙の如き特殊高級品に於ては、歐米製品に比して技術的に甚だ劣る。

◎輸入防止の主要處置

需要比較的少く、技術に特殊の熟練を要すを以て、寧ろ安價品を輸入する方が得策である。

二一六、圖畫用紙

圖畫用紙は製圖、水彩畫、鉛筆畫其他各種圖畫用に供せられるものにして、上等品は上質の亞麻及び綿襪を原料とし、下等品は木纖維を原料として製す。紙面は使用の目的に依り、平滑なるものと、粗糙なるものがある。

輸入品の包装は一連毎に紙包みとし、五連乃至十連を合せたるものを更に原紙に包みて箱入とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——七圓五〇錢

◎主要生産者

- 富士製紙株式会社 (東京)
- 王子製紙株式会社 (〃)
- 三菱製紙株式会社 (〃)
- 樺太工業株式会社 (〃)
- 北越製紙株式会社 (長岡)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式会社 (東京)
- 服部貿易株式会社 (〃)
- 米國貿易株式会社 (〃)
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 島貿易株式會社 (〃)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—	—	—
11	—	—	—	—
12	16,543,481	3,649,948	—	—
13	1,181,262	420,017	397,960	299,311
14	22,178,578	4,074,987	402,581	340,503
昭和1	8,692,125	1,868,589	362,215	288,516
2	8,762,143	1,556,631	364,924	289,356
3	9,547,968	1,411,214	356,199	288,914
4	9,773,286	1,425,642	446,739	334,594
5	9,910,863	1,429,546	250,287	186,917

(筆記用紙を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
千葉	1,794,583封度	251,200圓
福井	4,980	1,200
大阪	1,114,405	163,714
兵庫	6,634,000	995,100

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	3,305擔	275千圓
佛蘭西	131	7
獨逸	35	1
白耳義	35	1
丁抹	36	1

◎外國競争者

主として英國産品及米國産品等。

◎輸入の主要原因

各種類共普通品は國産品を以て内地需要を充すに足るを以て殆んど輸入されないが、ワットマン紙及びケント紙の如き特殊品は國産少く、又國産品は輸入品に比して著しく品質劣るため需要者を満足せしめ得ざる爲、輸入に仰ぐ外なき状態である。而して之を數量の上より見れば、全圖畫用紙に比して頗る微々たるものであるが、金額は相當巨額である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は特殊品にして特殊の用途に供せらるゝものである。故に一般圖畫用紙たる國産品と直ちに比較し難いが、概して言へば、國産品は未だ外國品に及ばざる點が少くない。

◎輸入防止の主要處置

特殊品の生産増加を圖るの外ないが、現状に於ては寧ろ格安なる外國品を輸入することが得策である。

二一七、包装用紙及燐寸用紙

包装用紙は物品の包装に用ひられるものとの二種に大別される。堅牢を主とするものは馬尼刺麻、黃麻等

額	價額
3,864,036圓	
4,384,509	
4,521,716	
8,531,505	
6,813,272	
8,686,261	
5,306,713	
3,990,713	
3,451,385	
2,512,681	

昭和三年	價額
155千圓	
526	
21	
1,766	
235	
394	
866	

(燐寸用紙)

- 中央製紙株式会社 (岐阜)
- 中國製紙株式会社 (廣島)
- 中島製紙株式会社 (大阪)

- 富士製紙株式会社 (東京)
 王子製紙株式会社 (東京)
 三菱製紙株式会社 (東京)
 樺太工業株式会社 (長岡)
 北越製紙株式会社 (長岡)

- ◎主要輸入者
 三井物産株式会社 (東京)
 服部貿易株式会社 (東京)
 米國貿易株式会社 (大阪)
 株式會社岩井商店 (大阪)
 島貿易株式会社 (大阪)

二二七、包装用紙及燐寸用紙

包装用紙は物品の包装に用ひられ、堅牢を主とするものと優美を主とするものとの二種に大別さる。堅牢を目的とするものは馬尼刺麻、黄麻等を原料とし強く樹脂サイズを施して製す。優美を主とするものは多く木纖維原紙料を用ひ、サイズ及び填料を施さず、薄手に抄造さる。又下等包装紙は紙屑、襪褌の塵屑等を原料とし、多く灰色、青色等に着色せらる。

燐寸用紙は燐寸小箱張り及び小箱包装に使用する粗糲なる薄手紙にして、原料には主として碎木原紙料と亞硫酸法木原紙料を混用せるものを用ひらる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二圓四〇錢

◎主要生産者

- (包装用紙)
 富士製紙株式会社 (東京)
 王子製紙株式会社 (東京)
 樺太工業株式会社 (東京)
 中央製紙株式会社 (岐阜)
 中國製紙株式会社 (廣島)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	15,802,133封度	2,046,158圓	142,468擔	3,864,036圓
11	29,480,444	2,582,837	268,213	4,384,509
12	85,370,917	11,989,664	289,908	4,521,716
13	43,647,821	4,193,412	527,939	8,531,505
14	27,941,186	3,374,834	366,482	6,813,272
昭和1	32,953,664	3,632,131	551,212	8,686,261
2	50,183,673	5,643,570	339,979	5,306,713
3	42,636,071	4,586,635	279,157	3,990,713
4	41,256,334	4,124,543	229,772	3,451,385
5	42,566,514	4,025,779	199,374	2,512,681

	國産額	
	數量	價額
大正10	——封度	——圓
11	——	——
12	16,543,481	3,649,948
13	1,181,262	420,017
14	22,178,578	4,074,987
昭和1	8,692,125	1,868,589
2	8,762,143	1,556,631
3	9,547,968	1,411,214
4	9,773,286	1,425,642
5	9,910,863	1,429,546

(筆記用紙を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	10,993,644封度	979,336圓
東京	860,393	98,946
岐阜	3,768,600	334,660
静岡	8,366,160	874,138
大阪	3,349,649	347,691
兵庫	2,226,165	361,568
熊本	11,045,132	1,412,278

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	7,540擔	155千圓
獨逸	36,093	526
瑞西	1,662	21
瑞典	128,987	1,766
諾威	17,115	235
北米	18,014	394
加奈陀	68,766	866

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
千葉	1,794,583封度	251,200圓
福井	4,980	1,200
大阪	1,114,405	163,714
兵庫	6,634,000	995,100

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は特殊品にして特殊の用途に供せらるゝものである。故に一般圖書用紙たる國産品と直ちに比較し難いが、概して言へば、國産品は未だ外國品に及ばざる點が少くない。

◎輸入防止の主要處置

特殊品の生産増加を圖るの外ないが、現狀に於ては寧ろ格安なる外國品を輸入することが得策である。

(燐寸用紙)

- 中央製紙株式会社 (岐阜)
 中國製紙株式会社 (廣島)
 中島製紙株式会社 (大阪)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
 株式會社高田商會 (東京)
 米國貿易株式会社 (大阪)
 株式會社岩井商店 (大阪)

◎外國競争者

スエーデン産品、ノールウェー産品、獨逸産品、フィンランド産品及加奈陀産品等。

◎輸入の主要原因

本邦に於ては本品専門の大生産者なく、輸入品は堅牢にして而も低廉なるが故である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質、價格共に外國品に及ばず。

◎輸入防止の主要處置

原料供給に就て攻究し、國産の増加及價格の低下を圖るの外なし。

二二八、壁紙

壁紙は加工紙の一種にして、室内の壁、天井等の裝飾用に供せらる。多くは木纖維原料紙を用ひて抄造し、各種模様を現はしたものであるが、特に紙面に礦物質塗料を施せるものなどもある。輸入品の包装は五〇〇卷乃至一〇〇卷を以て一箱とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一四圓四〇錢

◎主要生産者

岡本壁紙製造所 (東京)
跡見壁紙製造所 (〃)

◎主要輸入者

睦屋商店(富澤半四郎) (東京)
藪屋商店(川島鐵之助) (〃)
萬屋商店(柴松太郎) (〃)
吉村建築材料店 (〃)
龜井商店 (大阪)

◎外國競争者

米國産品、英國産品、獨逸産品、及びベルギー産品等が主たるものである。

紙

Table with columns for Year (大正, 昭和), Quantity, Domestic Price, and Import Price.

主要府縣別生産額(昭和三年)

Table showing production amounts by prefecture for 1932, with Tokyo as the primary producer.

主要國別輸入額(昭和三年)

Table showing import amounts by country for 1932, with Great Britain being the largest source.

◎輸入の主要原因

我が國に於ける壁紙の需要は比較的僅少なるを以て、之を專業とする大規模工場を設立し、大量生産を爲せば供給過剰に陥り製品の處分に窮する虞れがある。故に本品の生産者は何れも小規模の設備にして到底諸外國に於ける大會社と對抗し得ず、本品の生命とする意匠模様に就ても外國會社の如く絶えず新規の型を製作することは採算上不可能なる状態に在る。故に意匠模様の變化に乏しくして需要者の意に満たず、而も價格は輸入品に比して大差がない。故に需要者は輸入品に俟つの外はなく就中更紗模様のものに於て特に然りである。

◎輸入品と國産品の優劣

更紗模様に於ては遠く外國品に及ばず、打出模様のもは品質上殆んど遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

國産品の増加及生産費の低下を圖ることが最も急務である。

二二九、板紙

紙

板紙には普通の抄紙法に依つて抄造したるミルボード、抄造して濕へる紙を合せ強壓して製したるカウチボード、抄造せる紙を貼合せた

Table with columns for Price and Amount, listing various paper products and their values.

昭和三年)

Table with columns for Price and Amount, listing values for various paper products.

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
株式會社高田商會 (〃)
大國貿易株式會社 (〃)

二一九、板

紙

◎主要輸入者

陸屋商店(富澤半四郎) (東京)
 藪屋商店(川島鐵之助) (〃)
 萬屋商店(柴松太郎) (〃)
 吉村建築材料店 (〃)
 龜井商店 (大阪)

◎外國競爭者

米國産品、英國産品、獨逸産品、及びベルギー産品等が主たるものである。

國産額

年	數量	價額
大正10	—	119,582圓
11	—	25,000
12	—	284,750
13	—	198,088
14	—	576,391
昭和1	—	104,580
2	—	65,834
3	—	32,190
4	—	45,671
5	—	48,868

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	32,190圓

◎輸入品と國産品の優劣

格は輸入品に比して大差がない。故に需要者は輸入品に俟つの外は無く、就中更紗模様のものに於て特に然りである。

◎輸入防止の主要處置

更紗模様に於ては遠く外國品に及ばず、打出模様のは品質上殆んど遜色がない。
 國産品の増加及生産費の低下を圖ることが最も急務である。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 株式會社高田商會 (〃)
 米國貿易株式會社 (〃)
 株式會社岩井商店 (大阪)
 島貿易株式會社 (〃)

◎外國競爭者

主としてスエーデン産品、ノールウエー産品、獨逸産品及び米國産品等である。

◎輸入の主要原因

普通品は略國産品にて國內需要を充すに足るが、優等品は國産不足を告げ、且つ外國品は品質に於て國産品に優るが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品は技術及品質に於て外國品に劣らないが、高級品就中黄ポールドは外國品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

品質の向上、生産費の低下及び生産量の増加を圖る事が急務である。

板紙には普通の抄紙法に依つて抄造したるミルド、抄造して濕る紙を合せ強壓して製したるカウチポールド、抄造せる紙を貼合せたるペーストポールド、及びミルドポールドとカウチポールドを合せたるカールドポールド等の種類あり、俗にポールド紙又は馬糞紙と呼ぶ。優良品は碎木原料を用ひ、下等品は藁、紙屑等を原料として製す。又特殊品としては電氣絶縁用に供せらるゝプレスポールド及びレザーポールド等がある。輸入品の包装は、優良品は千枚乃至二千枚宛箱入とし、下等品は八封度内外を麻布包とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓七五錢

◎主要生産者

富士製紙株式會社 (東京)
 王子製紙株式會社 (〃)
 西成製紙株式會社 (大阪)
 北越製紙株式會社 (長岡)
 岡山製紙株式會社 (岡山)
 若狭製紙株式會社 (福井)
 大正製紙株式會社 (静岡)

國産額 輸入額

年	數量	價額	數量	價額
大正10	105,012,244封度	14,156,376圓	18,481擔	726,324圓
11	198,017,856	10,104,720	50,871	994,819
12	148,484,180	8,629,814	51,200	984,342
13	226,534,973	11,571,393	105,260	2,081,683
14	242,826,296	12,347,124	46,220	890,066
昭和1	253,443,352	14,150,510	54,095	1,162,195
2	249,499,534	15,700,664	31,616	643,512
3	294,216,319	17,027,419	28,254	691,701
4	305,686,395	15,998,462	31,644	774,092
5	312,488,965	16,129,418	18,710	428,935

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	40,991,474封度	2,198,790圓
新潟	28,817,600	1,543,800
富山	34,876,320	1,684,853
静岡	34,523,503	3,678,234
滋賀	6,680,000	650,000
岡山	37,204,200	1,682,395
広島	13,415,250	612,353
佐賀	22,731,520	849,244

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	561擔	14千圓
獨逸	4,138	119
瑞西	1,367	18
和蘭	177	4
瑞典	7,624	137
挪威	6,978	95
北米	7,137	294

二二〇、模造紙及チツシユペーパー

模造紙には普通の模造紙とロール掛模造紙の二種がある。ロール掛模造紙は亞硫酸法木原紙料を以て抄造せる薄紙にして半紙、半切の代用或は包装紙等に用ひらる。普通模造紙は木纖維原紙料を以て抄造し仕上光澤を附したるものにして、名刺、封筒、株券、證券、その他の印刷用に供せられ用途頗る廣汎である。チツシユ紙は薄葉紙の一種にして木纖維原紙料を用ひて抄造し、主として絹、金銀器その他貴重品の包装用、或は磨紙その他に供せらる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三圓二五錢

◎主要生産者

- 富士製紙株式会社 (東京)
- 王子製紙株式会社 (〃)
- 樺太工業株式会社 (〃)
- 三菱製紙株式会社 (〃)
- 北越製紙株式会社 (長岡)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 米國貿易株式会社 (〃)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	630,083圓	13,603擔	528,089圓
11	—	142,998	50,064	1,062,472
12	—	1,471,100	30,394	626,636
13	—	2,903,783	44,238	952,919
14	—	2,462,984	31,852	764,440
昭和1	—	4,842,369	32,754	703,340
2	—	5,301,148	25,972	546,010
3	—	7,278,225	31,573	666,697
4	—	7,054,368	16,962	368,550
5	—	7,358,160	21,946	436,527

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	2,406,955圓
福井	—	126,932
静岡	—	2,248,884
京都	—	690,665
大阪	—	140,609
兵庫	—	1,214,800
和歌山	—	403,275

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	809擔	25千圓
佛蘭西	367	10
獨逸	4,313	112
瑞典	15,070	300
諾威	8,976	177
北米	618	12
加奈陀	847	13

◎外國競争者

スエーデン産品、獨逸産品、オーストラリア産品及びチエツコスロバキヤ産品等。

◎輸入の主要原因

模造紙は従來多額の輸入を見つゝあつたが、現今に於ては國産額増加して略自給自足の域に達したるため内地品に比して特に廉價なる場合外殆んど輸入されず、チツシユペーパーは今尚ほ國産不足にして且外國品は概ね價格低廉なるためである。

◎輸入品と國産品の優劣

模造紙は品質に於て輸入品稍々優り、且つ價格も輸入品が割安の場合が少くない。チエツユペーパーは國産品と外國品とは夫々用途が異なるも品質に於て大差ない。

◎輸入防止の主要處置

パルプの供給を潤澤ならしめることとが最も肝要である。

二二二、模造羊皮紙類

本項に屬する始ものには模造羊皮紙即ち硫酸紙をめとし、パラフィン紙、ワックス紙等がある。

模造羊皮紙はサイズを施さざる原紙、一定の重量を以て硫酸紙を被覆す

額(昭和三年)

價額
49千圓
511
86
569
77
50

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 合名會社矢島商店 (〃)
- 株式會社高田商會 (〃)

◎輸入の主要原因

在り、互に品質を競ひ價格を競ひ、販路擴張に努力しつゝある。

模造羊皮紙、パラフィン紙及びワ